



報告事項

2024-2025 第3回ガバナー協議会 2025/1/24

報告事項 1

協議会議長

藤井 信英

一般社団法人日本ライオンズ執行理事会・理事会・社員総会 報告

【一社日 L】 第2回理事会議事録 (2024/09/23 開催)P8~13

【一社日 L】 第3回理事会議事録 (2024/10/31 開催)P14~21

【一社日 L】 第2回社員総会議事録 (2024/12/12 開催)P22~29

GATJapan より

来期 GAT コーディネーター早期任命に関してのお願いP30~31

報告事項 2

公益財団法人日本ライオンズ理事

池原 堅

公益財団法人日本ライオンズ事業のフットサル特別支援学校取組について

公益財団法人日本ライオンズでは創設以来、青少年の健全育成と特別支援学校生へのフットサル競技を採用してもらい社会に通用する体力や協調性を育むことは勿論、就労と自立する事を目的に支援活動を広げています。

MD336 では今年度から第二副地区ガバナーを中心に今後、各地区で特別支援学校への取り組みをお願いしております。

現在、中国四国地区の各県別、特別支援学校数を下記の通り報告いたします。

【各県別リスト】

A 地区：香川県 5校 徳島県 8校 愛媛県 5校 高知県 7校

B 地区：岡山県 10校 鳥取県 4校

C 地区：広島県 15校

D 地区：山口県 10校?

○フットサル競技採用までの手順

- ・各地区リストを基に支援学校訪問、事前に校長とアポイントを取り訪問してください。公財)日本ライオンズの趣旨とフットサル競技についての説明をしてください。
- ・興味のある学校には指導者や選手補助役の必要性について説明し指導者在籍の有無と不在の場合は地域ボランティア先の紹介や大学へのアプローチをお願いします。
- ・採用校については練習会場、練習頻度、競技採用までの道のりに成功したのち地区大会への参加の要請(支援クラブの紹介も)

【第1~3回までの地区大会・全国大会参加校】

- ・第1回中国四国地区参加校 9校
※第1回全国大会 参加校 70校 開催地:札幌
中国地区大会参加校 6校
四国地区大会参加校 3校
- ・第2回中国四国地区参加校 13校
※第2回全国大会 参加校 110校 開催地:福岡
中国地区大会参加校 9校
四国地区大会参加校 4校
- ・第3回中国四国地区参加校 8校
※第3回全国大会 参加校 122校 開催地:名古屋
中国地区大会参加校 6校
四国地区大会参加校 2校
- ・第4回中国四国大会参加校 未定
※第4回全国大会 参加校 校 開催地：東京
中国地区大会参加校 未定
四国地区大会参加校 未定
8月25日(日) 場所：IPU・環太平洋大学第4体育館
参加校 未定

【第6回全国大会開催地】

・2027年11月5日～6日 開催地:中国地区 会場:未定 参加校 未定

【寺子屋事業支援校参照】

- ・島根県松江市 双樹学院
- ・香川県高松市 讃岐学園

(公財)が取組んでいる事業は特別支援学校(フットサル)&児童養護施設(寺子屋)、アラート支援事業の3本柱です。

公益財団法人日本ライオンズ体制図P32

報告事項 3

複合地区年次大会委員長

大谷 博

※協議事項 3 (P1) 参照、補足説明と報告

報告事項 4

LCIF コーディネーター

高岡 英治

LCIF 日本リーダーズ会議及び準地区での LCIF 集中セミナーについて

LCIF 日本リーダーズ会議

日時 2024年12月4日(水) 9:30～16:00

場所 ウィンクあいち 11階 1104号会議室

LCIF 日本リーダーズ ファンドレイジング委員会

日時 2024年12月18日(水) 13:30～ WEB 会議

LCIF 集中セミナー開催予定(島根県・山口県)

日時 2025年1月18日(土) 14:00～17:00

場所 山口県セミナーパーク研修室 205号室

LCIF 集中セミナー開催予定(徳島県・香川県)

日時 2025年2月8日(土) 14:00～16:30

場所 香川県坂出市役所 2F 大会議室

LCIF 集中セミナー開催予定(鳥取県・岡山県)

日時 2025年3月1日(土) 13:00～15:30

場所 鳥取県立倉吉体育文化会館

- ① 第3回日本リーダーズ会議次第 P33
- ② 第3回日本リーダーズ会議出欠 P34
- ③ ファンドレイジング委員会構成表 P35
- ④ 第1回ファンドレイジング委員会次第 20241218 P36
- ⑤ 第1回ファンドレイジング委員会議事録 P37
- ⑥ LCIF 集中セミナー 島根・山口 0118 P38
- ⑦ LCIF 集中セミナー 徳島・香川 0208 P39
- ⑧ 2023-2024 LCIF 表彰 P40
- ⑨ 第2回写真コンテスト P41
- ⑩ 寄付一覧 1216 現在速報値 P42

報告事項 5

LCIF 副コーディネーター

三口 巖

LCIF 献金の必要性についての講演会報告

演題：LCIF 献金が何故必要か

2024年11月7日 C地区 1R1Z 福山松永 LC 例会

松永カントリークラブ

11月9日 D地区第2回キャビネット会議

- 11月10日 D地区役員研修会
浜田ワシントンホテル
- 11月21日 C地区3R2Z第2回ガバナー諮問委員会
広島サンプラザホテル
- 11月22日 C地区3R3Z第2回ガバナー諮問委員会
広島市安佐南区区民文化センター

以上講師として招聘を受け、演題に基づき、講演して参りました。

報告事項 6	
GMT コーディネーター	宮本 浩二

☆ 8 複合 GMT コーディネーター会議開催について
2024年12月17日(火) 10:00~11:30(90分) Web会議開催
MISSION1.5 進捗報告について意見交換

☆ MISSION1.5・GMA 進捗確認会議 (GMT・GET・FWT 合同) 開催について
第2回 MD336MISSION1.5・GMA 進捗会議 (GMT・GET・FWT 合同会議)
2024年11月6日(水) 10:00~11:30(90分) Web会議開催
※ 別紙議事録添付

第3回 MD336MISSION1.5・GMA 進捗会議 (GMT・GET・FWT 合同会議)
2024年1月8日(水) 10:00~11:30(90分) Web会議開催
※ 別紙議事録添付

☆ MISSION1.5 進捗報告書について
GATJapan へ提出 MD336MISSION1.5“第一四半期”“第二四半期”進捗報告書
※ 別紙報告書添付
準地区 GAT 役員皆さまは、毎月月末の3日迄のご報告にご理解及びご協力願いたい。
準地区内クラブからの情報収集には RC・ZC の協力が不可欠ですので、創意工夫を凝らして
毎月の情報収集に努めていただき、適時適切なサポートをおこなっていただきたい。
準地区内クラブ会長及び役員さまへ MISSION1.5・GMA の取組みについて十分理解いただけるよう
研修会などを開催していただきたい。
準地区 GAT 会議で、役員皆さまへ周知徹底いただくよう要請いたします。

【MD336】第2回 MISSION 1.5 会議議事録 (2024/11/06 開催)	P43
【MD336】第3回 MISSION 1.5 会議議事録 (2025/01/08 開催)	P44
MD336 MISSION1.5 進捗報告書 (2024年7月~12月)	P45~53

報告事項 7	
GLT コーディネーター	西尾 慎一

336 複合地区公認ガイディングライオン講習会開催

1月15日現在受講者数
A,B,C地区:54名 D地区:82名

【A,B,C地区講習会】

日時:2025年1月25日(土)13:00~16:00 ※受付12:30~
場所:岡山国際交流センター 8F イベントホール
岡山市北区奉還町2-2-1 TEL:086-256-2905

講師:2023-2025年度 国際理事 濱野 雅司氏
受講料:無料
受講資格:クラブ会長経験者以上で、前回の受講から3年が経過している方。
※前回開催日:2021年11月22日

次第P54

【D地区講習会】

日時:2025年1月26日(日)9:30~12:30
場所:出雲ロイヤルホテル 1階 「末広の間」
島根県出雲市渡橋町831 TEL:0853-23-7211

講 師：2023-2025 年度 国際理事 濱野 雅司氏
 受講料：無料
 受講資格：クラブ会長経験者以上で、前回の受講から3年が経過している方。
 ※前回開催日：2021年11月22日

次第P55

8 複合地区 GLT コーディネーター会議(WEB)
 1月23日(木) 10:00~12:00 開催

残り半年間、GLT コーディネーターとして効果的なアクションにつなげていく為の役割と現状分析、そして、今後のアクションへのステップについて確認を行う。

報告事項 8

GST コーディネーター

畑中 隆之

2023-2024「思いやりは大切なこと」奉仕アワード

国際理事会奉仕事業委員会 受賞

- ・広島佐東ライオンズクラブ

後日、C地区キャビネット事務局へ国際協会奉仕事業チームから OSEAL 調整事務局経由で、メダルと感謝状が送付される。

MD336 GST コーディネーター宛受賞通知メール (1/17)P56
 プレスリリース用テンプレートP57

【プレスリリース用テンプレートについて OSEAL 調整事務局からの連絡】

アワード受賞をメディアに対してプレスリリースとして発信される場合はご活用くださいという趣旨です。もちろん取り上げられるかどうかはメディア側の判断となろうかと思えますし、必ず報道されるというものではありませんが、ライオンズの活動を知ってもらうための広報活動の一環とだけ思えばよいかと思えます。書式はあくまでもテンプレートですので、普段のメディアとの関わりで使用されているものに、今回のアワードと受賞クラブについて含めてもらうのでも構いません。

336 複合地区ガバナー協議会 議長賞 賞状授与

- ・A地区：高松玉藻ライオンズクラブ
「香川県高校生ボランティアネットワーク支援」
- ・B地区：岡山西ライオンズクラブ
「盲導犬啓発活動、盲導犬学校キャラバン&街頭募金活動」
- ・C地区：広島佐東ライオンズクラブ「梅林の復活事業」
- ・D地区：出雲中央ライオンズクラブ
「LCIF レオ奉仕交付金事業、レオクラブ「光と愛を」献血、献眼、骨髄バンク PR 事業
in 出雲くにびきマラソン大会」

報告事項 9

アラート委員会委員長

西尾 慎一

第2回 MD336 委員会 1月20日(月) 13:30~14:30 場所：複合事務局

【一社日L】第2回議事録(2024/09/27開催)P58~60
 【一社日L】第3回議事録(2024/10/21開催)P61~62
 【一社日L】第4回議事録(2024/11/20開催)P63~67
 【MD336】第2回議事録(2024/11/20開催)P68
 【一社日L】第5回次第(2024/12/18開催)P69

(一社) 日本ライオンズ アラート委員会 委員・班長 研修会
 開催日時：2025年3月14日(金) 10:00~12:00
 場所：水戸市民会館 3F 中会議室 302 (029-303-6226) 水戸市泉町1丁目7-1

講師：一般社団法人日本ライオンズ アラート委員会
 東日本統括リーダー L 木村知紀 西日本統括リーダー L 畑中孝之
 参加対象：一般社団法人日本ライオンズ アラート委員会 MD 委員および班長
 研修参加費用：無料

研修会ご案内(案)P70

報告事項 10

会則および付則運営マニュアル編集委員会委員長

松岡 諒

第4回日本ライオンズ委員会 1月14日(火) WEB 開催

第3回 MD336 委員会 1月20日(月) ハイブリッド開催

【一社日L】第2回議事録(2024/09/10開催)P71~73

【一社日L】第3回議事録(2024/10/28開催)P74~77

報告事項 11

青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止・平和ポスター委員会委員長

春木 扶佐子

1. 平和ポスター最終審査会報告について ※議事録参照

12月2日(月) 13時30分より複合事務局に於きましてハイブリット形式で開催しました。

協議会議長・担当世話人・地区ガバナー・委員長・副委員長・運営委員会委員長・外部審査員2名

2024-2025 平和ポスターのテーマ「限りない平和」

応募総数 12,758枚 参加クラブ数 191クラブ

A地区 3,264枚 (77クラブ) B地区 673枚 (16クラブ)

C地区 7,472枚 (59クラブ) D地区 1349枚 (39クラブ)

B地区 最優秀賞 山本 視栄 様 岡山大学教育学部附属中学校 2年 岡山ハーモニーLC

A地区 優秀賞 武智 結菜 様 松山市立南中学校 2年 松山湯築 LC

C地区 優秀賞 棚田 珠来里様 広島女学院中学校 1年 広島清流 LC

D地区 優秀賞 宮崎 心 下関市熊野小学校 6年 下関北 LC

最優秀賞 B地区 山本 視栄(みさ)さんの作品を12月4日に国際本部に発送しました。

2. 第2回委員会

12月24日(火) 14:00~ web開催 ※議事録参照

・平和ポスターについて

A~D地区、各キャビネットに於いて、選考会を開催しました。

・ライオンズクエスト普及活動・交付金状況について

A地区 セミナー・ワークショップの開催状況報告

LCIF 交付金の状況報告(2024年5月~1年間) 事業終了または期間延長

C地区 セミナー・ワークショップの開催状況報告

LCIF 交付金の状況報告(2023年7月~2024年10月)

事業終了により、未使用分をLCIFへ返還する。

B地区 次期に向けて活動中

D地区 メンバー対象のWSを4月26日島根県、4月27日に山口県で開催予定。

・薬物乱用防止活動について

薬物乱用防止教室認定養成講座を各準地区 リジョン単位、県単位で開催、開催予定

薬物乱用防止教室を小・中学校でメンバーを講師して開催中。

3. 委員会活動

・11月10日(日) 336-D地区のキャビネット会議2日目 ライオンズクエスト研修会

三口担当ガバナー、春木委員長 出席、勉強会を開催しました。

ライオンズクエスト開催の意義について

ライオンズクエスト交付金および普及活動について

- 【MD336】 平和ポスターコンテスト最終審査会議事録（2024/12/02 開催）P78～79
- 【MD336】 平和ポスターコンテスト最終審査会結果報告（2024/12/02 開催）P80～81
- 【MD336】 第2回委員会議事録（2024/12/24 開催）P81～82

報告事項 12

未来ビジョン委員会委員長	池原 堅
--------------	------

※協議事項 6（P2）参照、補足説明と報告

- 【MD336】 第2回委員会次第（2024/11/07 開催） P83～84

報告事項 13

YCE・国際関係・レオ委員会委員長	小銭 和明
-------------------	-------

- ① コロナ渦等の影響を受け、しばらく中断していた YCE 事業を受入のみ再開することができた。
2025年1月8日（水曜日）来日～25日（帰国）MD300 台湾地区より9名の来日生を受入。
MD336A 地区3名 MD336B 地区2名 MD336C 地区2名 MD336D 地区2名 合計9名
今回からは、予算面等諸般の事情を考慮し MD336 の各準地区合同での YCE 事業の再開とした。
- ② 受入期間中、1月15日（水曜日）～17日（金曜日）の2泊3日の日程で、新見市千屋の新見千屋温泉いぶきの里を宿泊ベースとし、いぶきの里スキー場にて来日生にとっては人生初となる雪景色やスキーの体験を主としたアクティビティを実施した。
- ③ 2025年1月8日の来日時に、MD300A 地区 YCE 委員長 王李英氏と YCE 委員会顧問 邱輝清氏と会談し、2025年夏の YCE 事業の開催日時や開催に付いての概要を協議し、双方合意に至った。
◇日本からの派遣事業の開催日時 2025年8月1日～8月25日
◇日本への受入事業の開催日時 2025年7月15日～8月10日
※台湾からの来日生は、台湾の学校事情により来日が7月17日～18日頃になる模様。
※台湾からの来日生は、30名～35名程度が希望しており、他の MD との調整が必要である。
※台湾以外からも、モルドバやイスラエルからの来日オファーが来ており、現在調整中である。

- 【一社日 L】 第2回委員会議事録（2024/10/10 開催）P85～88
- 【MD336】 第2回委員会次第（2024/12/13 開催）P89

報告事項 14

環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長	占部 智之
---------------------------	-------

各地区についての報告

- 【MD336】 第2回委員会次第（2024/12/19 開催）P90
- O型献血への要請依頼P91
- 献血実績（令和6年7～10月）P92

報告事項 15

IT・M・L情報委員会委員長 / 一社日 L ライオン誌日本語版委員会委員	佐々木 孝之
---------------------------------------	--------

1. ライオン誌日本語版委員会報告
 - 第4回
日時：2024年11月6日（水）14：00～16：00
形式：WEB
議案：①ライオン誌日本語版の運営 ②ウェブマガジン編集関係 ③刷版編集関係 ④その他
 - 第5回
日時：2024年12月6日（金）14：00～16：30
形式：対面・WEB併用
議案：①ライオン誌日本語版の運営 ②ウェブマガジン編集関係 ③刷版編集関係 ④その他

第6回

日時：2025年1月8日（水）14：00～16：00

形式：対面・WEB

議案：①ライオン誌日本語版の運営 ②ウェブマガジン編集関係 ③刷版編集関係 ④その他
フェイスブックに「ライオン誌日本語版・奉仕活動写真」のグループを開設しました。

<https://www.facebook.com/groups/1370222724136761>

2. 参考資料

①第4・5・6回ライオン誌日本語版委員会議事録

②ライオン誌 SNS 登録者の推移と利用状況

【一社日L】第4回報告書（2024/11/06開催）	P93～95
【一社日L】第5回報告書（2024/02/06開催）	P96～98
【一社日L】第6回報告書（2025/01/08開催）	P99～101

報告事項 16

一社) 日L 国際理事候補者資格審査委員会委員	三口 巖
-------------------------	------

【一社日L】25-27 国際理事候補者L 田名部智之について（2024/12/23 発信） P102

報告事項 17

国際大会委員会委員長（一社日L 国際大会委員会 MD336 担当委員）	市村 通夫
-------------------------------------	-------

2025年国際大会の開催地について

フロリダ州・オーランド

開催日程：2025年7月13日～17日

幹事旅行会社：近畿日本ツーリストからの連絡（1/17）

日本のホテルが間もなく決定できそうなので、来週公認 TC で打合せを行う予定にしております。その際に現地でのように専用車、ガイド、オプションツアーを共有で利用するか話し合いを行いますので今月中にはオフィシャルコースご提案できるかと思えます。

オセアルフォーラム（パタヤ）報告	P103～107
【一社日L】第3回議事録（2024/09/30開催）	P108～110
【一社日L】第4回議事録（2024/11/07開催）	P111～113
【一社日L】第5回執行理事会資料（2025/01/09開催）国際大会関連部分	P114～117

その他報告事項

--

(2024-2025 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第2回理事会 議事要録

開催日時：2024年9月23日(月)14:00-16:30

場 所：名古屋・ウインクあいち 908 会議室

出席者リスト

理事長	松浦 淳一 (岩見沢はまなす)
専務理事	中谷 豊重 (岸和田)
副理事長	澤 辰水 (下関)
副理事長	喜多 友一 (上田城南) 【欠席】
常務理事	伊賀 保夫 (東京ピース)
常務理事	諏訪 昇三 (札幌時計台)
常務理事	渡邊 俊弥 (仙台五城)
常務理事	佐藤 裕幸 (柏崎日本海)
常務理事	廣田 晃一 (姫路中央)
常務理事	藤井 信英 (岡山みらい)
常務理事	濱田 浩平 (長崎南)
理事	田中 雄一 (挟山) 【欠席】
理事	栗村 安弘 (大船渡) 【欠席】
理事	星野 勝美 (太田)
理事	戸祭 宏樹 (鯖江王山)
理事	新里 正雄 (沖縄) 【WEB】
監事/MD332 元議長	下間 俊悦 (男鹿) 【欠席】
監事/MD333 元議長	石橋 貞 (足利西)
監事/MD335 元議長	小林 聰 (姫路広陵) 【WEB】
監事/MD337 元議長	乗田 泰 (伊万里) 【WEB】
公益財団法人日本ライオンズ理事長	小野寺 眞悟 (札幌北の杜) 【欠席】
日本ライオンズ前理事長	田名部 智之 (八戸)
法律顧問	池田 和司 (東京桜門) 【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎 (東京武蔵野) 【欠席】
日本ライオンズ事務長	増澤 義治 (諏訪湖)
理事長事務局補佐	南部谷 靖 (岩見沢はまなす)
理事長事務局補佐	成田 祐樹 (岩見沢はまなす)

◇開会の挨拶

松浦理事長より開会の挨拶。

一般社団法人日本ライオンズ田名部前理事長よりご挨拶をいただく。

◇議事録作成人の指名

議事録作成人として濱田常務理事と新里理事を指名。

1.第2回執行理事会からの協議および確認事項

◇公式訪問

①パティ・ヒル LCIF 理事長公式訪問<9/24(火)~9/25(水)>

・直前情報の確認

スケジュール、申込人数について確認。

能登への訪問は豪雨災害の影響により中止となり、LCIF 交付金事業である長野のドローン施設の訪問予定となった。

LCIF と財団のパートナーシップについて

今回の訪問中にパティ LCIF 理事長との調印を行う予定。内容については今後具体的な議論が進められる予定。

全国のメンバーに財団へのご理解を頂くほか、災害支援など財団と協力すべき事項が多くあり、社団としても見解を統一し前向きに進めていく必要がある

②ファブリシオ・オリベイラ国際会長公式訪問<11/26(火)>

廣田常務理事より説明。次第案を現在ホストMDであるMD335で作成中。城阪国際理事のご意見により社団理事の役割分担の振り分けを見直す。

26日の懇談会でファブリシオ国際会長に対してスピーチなどリクエストがあればお伝えいただきたい。

現在は公式訪問について、OSEAL調整事務局より社団を通さずに直接MD335へ指示・連絡が来ている形であり、もっと社団の存在意義を強調していくべきであるという意見。

現在国際理事が理事会構成員ではなく、国際協会とのパイプがない状態であるが来年以降は国際理事が顧問として理事会、総会にご出席いただき、国際協会やOSEAL調整事務局に対し一体的に進めていけるよう体制を作る必要がある。

◇OSEAL フォーラム、国際大会 最新情報

③第 61 回パタヤフォーラム<2024/11/14(木)~11/17(日)>

[審議事項]

執行理事会からの審議事項であった事務長及び職員 2 名のパタヤへの出張要請について諮られた。

→全会一致で承認。

[報告・確認事項]

OSEAL フォーラム公式 HP に掲載されているプログラムでは JP レセプションが 11 月 16 日 16-17 時となっているが、招待状案に記載がある通り 16 時 30 分-17 時 30 分が正しい。ドレスコードについては委員会でも整理予定。

- ・ジャパンレセプションの参加者はアロハシャツ着用。
- ・国際会長晩餐会はガバナーと議長は白タキシード。その他の参加者はビジネススーツ。レセプション後に 1 時間半ほどの空き時間があるため着替える時間は確保できると思われる。
- ・朝の議長とガバナーの会議でのアロハシャツ着用をお願いしたい。

議長・ガバナーの開会式での入場時の配偶者の同伴について、現時点では情報はなし。LCIF 理事長公式訪問の場で OSEAL 調整事務局マーズ事務局長に確認する。

議長については現地フォーラム委員会からの案内によれば招待。

議長宛に現地より送られた案内にはホテル宿泊と大会登録料は無料になる予定との記載があるため登録は不要であるはずであるが、こちらも明日マーズ事務局長に確認を行う。

・OSEAL フォーラムの登録料の支払いについて

グループ登録を振り込む銀行振込が海外送金できない可能性があるためマーズ事務局長に確認。

④第 107 回メキシコシティ国際大会<2025/7/4(金)~7/8(火)>

・9/10 第 2 回国際大会委員会報告 (メキシコシティ関係)

是非多くの方に参加頂きたいが、安全性の問題が懸念されているため基本、登録および現地での参加は旅行業第一種を持った公認ツアーガイドを使って団体行動をお願いしたい。現地の日本語ガイドが不足している状況もあり、今回は 8MD 全体で行動する方向で調整中。JTB 名古屋が主導でまとめている。条件のよいホテルを日本として確保するため 10 月末には現地参加人数を決める予定だったが早すぎるという意見があり 11 月末まで延長できるかをマーズ事務局長へ確認中。

伊賀常務理事より、公認の MD ツアー・コーディネーターではない、地区内の旅行社から公認の旅行代理店として認めるサインをしてくれと言われており対応について質問があり、公認 TC は各 MD で 1 社のみであるという確認があった。

準地区内にある第 2 種の旅行会社を利用したい希望があれば委員会などに参加してもらい注意事項を情報共有する事が必要。

註：10/4 に全会員へ向け、開催地と日程変更の案内が国際協会より配信された。
第 107 回大会は米国フロリダ州オーランドにて、2025/7/13-17 に開催予定。

◇その他

⑤日本ライオンズへの問い合わせへの回答の流れについて

中谷専務理事より、特に会則関係の一事 HP を通じての問い合わせについて提言。
会則関係については理事会の方針や役員必携に基づいて対応を進めるべきだが、決定・返答のルールは不明瞭であった。

今後の運用としては基本的には会則関係の問い合わせについては会則委員会、執行理事会で判断できるものはそちらで対応し、理事会で報告をする事とする。一部重要な問い合わせ事項については理事会の承認としたいと提案。→今後のルール、対応について承認された。

⑥組織検討特別執行理事会（仮）開催について

中谷専務理事より、会費値上げ及び組織改革について一定の結論を出す必要があり、そのための執行理事会を対面にて開催したいと提案。

→組織検討特別執行理事会の開催について承認。

日時については今後調整する。理事長からもしっかりと協議を進めていきたいと発言。

2.その他審議および確認・方向事項

①総務人事関係

1.各種集合会議出席者旅費補助規程（案）[審議事項]

MD331、MD337 については従来通り航空運賃 28 日前の料金を元に計算した旅費を適用し、それ以外の地区は陸路での料金をベースとする。引き続きプール計算とし、四半期ごとに各 MD より振り込みをいただく。

旅費補助規程については東京開催を前提としていることについても確認あり。

次年度以降については今後理事会で検討をお願いする。

→各種集合会議出席者旅費補助規程変更について全会一致で承認。

2.事務長及び職員出張旅費規程について（案）[審議事項]

委員に付随して出張する場合は現状はほとんどないため、規定からその文言を削除。

宿泊費についてホテル代が高騰してきているため 12,000 円から 15,000 円、政令指定都市は 20,000 円としたい。職員の日当についても国内 5,000 円、海外 12,000 円としたい。→事務長及び職員出張旅費規程全会一致で承認。

3.経理関係：請求書発行システムの見積について[確認・報告事項]

業者に見積もりを依頼中。現時点で約 500 万円。初期費用はかかるが職員の退職や郵便料金の値上げも踏まえ、将来的には業務効率化かつ経費削減が期待できる。執行理事

会・理事会の意見も頂きながら実用化を目指す。実用とする場合は、費用を積みたて金から払うかどうかについては理事会にて審議を頂きたい。

・残業代について**[確認・報告事項]**

今年度より残業代について事前申請としており書面での提出が必須。

決まったルールに則って申請されたものに対して正しく支払いをするものとして理事会にて意見統一していただきたい。

3.報告事項

[会則委員会より]

第2回会則委員会にて申し合わせを行った、今年度の方向性についての報告。

・コンプライアンス規定について

承知の通り今年度パイロット期間として一年間進めていき、国際協会の規定とのすり合わせを行う。

ライオンズ必携及び役員必携について

根本的に編成を改める必要があるのではないかとの意見もある。

・日本ライオンズ定款変更について

顧問弁護士の先生にも意見をいただき様々な案を集約し定款変更を進めていきたい。国際理事会方針書と一般社団法がベースとなるが、その二つが抵触している部分がある可能性があり慎重に進める。

[アラート関係 能登半島豪雨について]

334-D 杉木地区ガバナーより全国のガバナーへ、支援物資のお送りについては今しばらくお待ちくださいと伝達をしている。近日中には 334-D 地区で対策本部を立ち上げ会議を開催すると聞いており、喜多議長と藤井常務理事がアドバイザーとなる予定である。

現地とアラート委員会で提携を取りつつ、被災地区の議長・ガバナーが先頭に立ち進めていくべきであることから社団としては情報収集・共有などに徹したいと考えている。

いままでの災害時には情報が錯そうし、混乱を招く事例も発生したため、被災地のことを第一に考え、指示系統を整理し、災害レベルに応じた被災地区からの情報配信と共有がスムーズに行えるようにしていきたい。

[10/8~10/9 第2副地区ガバナー研修会 情報共有]

中谷専務理事より説明。OSEAL 調整事務局より全国へ案内が送付されている。

補足として増澤事務長より、限られた時間での研修となるので PC の基本的な操作や Lion Portal に入れるところまでは準備をいただいてから参加していただくように伝えていただきたい。

前理事長より、第1・第2副地区ガバナー研修会にて社団・財団のお話しをする機会をいただきたいと提案。増澤事務長より OSEAL 調整事務局へ確認する。

[ダイナースカード（ビジネスカード）について]

1.各クラブやキャビネット事務局が法人格を持たない（登記がない）場合は、日本ライオンズが保証人となる。

2.申込書の実質的支配者は誰が該当するか？

クラブの場合は会長、キャビネットの場合は地区ガバナーとなる。3名の記入欄があるので、クラブ・キャビネットともに第一副、第二副、幹事、会計などで良い。

国際協会が各種決済をカードで行ってほしいと伝えてきているが、社団としてはクラブ名義でのカードが作成可能という案内は出せるが強制はできない。

クラブ会長が変更になってもポイント引き継ぎなど可能。

こちらのコーポレートカードを作成した場合はマスターカードが付いてくるので国際会費の決済は可能であると思われる。

必要であればダイナースの職員がガバナー協議会等に説明に行くことは可能。

4.公益財団法人日本ライオンズ活動報告

増澤事務長より報告。財団の事業であるフットサルの全国大会が開催されるので、是非1回来ていただきたい。会場は一宮。参加希望者は財団にお声がけいただければご案内をお送りする。

5.今後の予定について

- ・10/11（金） 第3回執行理事会 WEB
- ・10/31（木） 第3回理事会（MD336 岡山第一セントラルビル）

6.監事講評

- ・石橋監事より

LCIF 理事長、国際会長訪問と行事が続きます。皆様のご協力で素晴らしい会になるようよろしくお願いいたします。

- ・小林監事より

能登のアラートの件、大変かと思いますが頑張ってください。

- ・乗田監事より

会議を聞いて結論がどうなったかよくわからないので語尾までしっかり発言をしていただきたい。大変でしょうが頑張ってください。

以上

2024年9月23日

議事録作成人：

常務理事 濱田 浩平
理事 新里 正雄
事務局補佐 南部谷 靖
事務局補佐 成田 祐樹

議事録署名人：

理事長 松浦 淳一【押印省略】

監事 石橋 貞【押印省略】

監事 小林 聡【押印省略】

監事 乗田 泰【押印省略】

一般社団法人日本ライオンズ 第3回理事会 議事要録

開催日時：2024年10月31日(木)14:00-16:30

場 所：岡山・セントラルフォレスト 8F アイビー

出席者リスト

理事長	松浦 淳一 (岩見沢はまなす)
専務理事	中谷 豊重 (岸和田)
副理事長	澤 辰水 (下関)
副理事長	喜多 友一 (上田城南)
常務理事	伊賀 保夫 (東京ピース)
常務理事	諏訪 昇三 (札幌時計台) 【WEB】
常務理事	渡邊 俊弥 (仙台五城)
常務理事	佐藤 裕幸 (柏崎日本海)
常務理事	廣田 晃一 (姫路中央)
常務理事	藤井 信英 (岡山みらい)
常務理事	濱田 浩平 (長崎南)
理事	田中 雄一 (挟山) 【WEB】
理事	栗村 安弘 (大船渡) 【WEB】
理事	星野 勝美 (太田)
理事	戸祭 宏樹 (鯖江玉山)
理事	新里 正雄 (沖縄)
監事/MD332 元議長	下間 俊悦 (男鹿) 【欠席】
監事/MD333 元議長	石橋 貞 (足利西) 【WEB】
監事/MD335 元議長	小林 聰 (姫路広陵) 【欠席】
監事/MD337 元議長	乗田 泰 (伊万里) 【WEB】
公益財団法人日本ライオンズ理事長	小野寺 眞悟 (札幌北の杜)
日本ライオンズ前理事長	田名部 智之 (八戸)
法律顧問	池田 和司 (東京桜門) 【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎 (東京武蔵野) 【WEB】
日本ライオンズ事務長	増澤 義治 (諏訪湖)
理事長事務局補佐	南部谷 靖 (岩見沢はまなす)
理事長事務局補佐	成田 祐樹 (岩見沢はまなす)

◇開会の挨拶

- ・冒頭、松浦理事長より開会の挨拶があった。
- ・一般社団法人日本ライオンズ田名部前理事長よりご挨拶をいただいた。
- ・公益財団法人日本ライオンズ小野寺理事長よりご挨拶ならびに財団の活動報告をいただいた。LCIF と 9/24 にパートナーシップを結んだことにより交付金を使えるようになった。クラブシェアリングを 4/4 に持ってきたことで財団として先に繋がる形となった。特別支援学校のフットサルについては、学校に体育教科がないため、社会に出た際に肉体的な強さがないと働くことができないという議論の中で 3 年前にスタートした。名古屋で行われる第三回の全国大会には 122 校、1 校 10 名とすると約 1,220 名の参加している。寺子屋については 60%強が親の虐待、残り 40%が金銭的に子育てが出来ない家庭の子であり、全国 600 か所で 30,000 人の子どもたちが施設に入っている。30 か所と提携し推進はライオンズがし、家庭教師的な事を NPO 法人が行っている。

◇出席の確認

- ・対面 15 名、WEB 3 名の出席となり、過半数が出席のため、定款に基づき理事会が成立。

◇議事録作成人の指名

- ・議事録作成人として渡邊常務理事と佐藤常務理事を指名。

1.第 2 回執行理事会からの審議事項

(1) ファブリシオ・オリベイラ国際会長公式訪問 次第案

廣田常務理事より説明

- ・次第案の確認。執行理事の皆様壇上に上がっていただいたり、お手伝いをお願いするところがあるのでお願いしたい。挨拶をご担当される方には翻訳の都合上 11/13 までに MD335 の事務局まで原稿の提出をお願いする。ドレスコードはスーツ。国際会長はポルトガル語を話すのでそれを英語にしてから日本語に翻訳するので時間がかかる。
- ・26 日 10 時から日本ライオンズのリーダーとの懇談会の議題については GAT の方にミッション 1.5 を中心とした話をお願いしている。
- ・新クラブ・新支部紹介はまだ受け付けられるので、あればまだ間に合うのでお願いしたい。新会員の入会も現在 15 名程度なので、まだご検討いただけたところは対応可能である。
- ・現在合計 511 名の参加をしていただくことになっている。当初予定していた人員を達成することができた。ご協力感謝したい。
- ・25 日に国際会長がホテルに到着する際にリーガロイヤルホテルのロビーにてお出迎いの拍手を行いたい。ちょうど当日に理事会が開催されるため、理事会構成員でお出迎えを行う予定。
- ・各役割について資料を元に確認。

MD334 より要望のあった仁科国際理事候補者のご挨拶については晩餐会で行う。

- ・城阪国際理事から晩餐会で 10～15 分程、第 62 回 OSEAL フォーラム札幌 PR の映像を流すよう要望があり、タイミングを検討中。
- ・11 月 26 日の公式訪問・歓迎晩餐会の受付に各 MD から 2 名を選出いただきたい。MD335 より案内を発信させていただくのでお願いしたい。
- ・提案された役割分担と次第について承認。

(2) 第 61 回パタヤフォーラム<2024 年 11 月 14 日(木)～17 日(日)>

JP レセプション (11/16) 次第案

戸祭理事より説明

- ・ジャパンレセプションの変更点としては歓迎のご挨拶を松浦理事長、澤副理事長が出席出来ない為、喜多副理事長にお願いする。
- ・OSEAL 札幌大会の映像が 15 分ほど流れ、その後の 45 分がジャパンレセプションという流れとなっている。
- ・LCIF のレセプションと時間が一部重複。一時間すべて参加する必要はないが、VIP の方がお越しになった際のお話しは聞いていただきたい。
- ・ジャパンナイトはアロハシャツがドレスコード。その後にある国際会長晩餐会は議長、ガバナーは白タキシード。そのため白タキシードの上にアロハシャツを羽織っていただく。会場のクロークをご利用いただくか、近くにハンガーラックも設置する。国際会長晩餐会の会場は本部ホテルの隣で歩いていける距離。ジャパンレセプションは本部ホテルで開催されるため、本部ホテル宿泊の方は部屋に戻って着替える事は可能。一般参加者はビジネススーツ。
- ・議長の方には来賓の受付後、エスコートをしていただきたい。
- ・閉会の挨拶は田名部前理事長にお願いする。
- ・説明・役割分担案と会場の見取り図は各自確認いただく。
- ・現時点での役割分担と次第について承認。

(3) 全国アラートフォーラム茨城 (2025 年 3 月 14 日(金))

開催概要と案内配信

藤井常務理事より説明

- ・主催は一般社団法人日本ライオンズアラート委員会、主管はライオンズクラブ国際協会 MD333 (茨城) で 2025 年 3 月 14 日(金)の開催。
- ・登録料はフォーラムが 2,500 円、交流会が 7,500 円で各々実費となっており、社団、複合、準地区からの拠出および協力金の依頼は行わない。
- ・動員はフォーラムが 500 名、交流会が 300 名としており、前回の岡山フォーラムの実績を踏まえている。
- ・正式な案内については本理事会で承認された後でお出しする予定。
- ・開催日前後がちょうど観光シーズンとなるため宿泊手配は早めを推奨。
- ・アラートフォーラム開催について承認。

2.第2回執行理事会からの報告事項

増澤事務長より説明。

(1) 日本ライオンズ 24-25 年度銀行口座名変更報告

・昨年までは理事長としていたが今年度から定款に基づき、代表理事の肩書で口座を変更した。各複合から問い合わせがあった場合はその旨伝えて頂きたい。

(2) 社団会議室貸出に伴う費用の扱い

税務監査にて指摘があった報告。日本ライオンズ事務所会議室貸出の場合、費用をいただいていたが、その場合収益事業として税金が発生する可能性があり今後はドネーションということといただくということとした。そのため貸し出しの際の費用については明記しない。

ドネーションとしていただいた場合の処理については問題ない。貸出自体は多くなく昨年度も1度だけであったが有効活用法を検討したい。

(3) 2025-26 年度「第1回社員総会」日程 (8/4(月)開催)

・なるべく当初の予定通りに開催を行うが、国際大会日程変更の都合でかなりタイトな予定になる可能性あり。ご協力をお願いする。

(4) 10/2-4 税務調査完了の報告

・問題なく終了。各顧問が遠方での会議へ来られる場合はその交通費を支払うと税金がかかる可能性があり、事務局でチケットを購入し渡せばよいとの指導があった。

(5) 請求書発行システムの件

・郵便代の値上げや人員の変更に伴い新システムを構築中。費用は約600万。発送費用や作業を考えると2.3年で元はとれると試算している。今期後半にいずれかのMDで試運転をし、次年度の前期からは全MDに対してしたい。

濱田常務理事より600万は今期の予算なのか？との質疑があり、予算を元々組んでいなかったものであり、全体に係るものであるため、積立金からの拠出としたい。

3.その他協議および確認事項

(1) 12月12日第2回定時社員総会 (AP 東京八重洲) および

AP シン第1副国際会長来日 (ミッション1.5 報告会)

情報の確認および懇親会開催の有無と参加者の検討・

・ミッション1.5の進捗状況確認のため来日することが決定。詳細については後日予定をいただく予定。

・社員総会の時間を前倒しとし、13時からとすることを検討中。

・懇親会については開催の方向で検討する。

・伊賀常務理事：接遇はMD330で行うことになると思われる。スケジュールか届き次第検討する。

・廣田常務理事：国際会長訪問で集めたお金を一部支出するという事があると考えていた方が良いのか？との質疑があり増澤事務長より考えていた方がよいとの回答。

(2) OSEAL フォーラム直前情報・国際大会最新情報・・・資料6

OSEAL フォーラム直前情報

- ・戸祭理事より OSEAL 直前情報の報告。11/7 に国際大会委員会があるので、細部の確認などを行う予定。
- ・OSEAL のスケジュールやドレスコードについては再度各 MD に事務局より送付する。
- ・各セミナーについてはできる限り御参加をいただきたい。
- ・例年日本ライオンズ理事長が日本代表として参加している決議委員会であるが、今回は松浦理事長がご欠席のため代理での参加者を検討する。できれば英語が話せる方にもご参加をいたさきたい。
- ・田名部前理事長：とても重要な会議である。議長の意見をしっかり決議委員に集約し、決議委員会で決まった事を議長やガバナーに伝える。決議委員会での決定事項を3日目の朝の会議で決議する。日本としての意見を OSEAL 執行部に直接訴える場はここしかない。国際の場では日本は他の国に比べて発言がなく P I P 頼りでありもっと意見を発信すべき。また議案の案内が来ていないので、それを見て皆で相談して決める。国際の場で日本の立場という点でも重要なものである。

国際大会最新情報

- ・中谷専務理事より国際大会最新情報の報告。承知の通りメキシコ大会の開催がフロリダ州オーランドに変更、開催日も変更となった。

(3) 総務人事関係 (10/31 13:00 開催執行理事会より報告)

増澤事務長より報告

- ・職員の残業代について労働顧問である社労士の先生より指摘があった件の報告。残業代は面談時の説明通り、1分刻みとして支払いを行う。なお、残業申請の方法は今年度始めに決定された通りである。

(4) 組織検討委員会関係 (10/31 13:00 開催執行理事会より報告)

中谷専務理事より報告。

- ・国際理事と LCIF 理事は参与に就任いただくという方向となった。各ガバナーにまずは議長から話をしていただき今後の理事会で協議する。8 複合からの選出については今後の検討課題とした。
- ・会費については値上げの方向で検討したい。消費税 3% の時から会費が据え置きとなっている事から、まずはシミュレーションしたい。
- ・複合地区会費について他の複合がどのくらいの金額なのか参考までに取り纏めしていただきたいと意見あり。

(5) LCIF 交付金プログラムの改正の確認 (10/23 全国へメール配信)

増澤事務長より報告

- ・各自一読いただいて、不明な点があれば OSEAL 調整事務局へ時間を取っていただいて説明していただけるかお伺いする。

(6) 第 62 回 OSEAL フォーラム (札幌) 協力金について

諏訪常務理事より報告

- ・7 月に OSEAL フォーラムの支援金・拠出金についての案内を各地区にしている。準地区

単位ではなくクラブ単独で入金をいただいている場合があります準地区単位でまとめていた
だきたい旨を記載した案内をお出ししたい。通帳の文字数制限があり、どこの地区かが欠
ける場合があるので、ご案内でお知らせしている通り「ライオンズクラブ国際協会」は省
略していただきたい。

- ・MD拋出金振込報告書について説明。本日承認いただければこれを発信する。
- ・札幌フォーラム委員会で作成した入金状況一覧について、公表について承認を得られたの
で8MD・35地区宛に案内する。

4.直近に開催された会議報告

(1) 10/10(木)第2回 YCE 委員会

田中理事より報告

- ・大きく変わったのは各MDで幹事窓口制度というのがあったが、今年から半分以上フリー
国という形とした。派遣したい国に直接話をする。
- ・イスラエルからY E C生のキャンプ参加の問い合わせがあった。来年の7月から始まる
事だが、中止の場合は1月までに知らせるとの連絡。12月に第3回の委員会を予定して
いるため、そこで打ち合わせをして決めたい。
- ・12月末から1月の頭にかけて冬季交換・キャンプがあるので各MDと調整して進めたい。

(2) 10/21(月)第3回アラート委員会

新里理事よりアラート委員会議案メモを元に報告。

藤井常務理事より補足。

- ・アラート委員会の運営規則に災害がおきたときに必要であれば理事長と相談して、社団の
アラート委員会の中に対策本部を立ち上げるとある。今回の能登の豪雨に関しては社団
の委員会の中には対策本部を立ち上げる必要ないと判断して皆さんにもお伝えしたがさ
まざまな意見があった。アラート規約の他の項目との整合性をとるために、一度規約を見
直す。
- ・災害のレベルによるが準地区で対策本部を立ち上げる。大きい災害であればMDで対策本
部を立ち上げる。社団のアラート委員会は情報の共有や配信などフォローアップを行う
立場の委員会だと思っている。それぞれのリーダーが必要か否かを協議し、スマートな形
で現地支援の応援をする委員会としたい。
- ・クラブ to クラブの支援について社団は関与しないが、被災地を第一に行動をお願いした
い。

(3) 10/28(月)第3回会則委員会

中谷専務理事より報告

- ・ライオンズ必携の改定作業をしており、様々な意見が出ているのでまとまった際には報告
をしたい。
- ・コンプライアンス規定についてはパイロット的に動いているが、地域により取り組みには

差がある。規定をすでに作成した地区や、弁護士など専門家を構成員とするなど動きがみられる。

- ・田名部前理事長より、前年作ったコンプライアンス規定はパイロットなのでさまざまな意見があっても良い。MD・地区で作ったものなどブラッシュアップしていき、ライオンズクラブの中でSNS上も含み、誹謗中傷やハラスメントなどトラブル防止を目指す。既にサインされたと思うが議長、ガバナー、複合役員、準地区役員、クラブ役員はダウンロードして国際協会のコンプライアンス誓約書を取り寄せられる。参考にするのも良いと思われる。
- ・ライオンズ必携前文について、意見を集約し、事実は事実、意見は意見としてカットしてまとめる。
- ・複合地区会則についても複合と準地区を分けての掲載など検討。
- ・増澤事務長より、前文を含め、編集にあたり現在までの経緯を知っておくほうがよいと思われる。事務局で資料を準備中である。
- ・その他各地区からの質問について回答が協議された。

5.公益財団法人日本ライオンズ活動報告

- ・冒頭で報告のため割愛

6.本日のまとめ

割愛

7.今後の予定について

- ・11/8(金) 第4回執行理事会 WEB
- ・11/13-17 第61回 OSEAL フォーラム (タイ・パタヤ)
- ・11/25(月) 第4回理事会 (MD335・大阪)
- ・11/26(火) 国際会長公式訪問 (MD335・大阪)
- ・12/12(木) 第2回社員総会 (東京・AP 東京八重洲)

◇その他

- ・廣田常務理事：ファブリシオ国際会長訪問の際、プログラムを配布するが袋の中に財団のリーフレットやLCIFのものなどを入れても良いか質問があり、問題ない旨回答。
- ・伊賀常務理事：MD330で昨日ガバナー協議会があり、MD330内から国際第3副会長に立候補する報告。
- ・渡邊常務理事：研修などにおいて参加者への叱咤激励の言葉をいただくことがあるが、やる気を出していただくためにももう少し優しい言葉選びが必要では。
- ・藤井常務理事：今後の予定について、1/23の12-14時に理事会が変更となっている事を確認。
 - ・星野理事：国際協会より日本ライオンズを正式に認めるという文書を頂く予定であった件

日本ライオンズ発行<2024-25-執-M04>
の進捗について確認。増澤事務長からの回答として、国際理事が参与に就任された後にな
ると思われるのでもう少しお時間を頂きたい。

◇監事講評

石橋監事

欠席予定であったがなんとか間に合った。

良かったと思います。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

乗田監事

大変ボリュームのある会議でしたが特段意見を申すことはないです。よろしくお願いいたします
します。

以上

2024年10月31日

議事録作成人：

常務理事 渡邊 俊弥

常務理事 佐藤 裕幸

事務局補佐 南部谷 靖

事務局補佐 成田 祐樹

議事録署名人：

理事長 松浦 淳一【押印省略】

監事 石橋 貞【押印省略】

監事 乗田 泰【押印省略】

(2024-25) 一般社団法人日本ライオンズ 第2回社員総会(全国ガバナー会) 議事要録

2024年12月12日(木) 13:00-15:15 AP 東京八重洲 13F 会議室 A

出席者リスト

<正社員> 2024-25年度

330-B 地区ガバナー	倉田 雅史	(2024-2025年度)	
330-C 地区ガバナー	猪野塚 弘樹	一般社団法人日本ライオンズ前理事長	
331-A 地区ガバナー	美田 法賢	田名部 智之	
331-B 地区ガバナー	伊東 隆志 【欠席】※	公益財団法人日本ライオンズ理事長	小野寺 眞悟
331-C 地区ガバナー	齋藤 尚仁		
332-A 地区ガバナー	吉澤 俊寿	(2024-25年度 協議会議長)	
332-B 地区ガバナー	平野 嘉男 【欠席】※	MD330 議長	伊賀 保夫
332-C 地区ガバナー	佐藤 久一郎	MD331 議長	諏訪 昇三
332-D 地区ガバナー	車田 信彦	MD332 議長	渡邊 俊弥
332-E 地区ガバナー	安孫子 英彦	MD333 議長	佐藤 裕幸
332-F 地区ガバナー	長澤 源一 【欠席】※	MD334 議長	喜多 友一
333-A 地区ガバナー	高頭 八郎 【欠席】※	MD335 議長	廣田 晃一
333-B 地区ガバナー	福田 智恵 【欠席】※	MD336 議長	藤井 信英
333-C 地区ガバナー	大瀧 勝明 【欠席】※	MD337 議長	濱田 浩平
333-D 地区ガバナー	染谷 文雄 【欠席】※		
333-E 地区ガバナー	椎名 健二	(2023-24年度 協議会議長)	
334-A 地区ガバナー	柴田 高志	MD330 議長	田中 雄一 【欠席】※
334-B 地区ガバナー	丹羽 浩康	MD331 議長	松浦 淳一
334-C 地区ガバナー	鷹嶋 邦彦	MD332 議長	栗村 安弘
334-D 地区ガバナー	杉木 徹	MD333 議長	星野 勝美 【欠席】※
334-E 地区ガバナー	浜 一平	MD334 議長	戸祭 宏樹
335-A 地区ガバナー	永田 雅章	MD335 議長	中谷 豊重
335-B 地区ガバナー	古川 繁浩 【欠席】※	MD336 議長	澤 辰水
335-C 地区ガバナー	野々山 宏	MD337 議長	新里 正雄 【欠席】※
335-D 地区ガバナー	今市 明弘		
336-A 地区ガバナー	石井 淑雄	(2024-25年度監事) 2年任期の1年目	
336-B 地区ガバナー	上原 正樹	MD332 元議長	下間 俊悦
336-C 地区ガバナー	鳴戸 大二	MD333 元議長	石橋 貞
336-D 地区ガバナー	神田 義満	MD335 元議長	小林 聰 【欠席】※
337-A 地区ガバナー	矢野 進	MD337 元議長	乗田 泰
337-B 地区ガバナー	武永 健治郎 【欠席】※		
337-C 地区ガバナー	為永 一夫 【欠席】※	※議決権行使書	
337-D 地区ガバナー	宇都 要一 【欠席】※	正社員総数 56名 (出席 40名・欠席 16名)	
337-E 地区ガバナー	吉井 本 【欠席】※		

<入社予定者> 2024-25 年度

330-A 地区ガバナー 森 亮介

【正社員】 第2回社員総会（全国ガバナー会）出席者数 内訳：

◇12/12 11時現在◇

	出席	欠席※	小計
DG	22	12	34
理事	15	3	18
監事	3	1	4
	40	16	56 (名)

※議決権行使書受領済み

議決権行使書

第1号議案 新入社員入社追加承認（330-A 地区ガバナー）	賛 16	否 0
第2号議案 新入社員入社追加承認（国際理事・LCIF 理事）	賛 15	否 1
第3号議案 新理事会構成員選任の承認（国際理事・LCIF 理事）	賛 13	否 3

オブザーバー

【2025-27 年度 国際理事候補者】

仁科 良三

【顧問】

法律顧問 池田 和司

会計顧問 吉田 宗一郎

【一般社団法人日本ライオンズ事務長】

増澤 義治

以上

<第Ⅱ部：JAPAN LIONS -Mission1.5 Meeting with District Governors of Japan->

【国際協会】

国際第一副会長	A.P. シン
International First Vice President	A.P. Singh
元国際理事	サンギータ・ジャティア
Past International Director	Sangeeta Jatia
元国際会長	山田 實紘
国際理事	城阪 勝喜
国際理事	濱野 雅司
LCIF 理事	鶴嶋 浩二

【24-25 日本 GAT】

エリアリーダー（統括）	鈴木 誓男
エリアリーダー（東日本）	小川 晶子
エリアリーダー（西日本）	松岡 勲
エリアリーダー（GLT/GST）	識名 安信
副エリアリーダー（MD330,333）	伊藤 和子 【欠席】
副エリアリーダー（MD331,332）	田名部 智之
副エリアリーダー（MD334,335）	大山 恭範
副エリアリーダー（MD336,337）	有本 みどり 【欠席】
副エリアリーダー（GLT/GST）	設楽 幸子
アドバイザー 元国際理事	川島 正行 【欠席】

【OSEAL 調整事務局】

事務局長	マーズ 佐子
GAT スペシャリスト	畠山 直子

以上

1. 開会のことば

松浦理事長の挨拶の後、定款第 16 条の定めにより、理事長が社員総会議長に就任することを宣言され開会した。過半数の出席を得て、定足数を満たしているため、第 2 回社員総会が成立していることの確認。

続いて田名部前理事長、公益財団法人日本ライオンズ 小野寺理事長より挨拶。

2. 議事録作成人・署名人の選出

議事録作成人として、MD330 伊賀常務理事・MD331 諏訪常務理事が選出。

議事録署名人は 331-A 美田法賢ガバナー、335-A 永田雅章ガバナーが選出された。

3. 議事運営について

議長より、議事運営ルールが説明され、発言者は地区名と氏名を述べてから発言することを確認された。

4. 審議事項

第 1 号議案 新入社員入社追加承認 (330-A 地区ガバナー)

中谷専務理事より説明。

一般社団法人日本ライオンズ 24-25 年度第 1 回社員総会 (2024 年 8 月 1 日開催) 時点では本来日本ライオンズ正社員となる 330-A 地区ガバナーが空欄であった。

しかしその後 2024 年 8 月 6 日付 E メールにて国際協会より、330-A 地区森亮介ガバナーを正式に承認する連絡が 330-A 地区キャビネット事務局にあった。

一般社団法人日本ライオンズ 定款第 7 条 2 項「入社は、社員総会の承認を得なければならない。」に基づき、残任期間に限り正式に正社員として追加入社を承認することを提案する。

採決の結果、賛成 56 名 反対 0 名 (議決権行使書による参加者を含む)

全員の賛成をもって選任が可決された。

議案の可決後、新たに正社員となった森亮介ガバナーより挨拶が行われた。

第 2 号議案 新入社員入社追加承認 (国際理事・LCIF 理事)

中谷専務理事より以下の説明。

・定款第 2 章第 3 条に基づき、日本のライオンズ発展のため執行理事会・理事会で組織について検討を進めてきた結果、国際協会とのつながりを深めより日本の立場を高めていく目的で、11 月 25 日に開催された第 4 回日本ライオンズ理事会にて協議の結果、役職としての在任期間に限り、23-25 年度 城阪勝喜・濱野雅司国際理事、24-25 年度鶴嶋浩二 LCIF 理事の 3 名の現職国際理事・LCIF 理事について役職の在任期間の間、日本ライオンズに正社員として追加入社をすることが望ましいと申し合わせたため、一定款第 7 条 2 項に基づき正式に正社員として追加入社を承認することを提案する。

議決の結果、賛成 56 反対 1 （議決権行使書による参加者を含む）
過半数の賛成により可決。

第 3 号議案 新理事会構成員選任の承認

中谷専務理事より以下の説明。

- ・第 2 号議案で承認された上記 3 名の新入社員（現職国際理事・LCIF 理事）について、第 2 号議案での提案理由と同様の理由にて、定款第 5 章第 23 条「理事及び監事は、社員総会の決議によって正社員のうちから選任する」により総会に提案する。

議決の結果、賛成 54 反対 3 （議決権行使書による参加者を含む）
過半数をもって選任が可決された。

- ・松浦理事長より、スムーズな進行と可決についてのお礼の後、引き続き報告事項へ移る。

5. 報告事項

- ・一般社団法人日本ライオンズ上半期報告・行事報告

中谷専務理事より、社員総会や理事会など主な会議の報告と、LCIF 理事・国際会長公式訪問・第 61 回 OSEAL フォーラム（パタヤ）など行事に対応した件が報告された。

◇国際大会委員会

- ・第 107 回オーランド大会最新情報

戸祭大会委員長より、パタヤ OSEAL フォーラムにおける日本からの参加人数が 1727 名であったことと、日本より国際理事候補者として仁科良三元議長がエンドースされたことなど主な決議事項の報告。

オーランド国際大会について急遽大会開催地の変更があったことを受け、大会委員会でも仕切り直しとして 12 月より協議を進め、日本からの参加者の便宜を図るべく国際協会へホテルなど日本よりリクエストを出していることなど報告。ユニフォームとしてパタヤフォーラムで着用いただいたアロハシャツを引き続き活用することも検討中である。

第 62 回札幌 OSEAL フォーラムでは日本より 1 万人（うち MD331 が 3000 人）の参加を目指したいという呼びかけと協力の依頼。

334-A 地区柴田ガバナーより具体的な登録人数について質問。詳しい割り当てについては後日追って連絡すると回答。

また大会委員会から、ガバナーより現在の第 1 副地区ガバナーへフォーラムの毎朝の会議への出席を強く呼び掛けていただけるよう依頼。

- ・第 62 回札幌 OSEAL フォーラム最新情報 （2025/10/23-26）

諏訪常務理事より報告。PR ビデオ上映の後、フォーラム委員会の取り組みと、HP では 2 月末

と表記されている早期登録が日本のみが3月末まで、と説明。早期登録料は18000円。12月末までで呼びかけている準地区への支援金について、協力に対してのお礼が述べられた。

◇アラート委員会報告

・「全国アラートフォーラム IN 茨城」開催の件

欠席の新里アラート委員長に代わり、藤井アラート副委員長より報告。すでにMD333から出ている案内について集金方法など変更があり、再度日本ライオンズより案内をお送りする件と、開催概要や登録目標数についての説明。登録料は当初の案内と異なり前年と同じく終了後にMDで取りまとめていただく予定。ホテルは観光シーズンと重なるため早めの予約を推奨。

・能登サンタ事業の件

松浦理事長より、概略と地区ガバナーの皆様に今後アクティビティを行う際に注意いただくべく報告事項とさせていただいたことの説明。

喜多副理事長より本来行われるべき次年度への引き継ぎやクラブ理事会・ガバナーからの承認や報告が無いこと、またホストクラブが不明瞭であるなど、ライオンズとしてのルールが守られなかった結果のトラブルでありガバナーの皆様には改めてルール・国際会則を遵守頂き、地区を守っていただくよう呼びかけ。

◇公益財団法人日本ライオンズ活動報告

・専務理事より、冒頭の小野寺理事長の挨拶をもって活動報告とさせていただく旨のアナウンス。

・ガバナーより

332-D 地区車田ガバナーより、昨年度田名部前理事長が組織改革と問題解決に奔走された。松浦理事長にもしっかりと引き継いでいただき、対等な立場で話をできる組織の維持をお願いする。

335-A 地区永田ガバナーより、公益財団法人日本ライオンズリーフレット内にある「障害」という表記について、近年の流れとして公的文章以外は「障がい」と表記をすることがほとんどであり、特に奉仕・福祉団体である財団としては倣うべきではないかと意見。

小野寺理事長よりご指摘の通りであり今後十二分に注意すると回答。

◇国際役員より報告

山田實紘元国際会長より

・ミッション1.5への取り組みの呼びかけと、2025年オーランド国際大会で投票に附されるOSEAL地域からの国際理事候補者の空席1名について、OECの決定によりL.田名部智之(MD332元議長・日本ライオンズ前理事長)とすることが伝えられた。

城阪勝喜国際理事より

・田名部前理事長を筆頭とした若い人材が日本で育ってきており喜ばしいことであると所感の後、ライオン誌 WEB 版に掲載のある国際理事会報告へ目を通していただくお願いと、国際協会の最優先事項であるミッション 1.5 への取り組みの呼びかけの他、11 月に来日されたファブリシオ国際会長公式訪問の報告と感謝が伝えられた。

・濱野雅司国際理事より

10 月に開催されたブラジル国際理事会の報告として、オーランド国際大会開催と、能登の被災 7 クラブの国際会費免除継続の件の他、国際理事会後に行われた奉仕事業の報告。

また所属している奉仕事業委員会にて検討中である新しい重点分野、来年度からの取り組みと国際協会のアワードのお知らせの他、必ず事業報告を出していただくよう呼びかけ。

・鶴嶋浩二 LCIF 理事より

LCIF からの報告として、8 月の理事会の決定事項として交付金の申請方法の変更と注意点について再度周知。

また第 62 回 OSEAL フォーラム委員長としての立場から、札幌でのフォーラムへの協力の呼びかけ。

第 II 部：JAPAN LIONS -Mission1.5 Meeting with District Governors of Japan-

・来日された AP シン国際第 1 副会長からのメッセージの後、サンギータ元国際理事を交えミッション 1.5 達成のための各地区の現状や取り組みの報告が行われ、特に女性や若い会員を増やすことと、新クラブ結成についての意見交換や、参加者からの質問について AP シン国際第 1 副会長・サンギータ元国際理事からのアドバイスが送られた。

以上

議事録作成人：

常務理事

伊賀 保夫

常務理事

諏訪 昇三

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ理事長

松浦 淳一【押印省略】

331-A 地区ガバナー

美田 法賢【押印省略】

335-A 地区ガバナー

永田 雅章【押印省略】

差出人： Merz_Yoshiko
宛先： lions@md330.jp; md331@ruby.ocn.ne.jp; [md332 ライオンズクラブ](mailto:md332); md333@nifty.com;
lions334@lilac.ocn.ne.jp; ガバナー協議会事務局_335複合地区; MD336; [MD337 ライオンズ](mailto:MD337); cab@lions330-a.org; cab.office@lions330-b.jp; 330-C; info@lc331-a.jp; kitami-cab@hyper.ocn.ne.jp; hakodate331-c@saito-n.jp; 332-A; office-332biorioka@almond.ocn.ne.jp; 332-c@lions-clubs.jp; キャビネット事務局_ライオンズクラブ; cabinet@lions332-e.jp; office@332-f.jp; cab@lc333a.org; cabinet@lions-333b.org; キャビネット事務局_333-C地区; A Office; info@lc333-e.com; cabinet@lc334a.gr.jp; cabinet@334b.org; webmaster@lions334-c.org; cabinet-office@lions334-d.jp; caboffice@lcint334e.org; cabinet335a@lc335a.gr.jp; 335bcabinet@lc335b.gr.jp; lions@skyblue.ocn.ne.jp; cabinet@lc335d.org; sakaidecab@lc336a.org; info@lc336-b.com; 2024-336c@336c.org; cco.oda@lc336d.com; cabinet@337-a.org; lions337-b@eos.ocn.ne.jp; 337-Cライオンズ; lc337d.kagoshima.c@gmail.com; lions.clubs.cabinet@ever.ocn.ne.jp

Cc: OSEALStaff
件名: Fw: 来期GATコーディネーター任命に関してのお願い
日付: 2024年12月27日 9:50:03
重要: 高

協議会議長各位

地区ガバナー各位

第一副地区ガバナー各位

(以下の方々には**BCC**をお送りしています。：元国際会長、国際理事、GATエリアリーダー、グループリーダー、社団理事長及び事務長)

お世話になっております。

標記の件につきまして、各所ですすでご案内をさせていただいておりますが、改めて人選及びご報告についてお願いと関連する説明をさせていただきます。下に添付したAPシン副会長から第一副地区ガバナーへのメッセージと合わせてご確認ください。

1. 2025-2026年度GATコーディネーターの早期人選及び報告について

下に添付したAPシン副会長からの一斉メールで再度お願いしております通り、国際協会への地区GATコーディネーター報告は来年1月31日までにオンラインで行っていただくことになっております。現ガバナーの任期がまだ半ば過ぎである時期に来期任命は不適切ではないかとのご質問もいただきましたが、国際協会も他の各組織同様、ウェブサイト上など公の場では来期会長のテーマを掲載したりすることは厳に慎む一方で、円滑かつ速やかに次年度の活動に入れるように準備を進めております。同様に、各地区に置かれましても、今年度は現ガバナーのリーダーシップのもとその目標に向けて推進していただき、第一副地区ガバナーにはチームの一員としての任務を果たしつつ、次期任期が始まった際には直ちにチームが動き出せるような準備を進めていただくようお願いいたします。

国際協会への報告はオンラインで行っていただきます。自動翻訳によりウェブサイトは日本語表記される場合でも、氏名の入力には必ずローマ字で行ってください。また、GMT、GST、GET、GLTの4コーディネーターを同時に入力しないと送信ができませんので、4名が決まってからご報告ください。

なお、日本のFVDG/DGE研修グループ番号は11です。

あわせて、漢字での氏名ご報告と日本独自のチーム報告を行っていただくため、オンラインでの報告とは別に、日本独自の書式を使って**OSEAL**事務局へもご報告をお願いいたします。こちらについては、新年に改めてご案内いたしますので、ご協力をお願いいたします。

複合地区**GAT**コーディネーターの早期登録は国際協会では求めておりませんが、地区コーディネーターとともに早期に準備を進めるため、可能な限り同じタイミングで複合地区**GAT**の人選も進めていただくようお願い申し上げます。次期議長の決定に先立つ形になりますが、現ガバナー協議会と第一副地区ガバナー、次期議長予定者の間で早期人選をご検討ください。報告書式等は年明けにご案内いたします。

2. 2025-2026年度からの現**FWT**組織に関して

日本においては**GAT**を構成するチームの一つとして、**FWT**（家族及び女性チーム）が各複合地区・地区に設置されてきました。過日**AP**シン副会長訪日の際に、現在国際理事会長期計画委員会に諮問する委員会として女性及び若手会員開発特別委員会が活動していることをふまえ、「女性及び若手会員チーム**WYPT**」とすることを提案したところ、賛同を得られたことから、来期より**FWT**を**WYPT**に変更することとしました。このチーム及び**WYPT**コーディネーターは日本独自のものとして、**OSEAL**調整事務局へ他の**GAT**コーディネーター報告時に合わせてご報告ください。

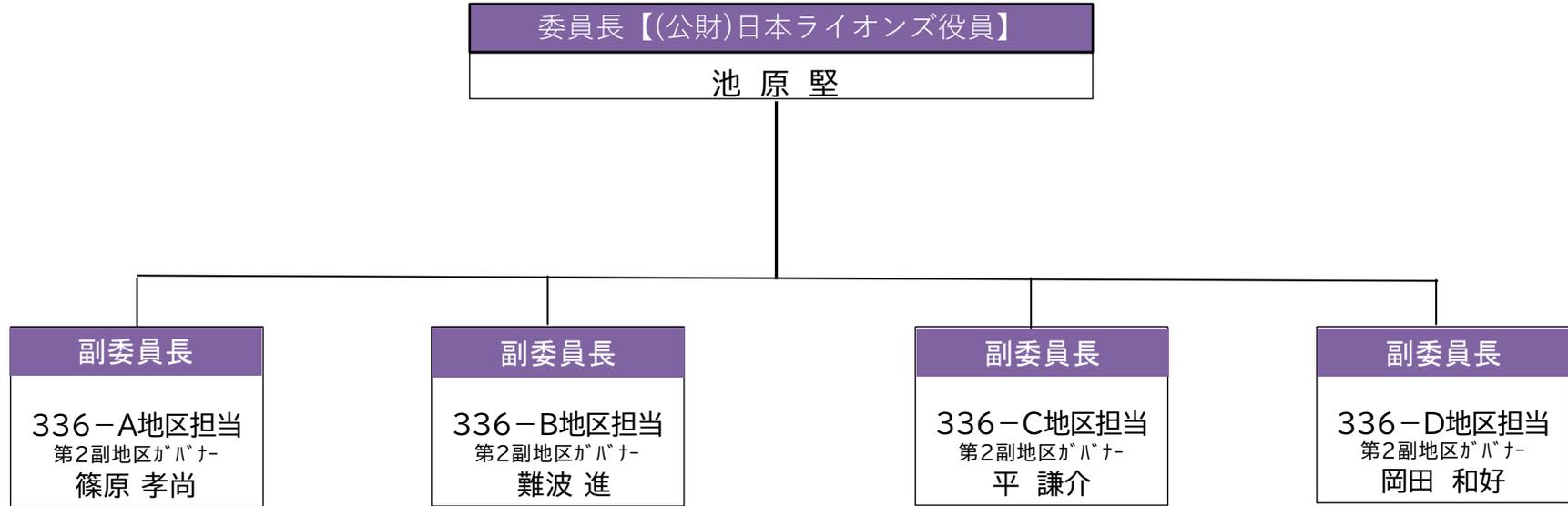
3. 2025ミッション1.5サミットについて

今年度8月に実施したミッション1.5サミットは、その後国際協会がフィードバックを取りまとめた結果、このサミットの効果を発揮するには年度開始前に終えておく必要があったとの意見が全世界的に多く寄せられました。そのため、先の理事会において、2025年のサミットは5月から8月の間、出来れば6月までに終えることと提言されましたので、検討の結果、日本での来期に向けたミッション1.5サミットは2025年6月2-3日の2日間、愛知県名古屋市で開催することといたしました。協会が指定するサミットへの出席が必要とされる役職は、地区ガバナー、地区**GMT**コーディネーター、地区**GET**コーディネーター、複合地区**GMT**コーディネーター、複合地区**GET**コーディネーター（すべて次期）です。次期協議会議長については要望があれば自己負担での出席可とすることとしました。

現在プログラムはリーダーシップ開発部が準備中で、詳細は追って通知いたしますが、現第一副地区ガバナーは日程を確保し、上記出席が必要な役職の予定者には伝達をいただきますようお願いいたします。2日は午前から開始、3日は午後4時までには終了を予定しています。

以上よろしくをお願いいたします。

ガバナー協議会役員(336複合)



キャビネット会議役員(準地区)





LCIF 日本リーダーズ会議 (2024-2025 年度第 3 回会議)

2024 年 12 月 4 日 9:30-16:00

ウインクあいち 11 階 1104 号会議室

議事次第

司会進行：松岡エリアリーダー

- | | | | |
|----|-----------------------------------|---------------------------------|-------------|
| 1. | 開会の挨拶 | 鶴嶋理事 | 9:30-9:40 |
| 2. | 挨拶 | 鈴木会則地域リーダー | 9:40-9:50 |
| 3. | 能登半島地震・水害救済委員会活動について | | |
| | • これまでの経緯について | 鈴木委員長 | 9:50-9:55 |
| | • 第 30 回会議 (ZOOM 会議) オブザーバー参加 | | 9:55-11:00 |
| | • 会議参加後の Q&A | | 11:00-11:15 |
| 4. | 世界報告日報告 | 阿久津エリアリーダー | 11:15-11:30 |
| | — 昼食休憩 — | | 11:30-13:00 |
| 5. | 第 2 四半期中間報告 | 出席リーダーズ | 13:00-14:30 |
| 6. | 執行委員会・事務局アップデート | | 14:30-15:45 |
| | • 執行委員会報告 | | |
| | • 交付金アップデート (クエスト、シェアリング交付金新書式等) | | |
| | • 表彰アップデート (100/100 クラブの再導入等) | | |
| | • コミュニケーションアップデート (第 2 回写真コンテスト等) | | |
| | • その他 | | |
| | • 1 月以降の後期日程の確認 | | |
| 7. | 次回会議日程 | 1 月 28 日 (火)
懇親会 27 日 (月) 夜? | 15:45-15:50 |
| 8. | 閉会の挨拶 | 鶴嶋理事 | 15:50-15:55 |

LCIF日本 2024-2025年度第3回会議 2024年12月4日 出欠表

役職	氏名	12/3 懇親会	12/4 会議	
元国際会長・LCIF理事	L. 山田 實紘			
元国際理事・LCIF理事	L. 鶴嶋 浩二	1	1	
LCIF開発 会則地域リーダー (日本)	L. 鈴木 誓男	1	1	
会則地域リーダー補佐 (データ担当)	L. 丸山 正芳	1	1	
会則地域リーダー補佐 (講義研修担当)	L. 夏 有民	1	1	
エリアリーダー 東日本	L. 阿久津 隆文	1	1	
エリアリーダー 西日本	L. 松岡 勲	1	1	
副エリアリーダー MD330・333	L. 石原 英司	0	1	
副エリアリーダー MD331・332	L. 及川 隆人	1	1	
副エリアリーダー MD334・335	L. 遠藤 紀夫	0	1	
副エリアリーダー MD336・337	L. 橋本 充好	1	1	
副エリアリーダー MD336・337	L. 吉村 千鶴子	0	0	ケガ療養中
MDコーディネーター MD330 LCIF日本事務局	L. 櫻井 貴裕	1	1	
MDコーディネーター MD331	L. 美田 法賢	1	1	
MDコーディネーター MD332	L. 村上 孝	0	0	調停員の仕事
MDコーディネーター MD333	L. 中嶋 正昭	1	1	
MDコーディネーター MD334	L. 原口 秀樹	1	1	
MDコーディネーター MD335	L. 高井 利夫	1	1	
MDコーディネーター MD336	L. 高岡 英治	0	1	
MDコーディネーター MD337	L. 二場 安之	1	1	
MD副コーディネーター MD330	L. 三浦 宏仁	1	1	
MD副コーディネーター MD331	L. 蟻崎 基	1	1	
MD副コーディネーター MD332	L. 佐野 宏美	0	1	
MD副コーディネーター MD333	L. 倉留 ラジェシュ	1	1	
MD副コーディネーター MD334	L. 山田 実貴人	0	1	
MD副コーディネーター MD335	L. 岡田 隆彦	1	1	
MD副コーディネーター MD335	L. 眞田 健二	1	1	
MD副コーディネーター MD336	L. 三口 巖	1	1	
MD副コーディネーター MD337	L. 下園 雄治	0	1	
LCIFアンバサダー	L. 川島 正行	1	1	
LCIFアンバサダー	L. 榎本 舜治	1	1	
LCIFアンバサダー	L. 大石 誠	0	1	
LCIFアンバサダー	L. 北畑 英樹	0	0	健診のため
LCIFアンバサダー	L. 矢野 進	0	0	体調不良
LCIFアンバサダー	L. 林田 俊一	0	0	体調不良
LCIFアンバサダー	L. 針田 一郎	0	1	
LCIFアンバサダー	L. 北野 憲太郎	0	1	
LCIFアンバサダー	L. 宇田川 直子	0	0	先約のため
LCIFサポーター	L. 藤弥 一司	0	0	体調不良
LCIFサポーター	L. 谷岡 憲行	0	0	先約のため
LCIFサポーター	L. 野木 良彦	0	1	
OSEAL調整事務局 局長	マーズ 佐子	1	1	
OSEAL調整事務局 LCIF開発課長	本間 純子	1	1	

24

34

委員会	委員長	副委員長	委員	委員 2	委員 3	委員 4	担当
LCIF 日本執行委員会	鶴嶋	鈴木	阿久津	松岡	櫻井		マーズ
海外パートナー事業委員会	鈴木	倉留	美田	川島	中嶋		マーズ
国内パートナー事業委員会	阿久津	及川	遠藤	橋本	岡田		本間
ファンドレイジング委員会	二場	原口	高井	高岡	三浦	吉村	本間
研修・リーダー育成委員会	松岡	山田	蠣崎	石原	夏		本間
マーケティング委員会	櫻井	村上	真田	三口	下園		藤井

※サポーター、アンバサダーは各自希望の委員会に所属することができる。

LCIF 日本リーダーズ

ファンドレイジング委員会

第1回会議 2024年12月18日(水) 午後1時30分～

議事次第

1. はじめに 委員長挨拶 二場 MD337 コーディネーター
2. 議事録作成者の任命
3. 本委員会構成員及びミッションの確認(別紙の委員会説明参照)
4. 今期目標達成に向けた活動についてーディスカッション
 - ① 1月から始める追い込み ZOOM 会議について
事務局提案：初回は 2MD 毎に開催。議事進行は副エリアリーダー、議題は現状把握と今後の具体的な達成計画について確認
 - ② 地区年次大会でのファンドレイジング活動について
募金箱のファンドレイジングから一歩進めたイベントを検討する。
例① MJF 昼食会の企画ー初めての MJF 表彰や 100%MJF フラッグクラブ表彰をメインとした昼食会。これから年次大会までの期間に、もう少しで達成する個人寄付者やクラブにお声がけする。
例② 何らかの奉仕事業のためのファンドレイジング
 - ③ 複合別に担当を決めて、ファンドレイジングの成功例、実施例を全国的に調査し、とりまとめて紹介する。
5. 今後の委員会スケジュールについて
1月にもう一度委員会を開催するか？
開催について曜日と時間を決めておく？(先日第1回会議を開催した研修・リーダー育成委員会は、水曜日午前11時30分～1時間の枠で毎月1度開催と決めています)

ちなみに今後の対面会議・研修の予定は
1月28日 第4回リーダーズ会議(27日午後6時～懇親会)
3月26日 第5回リーダーズ会議
4月～5月 地区及びMD年次大会
5月28日 DGE研修(末期ファンドレイジング及び交付金事業計画の最終確認)
6. まとめにかえて 副委員長挨拶 原口 MD334 コーディネーター

LCIF 日本 ファンドレイジング委員会

第1回会議 議事録

開催日時；2024年12月18日（水）午後1時30分～

出席者：委員長 L二場、副委員長 L原口、委員 L高井、委員 L高岡、委員 L三浦、
委員 L吉村、OSEAL事務局 本間

議事録作成者：L.原口

1. はじめに 委員長挨拶 二場 MD337 コーディネーター
2. 議事録作成者の任命 原口 MD334 コーディネーター
3. 本委員会構成員及びミッションの確認（別紙の委員会説明参照）
4. 今期目標達成に向けた活動についてーディスカッション
 - ① 1月から始める追い込み ZOOM 会議について
事務局提案：初回は2MD 毎に開催。議事進行は副エリアリーダー、議題は現状把握と今後の具体的な達成計画について確認。
石原副エリアリーダーより今現状使用している LCIF 目標達成進捗報告書の説明してもらう。現在地区 330.331.332.333 は使用しているがそれ以外の地区は使用しておらず書式、フォーマットがバラバラなのでこの際統一をしたらどうか。二場委員長が皆さんに尋ねると全会一致で統一することとなった。
 - ② 1人100ドル寄付にフォーカス 全国平均30%を目指す
具体的にどうしていくか。→LCIF 目標達成進捗報告書を使用しガバナー及び LCIF 委員に見える化し目標を立てて具体的に挽回すべき点等、行動を起こしてもらう。
 - ③ 地区年次大会でのファンドレイジング活動について
全国のファンドレイジング活動について各地区より調査方法取りまとめをどうするか。書式をどうするか、また成功例及び楽しみながら寄付を募る事例の取りまとめの担当はどうするか→ 今後の検討課題となる。
 - ④ 100/100 クラブ表彰 判定基準に関する審議
病気の正会員や終身会員が休会するなど会員ステータスを変更せずに活動を停止している場合の寄付免除についてどうするか→全会一致で寄付免除をすることとなった。
5. 今後の委員会スケジュールについて
 - ① 1月にもう一度委員会を開催するか？開催について曜日と時間を決めておく？
毎月水曜日午後3時から1時間の枠で毎月1度開催と決定
次回会議は1月15日午後3時から開催とする。
 - ② 2MD 毎に1月から実施する追い込み ZOOM 会議について、昨年までは開発会議と呼んでいたが、今期は LCIF 目標達成会議と呼ぶ。初回日程は以下の通り。

MD330.MD333 1/24 午後2時～4時（後日1/22 午前11時30分～午後1時30分に変更）
MD331.MD332 1/23 午後2時～4時
MD334.MD335 1/24 午前10時～12時正午
MD336.MD337 1/22 午後2時～4時

6. まとめに 副委員長挨拶 原口 MD334 コーディネーター

次回会議日程 1月15日（水）午後3時～1時間程度 ZOOM 会議



令和6年12月13日

Dキ発第52号

ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区
R C, Z C 各位
地区委員長、地区委員 各位
クラブ会長、前会長、幹事 各位
クラブ LCIF コーディネーター 各位
クラブ会員 各位

ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区
地区ガバナー 神田義満
LCIF 西日本副リーダー 橋本充好
MD336 コーディネーター 高岡英治
MD336LCIF 副コーディネーター 三口 巖

LCIF 集中セミナー開催の御案内(島根県・山口県)

謹啓 師走の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃よりライオンズクラブ国際財団(LCIF)をご支援いただき誠にありがとうございます。
さて、この度 MD336 において、会則地域リーダー補佐(講義研修担当)の L. 夏 有民氏を講師に迎えて、皆様により良くご理解いただき、ライオンズの人道奉仕により高い関心をもって活動して頂くためのセミナーを企画いたしました。

下記の日程で開催いたしますので、ご多忙中とは存じますが、何卒ご参加いただきますようお願い申し上げます。

神田地区ガバナーの今期、基本方針は会員拡大、LCIF、社会奉仕、指導力育成であります。この LCIF 集中セミナーは、336-D 地区の開催により、会員皆様と情報を共有し、知恵を出し、336-D 地区発展に全力を尽くして参りましょう。 謹言

記

日 時 令和7年1月18日(土) 14:00~17:00
会 場 山口県セミナーパーク 研修室 205号室
山口県山口市秋穂二島 1062 Tel: 083-987-1410
登録料 なし



令和6年12月10日

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区
R C, Z C 各位
地区委員長、地区委員 各位
クラブ会長、前会長、幹事、各位
クラブ LCIF コーディネーター各位

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区
地区ガバナー 石井淑雄
LCIF 西日本副リーダー 橋本充好
MD336 コーディネーター 高岡英治
336-A 地区 LCIF 推進コーディネーター 山地章靖
地区キャビネット幹事 森崎敏彦

LCIF 集中セミナー開催の御案内(徳島県・香川県)

謹啓 師走の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃よりライオンズクラブ国際財団(LCIF)をご支援いただき誠にありがとうございます。
さて、この度 MD336 において、会則地域リーダー補佐(講義研修担当)の L 夏 有民氏を講師に迎えて、皆様により良くご理解いただき、ライオンズの人道奉仕により高い関心をもって活動して頂くためのセミナー第2段を企画いたしました。

下記の日程で開催いたしますので、ご多忙中とは存じますが、何卒ご参加いただきますようお願い申し上げます。

石井地区ガバナーの今期、基本方針は会員拡大、社会奉仕、指導力育成、LCIF であります。この LCIF 集中セミナーは、四国は一つを念頭に 336-A 地区の開催により、四国の会員皆様と情報を共有し、知恵を出し、336-A 地区発展に全力を尽くして参りましょう。謹言

記

日 時 令和7年2月8日(土) 14:00~16:30
会 場 香川県坂出市役所 2F 大会議室
坂出市室町2丁目3番5号 TEL: 0877-46-3111
登録料 なし

参加者	R	Z	ライオンズクラブ
役職			ご氏名
役職			ご氏名
役職			ご氏名

※ 出欠返信は 1/15(水)までに坂出キャビネット事務局へメールにてお願いします

2023-2024 年度 LCIF 表彰

期間

- 前期 (2023 年 7 月～2 月、MD331 は 2023 年 7 月～3 月)
- 後期 (2024 年 3 月～6 月、MD331 は 2024 年 4 月～6 月)

<個人表彰>種類と判定基準

- 国際会長感謝状－前期または後期の期間中に 5,000 ドル以上の寄付、あるいは、通年 (2023 年 7 月～2024 年 6 月) で 5,000 ドル以上の寄付
- LCIF 理事長感謝状－期間中に 3,000 ドル以上 5,000 ドル未満の寄付、あるいは、通年で 3,000 ドル以上 5,000 ドル未満の寄付
- 企業寄付紹介者 (スポンサー) 感謝状－期間中に企業寄付を紹介して下さった会員

<クラブ表彰>種類と判定基準

- LCIF 理事長感謝状－期間中に会員一人当たり平均 300 ドル寄付をされたクラブ、あるいは通年期間中にそれを達成されたクラブ

*判定は各期間最終日の Lion Portal 登録の会員データ (世帯主以外の家族会員 (子会員)、賛助会員、名誉会員、優待会員、不在会員を除いた会員数) で計算

2023-2024 年度表彰数

クラブ表彰

表彰	MD	前期表彰	後期表彰	総計
☐ LCIF 理事長感謝状	330	26	18	44
	331	9	1	10
	332	4	3	7
	333	17	4	21
	334	44	8	52
	335	42	12	54
	336	14	4	18
	337	21	9	30
総計		177	59	236

個人表彰

表彰	MD	前期表彰	後期表彰	総計
☐ 国際会長感謝状	330	25	10	35
	331	11	2	13
	332	4	4	8
	333	11	1	12
	334	31	2	33
	335	28	4	32
	336	9	1	10
	337	19	2	21
国際会長感謝状 集計		138	26	164
☐ LCIF 理事長感謝状	330	12	7	19
	331	10	1	11
	332	6	2	8
	333	8	1	9
	334	19	10	29
	335	17	3	20
	336	10	4	14
	337	18	1	19
LCIF 理事長感謝状 集計		100	29	129
☐ スポンサー感謝状	330	12	3	15
	331	5		5
	332	1		1
	334	10	1	11
	335	21	2	23
	336	1		1
	337	4	2	6
	スポンサー感謝状 集計		54	8
総計		292	63	355



Lions Clubs International
FOUNDATION

写真で伝えよう LCIF のストーリー

第2回 LCIF 写真コンテスト

「文章より1枚の写真」

LCIFの交付金事業やファンドレイジング活動で、あなたが撮影した
LCIFのストーリー（活動や体験）が伝わる渾身の1枚を。

ネットやSNSで情報が飛び交う時代にあって、時に「写真」が人々の心を大きく動かします。

LCIFでは、世界中のライオンズのストーリーを集め、それを広めることで、次の人道的な支援へとつなぐ様々な
広報活動に取り組んでいます。

毎年たくさんの寄付と多くの交付金事業で貢献する日本のライオンズ会員の皆様にも、人々の心を動かす写真を
共有していただく機会として写真コンテストを行います。ぜひふるってご応募ください。

募集要項

応募作品：LCIFの交付金事業、またはファンドレイジング活動で撮影された写真が対象です。

事業や活動を通じた人々や子どもたちとのふれあい、活動の様子や臨場感が伝わる、
ライオンズクラブの奉仕ならでの1枚をお待ちしております。

※詳細は「応募のきまり」を確認のうえ、写真の撮り方資料

「写真でLCIFの活動を残し、広める」も事前にご参照ください。

応募資格：応募者は、グッドスタンディングのライオンズクラブに所属するクラブ会員に限ります。

応募方法：LCIF.jpに掲載する応募専用リンクから画像ファイルをアップロード ※「応募方法」をご覧ください。

応募締め切り：2025年6月30日17:00アップロード分まで

応募作品の審査：ご応募いただいた作品のなかから、募集テーマ「写真で伝えようLCIFのストーリー」をもっともよく
表す写真をLCIFコーディネーター会議・研修会にて協議会議長、地区ガバナー、地区LCIFコーディネーター及び
LCIF日本の役員が審査し、優秀作品を選定します。

応募作品の公開：応募作品はLCIF.jpをはじめ、ライオンズ・インターナショナルの各種メディアにて公開させていただ
く可能性があります。あらかじめご了承ください。



LCIF.jpを
チェック！



お問い合わせ：ライオンズ・インターナショナル オセアル調整事務局 LCIF 課 LCIFTokyo@lionsclubs.org 050-5497-9338

地区	エリア: AL・SAL・MDC	CC・DG	2024-2025年度実績					
			10月累計	11月 (銀行ベース)	12月16日現在 (銀行ベース)	今期累計	今期目標	達成率
330-A	東京	森 亮介	176,803	26,625	1,000	204,328	500,000	40.9%
330-B	神奈川・山梨・東京	倉田 雅史	328,628	40,491	6,432	375,550	510,000	73.6%
330-C	埼玉	猪野塚 弘樹	85,756	1,000	0	86,755	200,000	43.4%
MD330計	330MDC 櫻井 貴裕	伊賀 保夫	591,185	68,016	7,432	666,633	1,210,000	55.1%
331-A	道央	奥田 法賢	265,083	12,718	13,854	291,655	270,000	108.0%
331-B	道北・道東	伊東 陸志	21,545	22,239	5,371	49,156	150,000	32.8%
331-C	道南	齋藤 尚仁	80,187	8,789	10,012	98,988	150,000	66.0%
MD331計	331MDC 奥田 法賢	諏訪 昇三	366,815	43,747	29,237	439,799	570,000	77.2%
332-A	青森	吉澤 俊寿	49,908	24,421	1,140	75,470	130,000	58.1%
332-B	岩手	平野 嘉男	42,587	12,400	3,160	58,148	100,000	58.1%
332-C	宮城	佐藤 久一郎	58,533	5,220	3,824	67,577	95,000	71.1%
332-D	福島	幸田 信彦	93,121	6,917	888	100,927	120,000	84.1%
332-E	山形	安孫子 英彦	22,503	5,365	1,000	28,869	75,000	38.5%
332-F	秋田	長澤 源一	12,086	10,648	1,000	23,733	60,000	39.6%
MD332計	332MDC 村上 孝	渡邊 俊弥	278,739	64,972	11,013	354,724	580,000	61.2%
333-A	新潟	高須 八郎	117,005	67,127	3,949	188,080	220,000	85.5%
333-B	栃木	福田 智恵	69,373	2,350	3,000	74,723	130,000	57.5%
333-C	千葉	大瀧 陸明	124,262	9,227	5,006	138,495	260,000	53.4%
333-D	群馬	染谷 文雄	72,857	8,559	3,627	85,042	150,000	56.7%
333-E	茨城	椎名 健二	97,134	33,256	21,001	151,390	500,000	30.3%
MD333計	333MDC 中嶋 正昭	佐藤 裕幸	484,088	120,519	35,583	641,190	1,250,000	51.3%
MD330・333計	330・333 SAL 石原 英司		1,075,273	188,535	44,014	1,307,822	2,460,000	53.2%
MD331・332計	331・332 SAL 及川 隆人		645,555	108,719	40,250	794,523	1,150,000	69.1%
東日本計	東日本AL 阿久津 陸文		1,720,828	297,253	84,264	2,102,345	3,610,000	58.2%
334-A	愛知	柴田 高志	378,217	114,388	8,900	501,505	1,100,000	45.6%
334-B	岐阜・三重	丹羽 浩康	214,549	12,167	2,594	229,310	340,000	67.4%
334-C	静岡	嶋崎 邦彦	107,738	32,548	2,800	143,086	300,000	47.7%
334-D	富山・石川・福井	杉本 徹	161,372	28,288	10,900	200,561	400,000	50.1%
334-E	長野	浜 一平	133,045	25,634	1,200	159,879	260,000	61.5%
MD334計	334MDC 原口 秀樹	喜多 友一	994,922	213,025	26,394	1,234,341	2,400,000	51.4%
335-A	兵庫東(神戸)	永田 雅章	67,565	11,210	1,770	80,545	200,000	40.3%
335-B	大阪・和歌山	古川 繁浩	470,536	85,749	37,111	593,396	900,000	65.9%
335-C	滋賀・京都・奈良	野々山 宏	359,232	57,433	22,842	439,507	550,000	79.9%
335-D	兵庫西(姫路)	今市 明弘	176,836	6,673	22,233	205,742	200,000	102.9%
MD335計	335MDC 高井 利夫	廣田 昇一	1,074,169	161,065	83,955	1,319,189	1,850,000	71.3%
336-A	徳島・富山・香川・愛媛	石井 淑雄	195,547	47,885	13,377	256,809	448,000	57.3%
336-B	岡山・鳥取	上原 正樹	67,308	9,831	2,400	79,539	220,000	36.2%
336-C	広島	鳴戸 大二	138,979	42,492	1,960	183,431	260,000	70.6%
336-D	山口・島根	神田 義満	78,869	35,642	15,667	130,179	230,000	56.6%
MD336計	336MDC 高岡 美治	藤井 信英	480,704	135,850	33,405	649,958	1,148,000	56.6%
337-A	福岡・長崎	矢野 達	213,868	54,781	3,000	271,669	500,000	54.3%
337-B	大分・宮崎	武永 健治郎	50,664	6,636	480	57,679	200,000	28.8%
337-C	佐賀・長崎	為永 一夫	111,610	13,500	23,460	148,571	230,000	64.6%
337-D	鹿児島・沖縄	宇都 要一	66,249	19,738	200	86,187	200,000	43.1%
337-E	熊本	吉井 本	43,875	5,136	0	49,011	150,000	32.7%
MD337計	337MDC 二場 安之	瀧田 浩平	486,287	99,691	27,140	613,118	1,280,000	47.9%
MD334・335計	334・335 SAL 通部 紀夫		2,069,091	374,090	110,349	2,653,531	4,250,000	60.1%
MD336・337計	336・337 SAL 橋本充好/吉村千鶴子		966,990	235,541	60,545	1,263,076	2,428,000	52.0%
西日本計	西日本AL 松岡 勲		3,036,082	609,631	33,405	3,679,117	6,678,000	55.1%
全日本合計	会別地域リーダー 鈴木 智男		4,756,910	906,884	117,668	5,781,462	10,288,000	56.2%

一人100ドル寄付参加率 比較			
会員数 (子会員を除く)	\$100寄付参加率 (10月現在)	\$100寄付参加率 (昨年度)	\$100寄付参加率 (C100最数年度)
3,924	2.5%	13.4%	26.1%
3,122	24.1%	28.4%	35.5%
1,432	2.3%	7.6%	44.8%
8,478	10.4%	16.8%	32.6%
2,113	13.3%	45.5%	53.9%
1,680	0.8%	9.3%	26.8%
1,277	6.3%	25.3%	30.8%
5,070	7.4%	28.4%	38.6%
1,672	7.8%	5.0%	31.7%
1,256	3.4%	4.4%	16.3%
1,189	5.9%	10.2%	21.9%
1,718	8.3%	10.4%	39.2%
1,360	1.3%	5.8%	21.8%
899	0.6%	2.5%	15.3%
8,094	5.0%	6.7%	25.8%
2,432	10.6%	26.3%	45.7%
1,024	10.4%	19.3%	21.2%
2,294	12.2%	14.0%	15.1%
1,361	10.3%	10.0%	14.4%
2,870	11.8%	36.9%	52.5%
9,981	11.2%	23.5%	33.5%
18,459	10.9%	20.3%	33.1%
13,164	5.9%	15.1%	30.8%
31,623	8.8%	18.2%	32.2%
3,771	9.3%	41.1%	40.5%
2,531	15.7%	22.3%	28.3%
2,537	7.8%	27.7%	29.3%
3,284	9.6%	22.7%	39.3%
1,654	24.3%	47.4%	44.2%
13,777	12.1%	31.5%	36.2%
1,518	8.8%	28.8%	36.9%
4,704	33.7%	57.7%	63.1%
3,255	48.6%	79.4%	69.2%
1,381	14.3%	48.7%	47.1%
10,858	32.2%	59.0%	59.0%
4,294	6.2%	22.4%	22.9%
2,197	6.1%	8.2%	20.8%
2,491	5.5%	11.7%	20.0%
2,482	2.7%	5.9%	9.2%
11,464	5.3%	13.8%	18.9%
3,730	5.2%	9.2%	14.4%
1,908	4.3%	5.9%	27.7%
2,150	5.7%	7.1%	35.9%
1,830	0.9%	15.0%	38.2%
1,500	7.7%	23.5%	38.9%
11,118	4.8%	11.2%	28.1%
24,635	21.0%	43.7%	46.3%
22,582	5.0%	12.6%	23.4%
47,217	13.3%	28.9%	35.4%
78,840	11.5%	24.5%	34.1%

*レガシー・ソリエティ寄付 (遠隔寄付) 誓約の生前贈与寄付1万ドルを実行された寄付者の寄付も含まれます。

MD336 第 2 回ミッション 1.5 進捗確認会議 (WEB) 議事録
(GMT・GET・FWT 合同会議)

開催日時：2024 年 11 月 6 日 (水) 10:00~11:30 接続 9:45~

出席者 ※敬称略、順不同

GATJapan エリアリーダー (西日本)	松岡 勲
ガバナー協議会議長	藤井 信英
A 地区ガバナー	石井 淑雄
B 地区ガバナー	上原 正樹
C 地区ガバナー	鳴戸 大二
D 地区ガバナー	神田 義満
複合地区 GMT コーディネーター	
C 地区 GMT コーディネーター・GET コーディネーター	宮本 浩二
複合地区 GMT 副コーディネーター	篠原 孝尚
複合地区 FWT 副コーディネーター	齊藤 由香
B 地区 GMT コーディネーター	吉原 徹
D 地区 GMT・FWT コーディネーター	原田 瑞樹
B 地区 FWT・GET コーディネーター	岩崎 純子
C 地区 FWT コーディネーター	堀 葉子
D 地区 FWT 副コーディネーター	金子 勝

司会進行：複合地区 GMT コーディネーター 宮本 浩二

1. 開会挨拶：ガバナー協議会 議長 藤井 信英
2. 出席者紹介：割愛
3. 挨拶：GATJapan エリアリーダー (西日本) 松岡 勲
4. 各地区ガバナーより近況報告
5. ミッション 1.5 MD336 進捗報告フォーム入力の再要請
毎月 3 日迄 複合地区へ「ミッション 1.5 進捗報告フォーム」にて報告
毎月 5 日迄 GATJapan 副エリアリーダー (MD336 担当：有本みどり氏) へ報告
※MD336GAT 会議 (ミッション 1.5・GMA 進捗確認) は、次回令和 6 年 1 月開催予定。
6. 参加者皆さまより近況報告
7. 質疑応答
8. 総評：GATJapan エリアリーダー (西日本) 松岡 勲
9. 閉会挨拶：GMT 世話人 上原 正樹

議事録作成者 宮本 浩二

MD336 第3回ミッション1.5進捗確認会議（WEB）議事録
（GMT・GET・FWT 合同会議）

開催日時：2025年1月8日（水）10：00～11：30 接続9：45～

出席者 ※敬称略、順不同

ガバナー協議会議長	藤井 信英
A 地区ガバナー	石井 淑雄
B 地区ガバナー	上原 正樹
C 地区ガバナー	鳴戸 大二
D 地区ガバナー	神田 義満
MD336FWT コーディネーター	山崎もとみ
MD336GMT コーディネーター	
C 地区 GMT・GET コーディネーター	宮本 浩二
MD336GMT 副コーディネーター	篠原 孝尚
A 地区 GMT・GLT コーディネーター	真鍋 隆
C 地区 FWT コーディネーター	堀 葉子
D 地区 FWT 副コーディネーター	金子 勝

司会進行：MD336GMT コーディネーター 宮本 浩二

1. 開会挨拶：ガバナー協議会 議長 藤井 信英
2. 出席者紹介：割愛
3. 挨拶：MD336FWT コーディネーター 山崎もとみ
4. 各地区ガバナーより近況報告
5. ミッション1.5 MD336 進捗状況について
8 複合共に GATJapan へ毎月の報告をおこなっている
各準地区及び準地区内各クラブからの情報収集に苦戦している
RC・ZC に協力を要請して情報収集をおこなうことが大切
※MD336GAT 会議（ミッション1.5・GMA 進捗確認）は、次回令和7年3月開催予定
5. 参加者皆さまより近況報告
FWT から WYPT（FWT）へ名称変更（国際協会決定事項：25日正式発表）
WYPT ⇒ ⇒ Woman Young People Team（ウーマン ヤング ピーブル チーム）
新クラブ新設：D 地区 1 クラブ新設済
A 地区 2 クラブ・D 地区 1 クラブ新設に向けて最終調整中
新クラブ支部：A 地区 9 クラブ支部・C 地区 2 クラブ支部・D 地区 1 クラブ支部新設済
各準地区とともに 3～5 クラブ支部新設に向けて調整中
解散クラブ：B 地区 3 クラブ・C 地区 1 クラブ（12 月末解散）
各準地区とともに MISSION1.5・GMA に取り組んでいる
6. 質疑応答
7. 総評：ガバナー協議会 議長 藤井 信英
8. 閉会挨拶：MD336GMT 世話人 上原 正樹

議事録作成者 宮本 浩二

ライオンズクラブ国際協会336複合地区
(2024-2025年度)

MISSION1.5進捗報告書

2024.7月～12月

336複合地区ガバナー協議会議長 藤井 信英
336-A地区ガバナー 石井 淑雄
336-B地区ガバナー 上原 正樹
336-C地区ガバナー 鳴戸 大二
336-D地区ガバナー 神田 義満

報告書作成者

336複合地GMTコーディネーター 宮本 浩二

FILTER BY RESET

LCI | GAT

- Total Membership
- Drop Membership
- Membership by Type

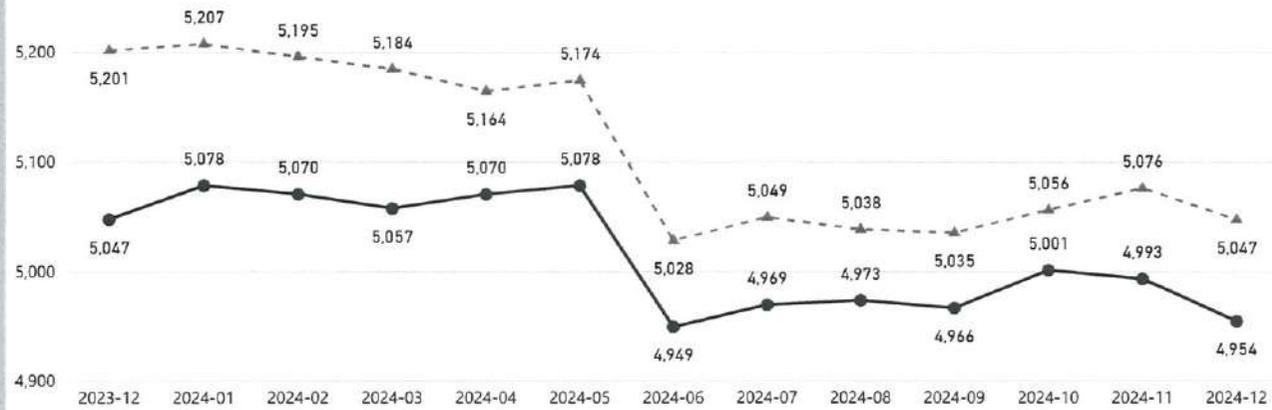
CA
すべて

Multiple District
336

District
336 A

Total Membership by Month

● Total Membership ▲ Total Membership 1 Year Ago (Same Time Frame)



Membership Metrics

4,954
Total Membership

214
Drop Members in FY

219
Members Added in FY

5
Net Growth in FY

0.10%
Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
☑ Orient and Southeast Asia	4,954	5,047	219	214	5	
合計	4,954	5,047	219	214	5	



FILTER BY RESET

LCI | GAT

- Total Membership**
- Drop Membership
- Membership by Type

CA

すべて

Multiple District

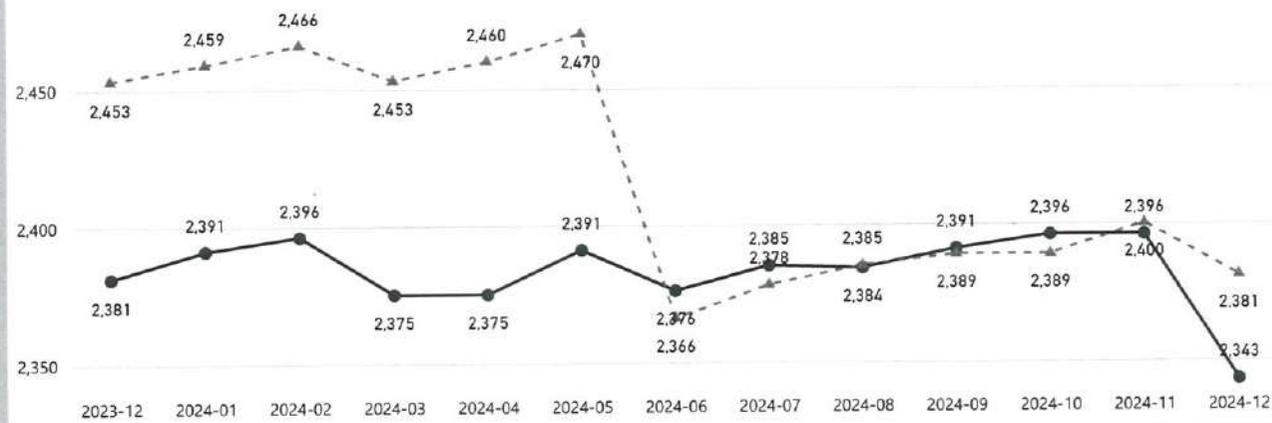
336

District

336 B

Total Membership by Month

● Total Membership ▲ Total Membership 1 Year Ago (Same Time Frame)



Membership Metrics

2,343
Total Membership

125
Drop Members in FY

92
Members Added in FY

-33
Net Growth in FY

-1.41%
Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
☐ Orient and Southeast Asia	2,343	2,381	92	125	-33	
合計	2,343	2,381	92	125	-33	



FILTER BY RESET

LCI | GAT

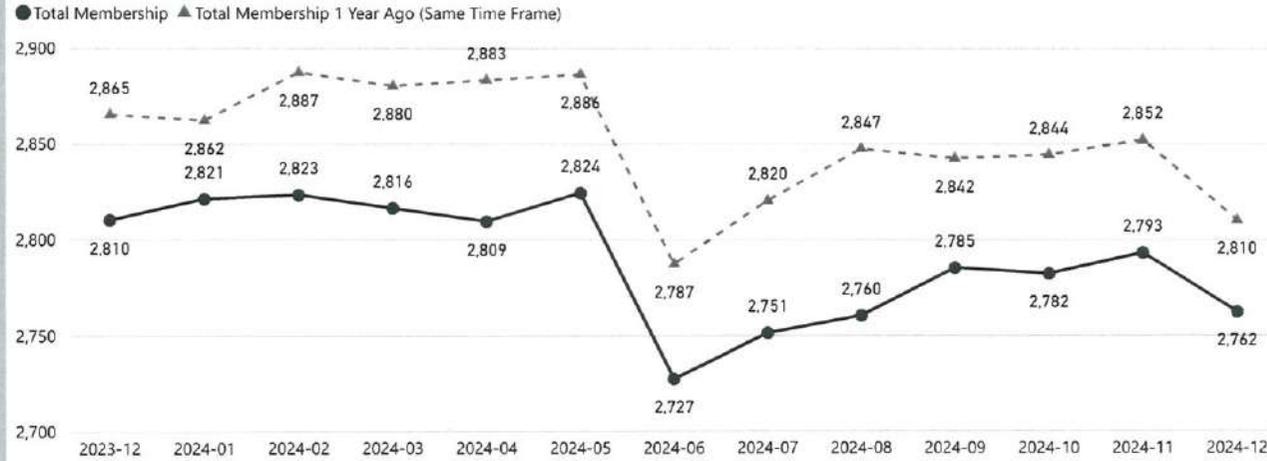
- Total Membership**
- Drop Membership
- Membership by Type

CA
すべて

Multiple District
336

District
336 C

Total Membership by Month



Membership Metrics

2,762
Total Membership

74
Drop Members in FY

109
Members Added in FY

35
Net Growth in FY

1.27%
Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
<input checked="" type="checkbox"/> Orient and Southeast Asia <input type="checkbox"/> 合計	2,762	2,810	109	74	35	35



FILTER BY RESET

LCI | GAT

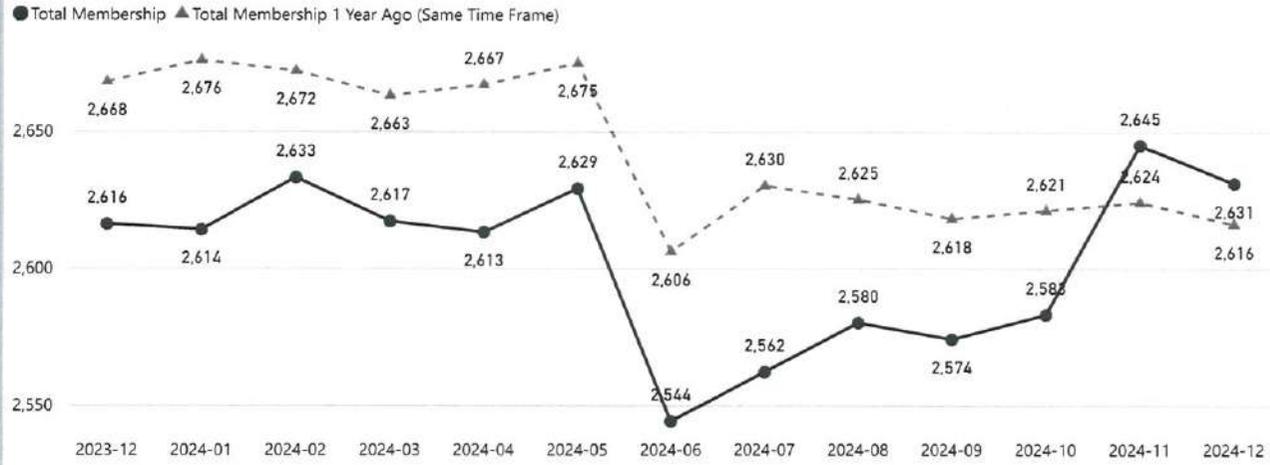
- Total Membership**
- Drop Membership
- Membership by Type

CA
すべて

Multiple District
336

District
336 D

Total Membership by Month



Membership Metrics

2,631
Total Membership

85
Drop Members in FY

172
Members Added in FY

87
Net Growth in FY

3.31%
Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
📍 Orient and Southeast Asia	2,631	2,616	172	85	87	
合計	2,631	2,616	172	85	87	



FILTER BY RESET

LCI | GAT

- Total Membership**
- Drop Membership
- Membership by Type

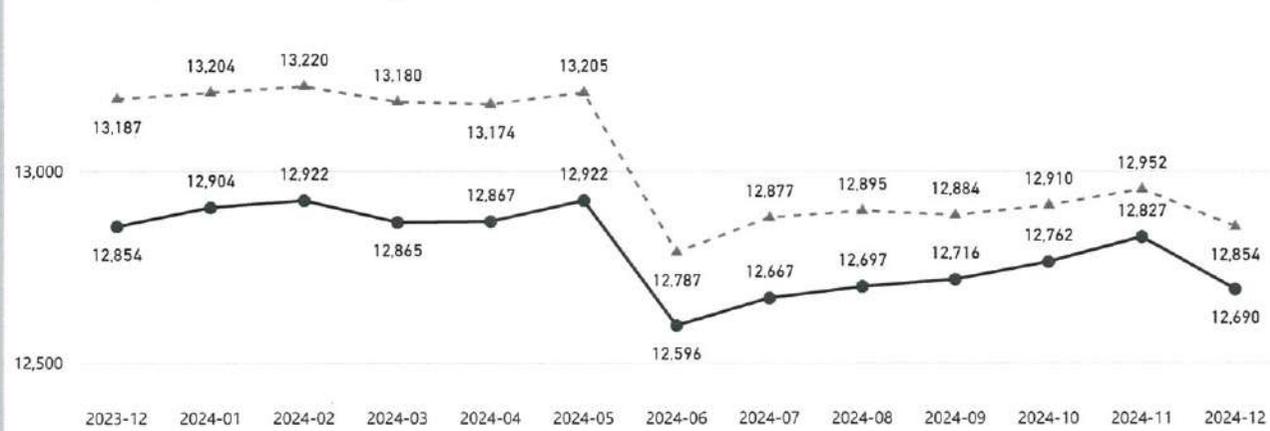
CA
すべて

Multiple District
336

District
すべて

Total Membership by Month

● Total Membership ▲ Total Membership 1 Year Ago (Same Time Frame)



Membership Metrics

12,690
Total Membership

498
Drop Members in FY

592
Members Added in FY

94
Net Growth in FY

0.74%
Net Growth in FY%

Constitutional Area	Membership in Fiscal Year	Membership in Previous Fiscal Year	Members Added in Fiscal Year	Drops in Fiscal Year	Gain or Loss in Fiscal Year	Three Year New Me
☐ Orient and Southeast Asia	12,690	12,854	592	498	94	
合計	12,690	12,854	592	498	94	



MD336クラブ（クラブ支部）及び会員増減

		クラブ数	新結成	解散	クラブ数増減	クラブ支部数	新結成	会員数	入会者数	退会者数	会員数増減	男性会員数	女性会員数	女性の割合	家族会員(子会員)	子会員の割合	男性子会員数	女性子会員数	子会員を除く会員数
2024～2025	336-A	133	0	1	(1)	29	9	4,954	219	215	5	3,837	1,156	23.2%	697	14.0%	147	550	4,296
2024年6月末	336-A	134	0	1	(1)	12	5	4,949	451	530	(79)	3,803	1,146	23.2%	732	14.8%	154	570	4,217
2023年6月末	336-A	135	0	2	(2)	11	5	5,028	359	508	(149)	3,863	1,164	23.2%	749	14.9%	151	598	4,279
2022年6月末	336-A	137	0	3	(3)	6	1	5,177	392	629	(237)	3,992	1,185	22.9%	794	15.3%	157	637	4,383
2021年6月末	336-A	140	0	0	0	5	0	5,414	395	499	(104)	4,152	1,262	23.3%	855	15.8%	171	684	4,559
2020年6月末	336-A	140	0	2	(2)	5	1	5,518	399	674	(275)	4,304	1,214	22.0%	835	15.1%	164	671	4,683
2024～2025	336-B	78	0	3	(3)	12	0	2,343	92	125	-33	2,004	392	16.4%	192	8.0%	38	154	2,204
2024年6月末	336-B	81	0	2	(2)	12	0	2,376	246	236	10	1,988	388	16.3%	197	8.3%	42	161	2,179
2023年6月末	336-B	83	0	2	(2)	14	1	2,360	198	299	(101)	1,992	368	15.6%	194	8.2%	39	155	2,166
2022年6月末	336-B	85	0	2	(2)	13	1	2,461	153	322	(169)	2,049	412	16.7%	225	9.1%	44	181	2,236
2021年6月末	336-B	87	1	3	(2)	12	1	2,630	165	310	(145)	2,190	440	16.7%	243	9.2%	46	197	2,387
2020年6月末	336-B	89	0	1	(1)	11	1	2,775	191	337	(146)	2,310	465	16.8%	271	9.8%	52	219	2,504
2024～2025	336-C	75	0	1	(1)	21	0	2,762	109	74	35	2,282	511	18.3%	289	10.3%	53	236	2,504
2024年6月末	336-C	76	0	3	(3)	21	4	2,727	227	287	(60)	2,239	488	17.9%	285	10.5%	50	236	2,442
2023年6月末	336-C	79	0	0	0	17	8	2,787	214	285	(71)	2,285	502	18.0%	309	11.1%	52	257	2,478
2022年6月末	336-C	79	0	3	(3)	11	1	2,858	179	324	(145)	2,355	503	17.6%	342	12.0%	65	277	2,516
2021年6月末	336-C	82	0	1	(1)	10	4	3,003	211	277	(66)	2,466	537	17.9%	384	12.8%	75	309	2,619
2020年6月末	336-C	83	0	3	(3)	6	2	3,069	215	358	(143)	2,531	538	17.5%	392	12.8%	71	321	2,677
2024～2025	336-D	83	1	0	0	12	1	2,631	172	85	87	2,290	355	13.4%	101	3.8%	11	90	2,544
2024年6月末	336-D	82	0	2	(2)	11	4	2,544	225	287	(62)	2,240	304	11.9%	94	3.7%	11	88	2,450
2023年6月末	336-D	84	0	0	0	7	2	2,606	212	235	(23)	2,283	322	12.4%	103	4.0%	12	91	2,503
2022年6月末	336-D	84	0	4	(4)	5	1	2,629	177	301	(124)	2,310	319	12.1%	119	4.5%	15	104	2,510
2021年6月末	336-D	88	0	0	0	4	0	2,753	188	255	(67)	2,414	339	12.3%	129	4.7%	18	111	2,624
2020年6月末	336-D	88	0	0	0	4	1	2,820	238	336	(98)	2,501	319	11.3%	141	5.0%	20	121	2,679
2024～2025	MD336	369	1	5	(4)	74	10	12,690	592	499	94	10,413	2,414	18.8%	1,279	10.0%	249	1,030	11,548
2024年6月末	MD336	373	0	8	(8)	56	13	12,596	1,149	1,340	(191)	10,270	2,326	18.5%	1,308	10.4%	257	1,055	11,288
2023年6月末	MD336	381	0	4	(4)	49	16	12,781	983	1,327	(344)	10,423	2,356	18.4%	1,355	10.6%	254	1,101	11,426
2022年6月末	MD336	385	0	12	(12)	33	4	13,125	901	1,576	(675)	10,706	2,419	18.4%	1,480	11.3%	281	1,199	11,645
2021年6月末	MD336	397	1	4	(3)	29	5	13,800	959	1,341	(382)	11,222	2,578	18.7%	1,611	11.7%	310	1,301	12,189
2020年6月末	MD336	400	0	6	(6)	24	5	14,182	1,043	1,705	(662)	11,646	2,536	17.9%	1,639	11.6%	307	1,332	12,543

※ 実績の数値は12月末現在の速報値を入力しております。確定値ではございません。

		336-A		336-B		336-C		336-D		MD336	
		期首人数	4,949	期首人数	2,376	期首人数	2,727	期首人数	2,544	期首人数	12,596
		目標人数	5,009	目標人数	2,396	目標人数	2,747	目標人数	2,564	目標人数	12,716
		目標	実績								
7~9月	会員増強	140	127	50	68	50	83	50	79	290	357
	退会見込み	110	110	45	53	45	25	40	49	240	237
10~12月	会員増強	140	92	30	24	80	26	70	93	320	235
	退会見込み	110	104	25	72	75	49	50	36	260	261
1~3月	会員増強	140		70		80		60		350	0
	退会見込み	110		65		75		50		300	0
4~6月	会員増強	110		66		49		40		265	0
	退会見込み	140		61		44		60		305	0
会員増強計画 合計		530	219	216	92	259	109	220	172	1225	592
退会見込み 合計		470	214	196	125	239	74	200	85	1105	498
会員増強目標 (必達)		60	5	20	-33	20	35	20	87	120	94

会員増強に対する具体的な行動計画

336-A	ガバナーチーム、GAT各コーディネーター、RC、ZC、地区委員と情報共有し、今期、2つのクラブのエクステンション5つのクラブ支部結成を必ず達成する。また、退会防止には会員種別を活用する。
336-B	GMTを中心として今期同様の会員拡大数値を各クラブに提示して依頼する。女性を中心として新クラブ結成チームを結成し、学生会員の拡大にも向けたチーム作り。メンバー以外への理解を広める企画作り。
336-C	地区内76クラブにGMA目標を定め、リジョン・ゾーン単位で具体的な会員増強目標を設定する。RC・ZCにクラブの女性会員増強の目標設定を依頼し、少人数クラブの解散・退会者防止対策のため、さらなる会員満足度向上を図る。各ゾーン1支部（11支部）新設を目標とする。
336-D	GMTを中心として会員増強の目標設定を明確にし毎月のチェック及び問題があれば迅速に対応する。RC,ZCに情報の共有を依頼し、支部結成に向けて、成功事例、活動状況をSNSなど利用しクラブ支部の活動を紹介し新規クラブ結成に結び付ける。
MD336	各地区ガバナー目標達成に向けて支部・女性会員・学生会員増強に取り組む。少人数クラブの地区役員免除など解散防止策を実施し、GMA研修会を実施して各クラブに再度十分理解させる。次世代リーダーを各リジョン・ゾーンで発掘・指導育成する。

四半期会員増強進捗状況一覧表

	第2四半期						10月～12月									現会員数	
	10月		11月		12月		新会員			退会			会員増強				
	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率		
336-A	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	4,992	
期首人数	4,949	55	20	13	21	24	63	140	92	66%	110	104	95%	30	-12		-40%
目標人数	5,009	35		-8		-39											
336-B	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,384	
期首人数	2,376	10	5	8	20	6	47	30	24	80%	25	72	288%	5	-48		-960%
目標人数	2,396	5		-12		-41											
336-C	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,777	
期首人数	2,727	7	8	13	20	6	21	80	26	33%	75	49	65%	5	-23		-460%
目標人数	2,747	-1		-7		-15											
336-D	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,645	
期首人数	2,544	16	8	71	8	6	20	70	93	133%	50	36	72%	20	57		285%
目標人数	2,564	8		63		-14											
MD336	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	12,798	
期首人数	12,596	83	41	110	70	42	150	320	235	73%	260	261	100%	60	-26		-43%
目標人数	12,716	42		40		-108											

※ 12月の数値は月末速報値の数値を入力しております。確定値ではございません。

	第1四半期						7月～9月									現会員数	
	7月		8月		9月		新会員			退会			会員増強				
	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率		
336-A	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	4,966	
期首人数	4,949	59	39	43	39	25	32	140	127	91%	110	110	100%	30	17		57%
目標人数	5,009	20		4		-7											
336-B	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,391	
期首人数	2,376	34	25	10	11	24	17	50	68	136%	45	53	118%	5	15		300%
目標人数	2,396	9		-1		9											
336-C	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,785	
期首人数	2,727	39	15	13	4	31	6	50	83	166%	45	25	56%	5	58		1160%
目標人数	2,747	24		9		25											
336-D	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	2,574	
期首人数	2,544	38	20	29	11	12	18	50	79	158%	40	49	123%	10	30		300%
目標人数	2,564	18		18		-4											
MD336	新会員	退会	新会員	退会	新会員	退会	目標	実績	達成率	予測	実績	達成率	目標	実績	達成率	12,716	
期首人数	12,596	170	99	95	65	92	73	290	357	123%	240	237	99%	50	120		240%
目標人数	12,716	71		30		19											

336 複合地区公認ガイディングライオン講習会 次第

日 時：2025 年 1 月 25 日（土）13：00～16：00 ※受付 12：30～
 場 所：岡山国際交流センター 8F イベントホール
 〒700-0026 岡山市北区奉還町 2-2-1 TEL：086-256-2905
<https://www.opief.or.jp/oicenter/access.html>

司会：336 複合地区 GLT コーディネーター 西尾 慎一

※敬称略

13：00～13：15	<p>[開会挨拶] 336 複合地区ガバナー協議会副議長（336-A 地区ガバナー） 336 複合地区 GLT 担当ガバナー 石井 淑雄</p>
	<p>[講師の紹介] 336 複合地区 GLT コーディネーター 西尾 慎一</p> <p>講 師：2023-2025 年度 国際理事 濱野 雅司 （330-C 地区 岩槻 LC 所属）</p>
	<p>[本日のスケジュールについて] 2023-2025 年度 国際理事 濱野 雅司</p>
13：15～14：45	講 習 会（前半の部）
14：45～15：00	休 憩
15：00～15：50	講 習 会（後半の部）
15：50～16：00	<p>[質疑応答] [閉会挨拶] 336 複合地区 GLT コーディネーター西尾 慎一</p>

公認ガイディング・ライオン講習会 次第

日 時 : 2025 年 1 月 26 日(日) 9:30~12:30

場 所 : 出雲ロイヤルホテル 1F 末広の間

【司会】 キャビネット幹事 宮川 千明

※敬称略

1. 開会の挨拶 地区ガバナー 神田 義満
2. 講師紹介 キャビネット幹事 宮川 千明
【講師】
2023-2025 年度 国際理事 濱野 雅司
(330-C 地区 岩槻 LC 所属)
3. 本日のスケジュールについて 2023-2025 年度 国際理事 濱野 雅司
4. 講習会
9:40~11:10 (前半の部) (90分)
~休憩 15分~
11:25~12:15 (後半の部) (50分)
質疑応答 (15分)
12:15~12:30
5. 閉会の挨拶 地区ガバナー 神田 義満

差出人： [畑中 隆之](#)
宛先： ["MD336事務局"](#); [藤井 信英 様](#); [松岡 哲也 様](#); [森田 安芸彦 様](#)
件名： FW: 「思いやりは大切なこと」奉仕アワード お祝いのEメール
日付： 2025年1月17日 9:10:02
添付ファイル： [image001.png](#)
[KMSA Press Release Template_2024 JP.doc](#)

いつも大変お世話になっております。
思いやりは大切なこと奉仕アワード受賞のお知らせです。
ご確認お願い致します。

畑中隆之

From: ServiceActivities <ServiceActivities@lionsclubs.org>
Sent: Friday, January 17, 2025 5:47 AM
To: hata4976@aria.ocn.ne.jp
Cc: ServiceActivities <ServiceActivities@lionsclubs.org>
Subject: 「思いやりは大切なこと」奉仕アワード お祝いのEメール

複合地区GSTコーディネーター ライオン Takayuki Hatanaka 様

おめでとうございます。貴複合地区からご推薦いただいた HIROSHIMA SATO Lions Club ライオンズクラブが、ライオンズクラブ国際理事会の奉仕事業委員会により、2023-2024「思いやりは大切なこと」奉仕アワードの受賞クラブに選ばれました。この決定をお知らせできて光栄です。名誉ある賞を受ける貴複合地区のクラブにお祝いを申し上げます。このクラブの成果をプレスリリースで紹介したい場合は、添付の KMSA プレスリリース テンプレートを参照してください。

当チームでは現在、OSEAL事務局に郵送するパッケージの準備を進めております。パッケージがOSEAL事務局に到着したら、同事務局から336C 地区事務局に送られます。アワードが届きましたら、表彰にふさわしい機会に HIROSHIMA SATO Lions Club ライオンズクラブとその会員に贈呈してください。パッケージには以下が含まれています。

- 各クラブ会員用の「思いやりは大切なこと」奉仕アワード会員メダル
- クラブへの「思いやりは大切なこと」奉仕アワード
- 感謝状

ライオンズクラブ国際協会の「思いやりは大切なこと」奉仕アワード・プログラムへのご支援に感謝いたしますとともに、受賞に重ねてお祝いを申し上げます！
心を込めて

ライオンズクラブ国際協会
奉仕事業チーム

.....
www.lionsclubs.org/Mission1.5
#MissionToGrow
[facebook](#) // [youtube](#) // [instagram](#) // [twitter](#) // [linkedin](#)
.....

問い合わせ先：
(氏名)
(電話番号)
(Eメールアドレス)

即時リリース用

(ライオンズクラブ名) が (市町村名) への地域社会奉仕で荣誉ある賞を受賞

(場所、日付) - 世界最大の社会奉仕クラブ団体、ライオンズクラブ国際協会から、(日付)、(ライオンズクラブ名) に「思いやりは大切なこと」奉仕アワードが贈られた。今年この名誉あるアワードを受賞したのは、世界にある4万9千以上のライオンズクラブのうち、30クラブのみ。同賞は、ライオンズクラブ国際協会が世界で力を入れている、糖尿病、食料支援、視力保護、環境保全、小児がんの奉仕分野の中から、特に優れた奉仕事業を行ったライオンズクラブおよびレオクラブに年1回授与される。

「世界中のライオンズは地域で重要なニーズに対応し、最も必要とされる場所で希望をもたらしている」とライオンズ・インターナショナルのファブリシオ・オリベイラ国際会長は言う。「『思いやりは大切なこと』奉仕アワードの受賞者は、ライオンズ・インターナショナルの精神を体現している。すなわち、無私の奉仕、思いやり、そして世界をより良い場所にするための揺るぎない献身。類まれなる努力により、受賞したライオンズは思いやりの真の大切さを確認させてくれる」。

(クラブ名) には、(奉仕事業の説明) を行ったことをたたえて、「思いやりは大切なこと」奉仕アワードと記念ピンを授与された。この事業では、総勢(ボランティアの人数)人のボランティアが、(奉仕時間数)時間をかけて奉仕し、その結果、(受益者数)人以上が恩恵を受けたほか、(その他の成果があれば説明する)。

(クラブ名) の(クラブ会長氏名) 会長は「当クラブが『思いやりは大切なこと』奉仕アワードを受賞したのは光栄だが、引き続き地域社会に奉仕できることはもっと光栄なこと。(クラブ会長のその他のコメントを自由に挿入)」と話した。

(クラブ名) ライオンズクラブでは(会員数)人の会員が(曜日)の(時間)より、(場所)で定例会議を行っている。ライオンズクラブは、地域のニーズを特定し、それを満たすために協力する、熱意のある地域住民の集まり。さらなる詳細について、あるいは(クラブ名)ライオンズクラブ入会に関心がある場合には(氏名)まで。(適切であれば電話番号/ウェブサイトのアドレス/ソーシャルメディアのページを記載)

ライオンズ・インターナショナルについて

ライオンズ・インターナショナルはライオンズクラブ国際協会およびライオンズクラブ国際財団から構成されています。ライオンズは4万9千のクラブに所属する140万人の会員による奉仕と財団の交付金による支援を通じて、地域社会と世界が直面する最も大きな課題の数々に取り組んでいます。私たちは地域社会で、そして世界で、健康と福祉を向上させ、コミュニティを強化し、困っている人たちに支援を提供しています。ライオンズ・インターナショナルは、ニーズのある世界に奉仕しています。詳細と活動内容については、lionsclubs.org をご覧ください。

2024-25年度 第2回アラート委員会 議事録

日時：9月27日（金）10:00-12:00 ZOOM システム

一般社団法人日本ライオンズ

2024年-25年度	理事長	松浦 淳一（岩見沢はまなす LC）
2024年-25年度	専務理事	中谷 豊重（岸和田 LC）
2024年-25年度	アラート委員会委員長	新里 正雄（沖縄 LC）
2024年-25年度	アラート委員会副委員長	藤井 信英（岡山みらい LC）

2024-25年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	池原 堅（福山久松 LC）
全域統括リーダー	佐々木 健太（大阪若獅子 LC）
東日本統括リーダー	木村 知紀（青山 ZERO LC）
西日本統括リーダー	畑中隆之（岡山みらい LC）

2024-25年度 アラート委員会

MD330 委員	大屋 保（川越 LC）
MD331 委員	浅野 敬一（北見中央 LC）
MD332 委員	門馬 弘（原町 LC）【欠席】
MD333 委員	蓼沼 一弘（葛生 LC）
MD334 委員	吉田 正義（榛南 LC）
MD335 委員	西尾 良典（大阪北 LC）【欠席】
MD336 委員	西尾 慎一（鳥取 LC）
MD337 委員	高野 裕子（熊本平成 LC）

オブザーバー

MD333 アラート班長	若林 純也（水戸葵 LC）
全国アラートフォーラム in 茨城事務局長	寺田 英俊（土浦亀城 LC）
全国アラートフォーラム in 茨城副事務局長	植田 佳男（水戸葵 LC）【欠席】
全国アラートフォーラム in 茨城総務副部長	桜井 政利（牛久茎崎 LC）
日本ライオンズ 事務長	増澤 義治（諏訪湖 LC）

以上

・開会宣言の中で、松浦理事長より能登豪雨について24日にはLCIF災害支援金の申請が通った件の報告があった。

1.緊急議案：能登豪雨・洪水被害について

・334アラート吉田委員長より被災状況と地区で行っている支援について報告。

現在334-D地区ガバナー名で支援物資一時受付停止の文書を全国へお出ししており、SNSでも情報が流れているが、地区より全国にお送りしている文書を元に行動をお願いする。

・昨年度改訂されたアラート規約【第2章】第25条【被災地支援本部】では、

「委員長は災害発生時あらゆる手段を講じて被災状況をいち早く掌握し、必要と認めた場合は、理事長と相談して、災害発生後3日以内に、被災地支援対策本部を設置する。」とあるが、今回の豪雨災害ではアラート委員会の初動が遅れ情報の混乱など発生。反省を生かしこの後規約の改訂を含め、災害発生時にどのように動くかの議論が必要であるとの意見。

全域統括リーダーからは災害の大小にかかわらず情報の発信・共有・整理をすることが日本ライオンズアラート委員会の役目であると発言があり、理事長から災害はどこ地域でも起こる可能性があり、日本のメンバーをまとめいかに被災地に寄り添っていくか、規則に則り速やかな対策をお願いすると発言。

今後の動きとして対策委員会を早急に開催し、対策委員会の組織図を規約に盛り込む件など提案あり。

対策委員会の役目については、直接の支援を行えるわけではないが、なにができるかを考える場でもあり、情報の共有というのが一番大切な役割でもあり、また現地の負担とならない委員会の在り方も今後検討が必要であるとし、今後アラート委員会執行部にて、対策委員会の在り方についても一同話し合いの場を設ける。

2. 能登ベースの今後について

・決算途中報告について

9月末までの請求書が10月末に届くと思われるので、11月の報告になると思われる。

・今後の運営について

9月末をもってアラート委員会は撤退し334-D地区3R3Zへ運営を移管する予定。

今後の使用について地区にてルールを制定いただきたいとの意見あり。

3. アラートフォーラム茨城（2025年3月14日）について

・開催および運営・組織図について

若林班長より会議開催概要や登録料を含めた予算案・組織図など説明。
予算案については予定人数より少ない人数で算出している説明あり。

全国に案内を配信するタイミングなどについて、次回日本ライオンズ執行理事会・理事会にて承認を頂き、11月1日以降の配信を予定している。次回10/11執行理事会で藤井議長より説明を頂く予定である。

4. 今後の予定について

・全体会議開催について

開催日程について、委員長と副委員長ではまずは調整を頂く。

・アラート研修会について

開催については現在調整中である。

5. その他

・藤井副委員長より、明後日より334D地区へ入るので、的確な情報を持ち帰り、流せるようにしたい。

以上

2024年9月27日

議事録作成人：

MD333 蓼沼 一弘

MD336 西尾 慎一

(2024-25 年度)

第3回 アラート委員会 (Web) 議事録

◎日 時： 2024年10月21日(月) 15:00-17:00
 ◎場 所： ZOOM
 ◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2024-25 年度 理事長 松浦 淳一 (岩見沢はまなす LC)
 2024-25 年度 専務理事 中谷 豊重 (岸和田 LC)
 2024-25 年度 アラート委員会委員長 新里 正雄 (沖縄 LC)
 2024-25 年度 アラート委員会副委員長 藤井 信英 (岡山みらい LC)

2024-25 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー 池原 堅 (福山久松 LC)
 全域統括リーダー 佐々木 健太 (大阪若獅子 LC)
 東日本統括リーダー 木村 知紀 (青森 ZERO LC)
 西日本統括リーダー 畑中 隆之 (岡山みらい LC)

2024-25 年度 アラート委員

MD330 委員 おおや たもつ
大屋 保 (川越 LC) 【欠席】
 MD331 委員 あさの けいいち
浅野 敬一 (北見中央 LC)
 MD332 委員 もんま ひろし
門馬 弘 (原町 LC) 【欠席】
 MD333 委員 たでぬま かずひろ
蓼沼 一弘 (葛生 LC)
 MD334 委員 よしだ まさよし
吉田 正義 (榛南 LC)
 MD335 委員 にしお よしのり
西尾 良典 (大阪北 LC)
 MD336 委員 にしお しんいち
西尾 慎一 (鳥取 LC)
 MD337 委員 たかの ゆうこ
高野 裕子 (熊本平成 LC)
 MD333 アラート班長 わかばやし じゅんや
若林 純也 (水戸葵 LC)
 日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

以上

1. 災害発生時の対応について

(1)能登豪雨災害 各種報告と共有

- ・MD334吉田委員より、被災地からの報告とお礼。今後は現地でのボランティア活動などにご協力をお願いしたい。

(2)今後の災害発生時の対応とアラート委員会の役割について

- ・藤井副委員長より今回の豪雨災害において災害対策本部は不要であると判断し、代わりに会議や打ち合わせを行ったが、災害発生時の対応について見直しが必要であると報告。他の規約との適合性を含め「アラート委員会運営規則」の見直しとアラート委員会の役目である正確な情報の共有という部分につて今後協議をしていく。

2. 能登ベースの今後について

(1)今後の運用および利用ルールの特

- ・能登ベースの所有権は、334-D地区へ移す方向となり、引き続き関係者によって協議の上書面（契約書）作成を進めることとなった →10/30（水）会議開催予定
- ・能登ベースに掛かった精算は、請求書受領のタイミングにより11/中旬～末頃には提出予定

3. 全国アラートフォーラム2025 in 茨城（2025年3月14日(金)）について

(1)最新情報の確認

- ・MD333蓼沼委員およびMD333若林班長から報告があり、開催に向け進行中。案内は31日の理事会承認後に社団理事長・アラート委員長連名にて配信予定である。

4. 今後の予定について

(1)全体会議および研修会の日程の特

- ・開催実施に向け引き続き、委員会にて検討することとなった。

5. その他

- ・各MDからの報告

6. 次回、第4回アラート委員会開催日程

- ・2024年11月20日（水）13：00-15：00

以上

2024年10月21日

議事録作成人：

MD334委員 吉田 正義

MD337委員 高野 裕子

2024-25 年度 第 4 回 アラート委員会 (Web) 議事録

◎日 時：2024 年 11 月 20 日 (水) 13：00-15：00

◎場 所：ZOOM

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2024-25 年度 理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)
2024-25 年度 専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
2024-25 年度 アラート委員会委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)
2024-25 年度 アラート委員会副委員長	藤井 信英	(岡山みらい LC)

2024-25 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	池原 堅	(福山久松 LC)
全域統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	畑中 隆之	(岡山みらい LC)

2024-25 年度 アラート委員

MD330 委員	おおや たもつ 大屋 保	(川越 LC)
MD331 委員	あさの けいいち 浅野 敬一	(北見中央 LC)
MD332 委員	もんま ひろし 門馬 弘	(原町 LC) 【欠席】
MD332 アラート副委員長	さんべい こういち 三瓶 浩一	(郡山東 LC)
MD333 委員	たでぬま かずひろ 蓼沼 一弘	(葛生 LC) 【欠席】
MD334 委員	よしだ まさよし 吉田 正義	(榛南 LC) 【欠席】
MD335 委員	にしお よしのり 西尾 良典	(大阪北 LC) 【欠席】
MD336 委員	にしお しんいち 西尾 慎一	(鳥取 LC)
MD337 委員	たかの ゆうこ 高野 裕子	(熊本平成 LC)

オブザーバー

MD333 アラート班長	わかばやし じゅんや 若林 純也	(水戸葵 LC)
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)

以上

・開会宣言 24-25年度 アラート委員会委員長 新里 正雄

・一般社団法人日本ライオンズ 24-25年度理事長ご挨拶 松浦 淳一

・出席者の確認

・議事録作成人（2名）の指名

参考：（引継ぎ：MD330、MD332／第1回：MD331、MD335／第2回：MD333、MD336／第3回：MD334、MD337）

MD330委員 L大屋 保

MD332アラート副委員長 L三瓶 浩一

以上、2名が指名された。

・議案：

1. 「アラート委員会運営規則」の見直しについて

(1)開催日程の提案

・2025年3月14日開催予定のMD委員・班長セミナーにおいて、「アラート委員会運営規則」の見直しについて対面で議論してはどうかと藤井副委員長より提案がなされた。

当日不参加の方については、事前に3月上旬までに規約を確認し、変更箇所等の提案がある場合は書面にて通知していただく。

ただし、会場がまだ確定していないため別途調整が必要とのこと。時間や詳細については追って通知する。また、当日出席が不可能な方はZOOM等利用して参加していただく予定。

2. 能登ベースの今後について

(1)10/30（水）打合せ報告

・9月末にて能登ベースの契約が終了したため、334-D地区に今後の活用を全て譲渡する。譲渡に伴い、能登の斉和コミュニティーセンターに置いてあるユニットハウスおよびエアコンを譲渡することとなったため、物品譲渡契約書（案）を作成した。各自確認いただきたい。今後の能登ベースの活用方法については334-D地区の判断にお任せする。

3. 全国アラートフォーラム2025 in 茨城（2025年3月14日(金)）開催について

(1)最新情報の確認

・大きな変更はなし。会場は確保済みであり、細かい部分についてはこれから決定していく予定であると若林班長より報告がなされた。参加登録については事前登録となり、Webページより登録が可能。URLより直接アクセスまたはQRコードを使用しアクセスいただく。登録ページはGoogleのスプレッドシートを使用しており、各自編集が可能となるが、編集不可の部分につ

いては取り扱いに注意が必要。

登録いただいた方にはメール送付する／各準地区を通じて人数の最終確認をする等、不備のないよう進めていく予定。なお、登録ページには個人情報に記載いただく必要があるため、開催案内および登録ページについては複合地区を通じてライオンズメンバーのみに展開する予定。なお、当日は水戸「偕楽園」の観梅の時期であり、観光客も多いことから宿泊を予定している方は宿の手配に注意が必要。

- ・フォーラム前に実施予定のMD委員・班長セミナーの会場手配等については、今週中に詳細を決定する予定。
- ・フォーラムへの参加人数の把握方法について質問あり。約500名の参加者を募るにあたり、ある程度の取りまとめが必要ではないかという意見が大屋委員よりあった。参加登録をWeb登録にすることにより取りまとめが不要となっているが、各複合地区のアラート委員会より各準地区へ依頼し、ある程度の人数把握をご協力いただけるとありがたいと佐々木統括リーダーからの補足がなされた。その後、各MDアラート委員長が窓口となり参加者をまとめていってはどうかという意見が再度あったため、日本アラート委員会のメールにて参加状況をご報告し、参加者の取りまとめについては可能な限り各複合地区にて取りまとめの上、登録作業も行っていただくこととなった。
- ・フォーラム開催にあたり、MD333複合地区にて約300名の参加者を集める予定。その他複合地区にて残200名（各複合地区：約30名計算）を集める目安であると若林班長より補足あり。人数設定については委員会より各複合地区へ依頼していただけるとありがたいとのこと。
参加人数については、
MD330複合地区：30名、MD331複合地区：10名、MD332複合地区：50名、MD333複合地区：300名、MD334複合地区：50名、MD335複合地区：20名、MD336複合地区：20名、MD337複合地区：10名 計500名を目途に調整をしてはどうかという提案あり。
まずは上記人数にて調整を行うこととし、状況に応じて微調整する。また、LINEにて再度各複合地区の人数の割り振り詳細を連絡することとなった。
- ・スプレッドシートについて、木村東日本統括リーダーより説明あり。Webの登録ページを画面共有し説明いただいた。
- ・参加締め切りについては2025年1月31日となり、支払いについては、昨年と同様にフォーラム終了後に請求書を発行し、複合単位で振込いただく予定。（※）
- ・増澤事務長より、開催ご案内文書については現段階では公式文書としてみとめられる通しNo.が配されていない文書で発信されているため、文書に通しNo.入れ、改めて社団より配信することを申し合わせた。

（※）11/6MD333配信「(件名)20250314『2025年全国アラートフォーラムin 茨城』開催のご案内配信」メール文中に「～入金確認を以て申し込み完了といたします～」と記載がございましたが、ご発言通り現在調整中です。（ex.準地区毎に開催後請求など・・・）

4. 今後の予定

(1)全体会議 日程の提案

- ・ 12/18(水)13:30～16:00の実施にて決定。社団より別途連絡する。

(2)研修会 日程の提案

- ・ 2025年3月14日のフォーラム前（10:00～12:00）に以下内容を実施予定。

- ① 複合でのアラート委員会の役割と規定の整備および立ち上げ
- ② 準地区アラート既定の整備及び立ち上げのサポート

詳細については、企画提案書を元に木村東日本統括リーダーよりご説明いただいた。

5. その他

(1)社会福祉法人 全国社会福祉協議会（全社協）関連

- ・ 全社協と社団との間で締結済みの協定書に基づき、全社協の会議への参加要望あり。調整は別途行う。

(2)各MD活動報告等

【MD330：L大屋 保】

11月2日に輪島の門前町にて支援活動を実施。今後は別地区でも支援活動ができるよう進めていく。また、全10箇所の社協との締結をする準備を進めている。

【MD331：L浅野 敬一】

能登地区の支援が不十分であった。社協との締結準備は30%～40%ほどの進捗率となる。締結後の研修等を充実させ非常時に備えていきたい。フォーラムについても可能な限り参加者を募りたいと考えている。

【MD332：L三瓶 浩一】

急遽門馬委員が欠席となったため、活動報告ができず。次回報告させていただく。

【MD333：L若林 純也】

フォーラムを控えており、参加状況の確認など皆さまにご協力いただきたい。

【MD334：畑中隆之西日本統括リーダー】

能登での支援活動を10月末より週末（土日）定期的に行っている。輪島市や珠洲市を中心に災害ボランティアや海岸のゴミ清掃、倒壊家屋のゴミ出しを実施。炊き出しは断水地域を重点的に行っている。12月下旬まで行う予定。

【MD336：L西尾 慎一】

能登支援については個々のクラブや個人で行った実績あり。また、本日第2回目のMDアラート委員会を実施予定。MDの活動規約について検討を行う予定。また、11/23(土)336-A地区にてアラートフォーラムを開催予定。

【MD337：L高野 裕子】

能登の支援については前回報告した通り。12月19日にMD337の合同アラート会議を行う予定。準地区においてのアラート組織やアラート資金の確認、MD337地区にて災害が起こった場

合の対応についての確認を行う。

【木村知紀東日本統括リーダー】

これから寒さが厳しくなり、能登地区でも雪が降る季節となるため更なる支援が必要となると思われる。現在は 334-D 地区がメインで支援活動を行っているが、資金の問題等も含めプランを作成しなおす必要があると感じた。

【佐々木健太全域統括リーダー】

次年度「OSEAL フォーラム（札幌）」でもぜひアラート委員会の皆様にご協力いただきたい。

6. 次回、第 5 回アラート委員会開催日程（全体会議）

2024 年 12 月 18 日（水） 13:30～16:00

・閉会の辞 24-25 年度 アラート委員会副委員長

藤井 信英

以上

2024 年 11 月 20 日

議事録作成人：

MD330 委員 大屋 保

MD332 アラート副委員長 三瓶 浩一

第2回 MD336 アラート委員会 議事録

開催日時：2024年11月20日（水）15：00～16：30

開催場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

開催形式：HYBRID

出席者：下記の通り（敬称略）

	役 職	氏 名	REAL	WEB
1	ガバナー協議会議長	藤井 信英	○	
2	担当ガバナー (A地区ガバナー・ガバナー協議会副議長)	石井 淑雄	/	○
3	複合地区アラート委員会委員長	西尾 慎一	○	/
4	一社) 日本ライオンズアラート委員会 西日本統括リーダー	畑中 隆之	○	/
5	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 班長	廿日出 一晴	○	/
6	A地区アラート委員会委員長	出射 隆文	○	/
7	B地区アラート委員会委員長	石井 浩二	○	/
8	C地区アラート委員会委員長	鳴輪 幸治	/	○
9	D地区アラート委員会委員長	中川 和昌	/	○
10	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 副班長	織田 秀樹	/	○
11	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 副班長	井上 哲孝	○	/
12	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 副班長	田部 眞一郎	/	欠
13	一社) 日本ライオンズアラート委員会 MD336 副班長	植田 節雄	/	○
14	複合地区ガバナー協議会事務局運営委員会委員長 ※オブザーバー	松岡 哲也	○	/

司会進行：複合地区アラート委員長 西尾慎一

議事

1. 開会挨拶：ガバナー協議会 議長 藤井 信英
2. 出席者自己紹介は参加者名簿以てこれに代えた
3. 議 案

①一社) 日本ライオンズアラート委員会報告等

西尾委員長は本日13時～14時45分に行われたJLA第4回委員会での議案内容（1.「アラート委員会運営規則」見直しについて、2.能登ベースの今後について、3.全国アラートフォーラム2025in 茨城開催について、4.今後の予定について）について概要を報告した。特に、2025年3月14日に開催予定のアラートフォーラムについて、MD336地区の参加要請人数（20名）、各準地区への割振り（各5名、アラート委員会役員は除く）について理解を求めた。

②活動規定について

西尾委員長は事前配布の「MD336 アラート委員会活動体制（素案）」を提示し、1.制定の目的、2.活動理念、3.組織体制、4.活動規定、5.啓発活動の内容について、修正・変更・追加・削除する事項の有無を夫々の項目ごとに出席委員に意見を聞きながら検討を加えた。今回出された意見を参考に修正案を次回の委員会に提出する事とした。
尚、今回の活動規定を各準地区のアラート委員会規定の新規制定、修正の参考とする事を確認した。

③その他

今回参加の準地区各委員長より、現状の活動状況・今後の予定・課題とうについて発表いただいた。
又、藤井議長からは、能登の災害支援に係る現況、今後の注意点等について報告・説明がなされた。

④今後の委員会スケジュールについて

次会、第3回委員会を2025年1月20日（月）13時30分よりHybrid形式で行う事を確認した。

4. 閉会挨拶：担当ガバナー（ガバナー協議会副議長）石井 淑雄

議事録作成者 西尾慎一

2024-2025年度
第5回アラート委員会会議（Web）次第
2024年12月18日（水）13：30-16：00 Zoomシステム

・開会宣言 24-25年度アラート委員会委員長 新里 正雄

・一般社団法人日本ライオンズ 24-25年度理事長 ご挨拶 松浦 淳一

・出席者の確認

・議事録作成人（2名）の指名（第4回：MD330・MD332）

MD _____、 MD _____

・議案：

1. 「アラート委員会構成」の件 …資料1

2. 「全国アラートフォーラム2025 in 茨城」（2025年3月14日(金)）開催について …資料2

・最新情報の確認

・登録方法、登録料等のご案内 等

3. 「研修会」の件 …資料3

・開催概要

・研修内容

4. その他

・各MD活動報告 等

6. 次回、第6回アラート委員会開催日程

2025年 月 日（ ）： ～：

・閉会の辞 24-25年度 アラート委員会副委員長

藤井 信英

以上



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

<ここに通し番号>

複合地区アラート委員会 委員 各位

複合地区アラート班長 各位

資料3

令和6年12月吉日

理事長 松浦 淳一

アラート委員長 新里 正雄

(一社) 日本ライオンズ アラート委員会 委員・班長 研修会のご案内 (案)

拝啓 師走の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より一般社団法人日本ライオンズ アラート委員会の活動に対しご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

さてこの度、能登災害（地震・水害）に対する災害支援活動を振り返り今一度災害発生時における複合・地区の役割を学ぶために、2025年3月14日（金）に開催されます「全国アラートフォーラム IN 茨城」に併せて研修会を開催する事が、12/12開催日本ライオンズ第5回理事会にて承認されました。

研修会の目的として「複合でのアラート委員会の役割と規定の整備及び立ち上げ」「準地区アラート規定の整備及び立ち上げのサポート」とし、8複合がアラート活動に関して共通の認識と理解を得る場と致したいと存じます。

つきましては下記の通り開催致しますので、万障繰り合わせの上ご参加を頂きますよう、宜しくお願い致します。

敬具

【記】

開催日時：2025年3月14日（金）10：00～12：00

場所：水戸市民会館3F 中会議室302（029-303-6226）茨城県水戸市泉町1丁目7-1

セミナー講師：一般社団法人日本ライオンズ アラート委員会

東日本統括リーダー L 木村知紀

西日本統括リーダー L 畑中孝之

参加対象：一般社団法人 日本ライオンズ アラート委員会 MD 委員および班長

研修参加費用：無料

※参加申し込は別紙参照しお申込み下さい

(2024 - 2025年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第2回会則委員会 議事要録

日時：2024年9月10日(火) 15:00-17:00 ZOOM開催

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)
副理事長	喜多 友一	(城南上田 LC)
委員長 (MD335 前協議会議長)		
専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
副委員長 (MD337 協議会議長)	濱田 浩平	(長崎南 LC)

各複合地区会則委員：

330 複合地区	森川 明治郎	(西入間 LC)
331 複合地区	佐々木 忠康	(小樽 LC)
332 複合地区	荒川 友成	(郡山西 LC)
333 複合地区	岩沼 忠伺	(千葉ネオ LC)
334 複合地区	山本 基博	(恵那 LC)
335 複合地区	小鍛冶 正明	(奈良西 LC)
336 複合地区	松岡 諒	(福山久松 LC)
337 複合地区	高野 正勝	(佐賀葉がくれ LC)

オブザーバー：

日本ライオンズ法律顧問	池田 和司	(東京桜門 LC)
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)

以上

- 1 開会宣言 会則委員会委員長 中谷 豊重
- 2 日本ライオンズ理事長ご挨拶 理事長 松浦淳一
- 3 出席者自己紹介・確認
- 4 議事録作成人の指名 MD330 森川委員・MD331 佐々木委員を指名。
- 5 前回議事録の確認

議案:

1. 今年度委員会事業計画について

- ・中谷専務理事より資料を元に説明。今年度の会則委員会では、
- ・役員必携・ライオンズ必携改訂について
- ・定款変更について
- ・コンプライアンス規約について、国内の規定と、国際協会との規定とのすり合わせなどを中心に行っていく予定。

2. コンプライアンス規定について

- ・国際協会コンプライアンス規定について ...参考資料 1
- 昨年度会則委員会・理事会からの申し送り事項により、コンプライアンスについては今年一年をパイロット期間とし、フィードバックを受けつつ改めて規定を作成していく予定である。O S E A L 調整事務局より送られた国際協会のコンプライアンス規定と日本ライオンズのコンプライアンス規定の整合性等について今後検討が必要と思われる。前述の通りフィードバックを受けながら、国際協会と日本の規定のすり合わせを次回以降少しづつ進めていく予定である。

3. ライオンズ必携および役員必携について

- ・発行についての手順および作業について
- 中谷専務より今年度の内容見直しを進める手順として、まずは目次から精査し、必要のない内容を削除するなど見直しを行うという提案。その他迅速に修正を行うことに重点を置いた、会則および付則の掲載順などが提案された。次回委員会にて改めて意見をうかがう。またライオンズ必携第61版の前文に掲載されている序文の一部について意見が寄せられていることから、記載をどうするかについて意見が交わされた。約40年前の当時の会則委員会・議長会で作成されたものであり、ライオンズの歴史でもあるためすべてを削除するわけではなく一部を改訂し年表の前に掲載するのはどうかという意見あり。ライオンズ必携の構成については共通の場で話し合いが必要であり、各複合地区会則委員会において、どのような構成が望ましいか検討して、早い段階で意見集約して日本ライオンズ事務局にメールにて連絡をする。そのうえで各複合地区の意見を取り入れた構成を基に、たたき台の改正素案を330複合地区で取りまとめ、その素案を会則委員会で討議して最終的な改正素案を取り纏めて、各複合地区及び各準地区でさらに検証し理事会を通じて各複合地区年次大会に共通提案として諮り承認を得て改正する。

4. ・定款変更案について

・各委員より変更案についての意見確認

●定款改正については、大きな課題としてガバナーの任期と社員の任期の連動性について現時点では1ヶ月のずれがあり、その間に緊急事態が発生した場合などを考慮し、どのような期間選任方法が望ましいか意見交換。まずは中谷委員長・増澤事務長・池田法律顧問の三者会談で改正素案を検討する予定であるが、会則委員会においても議論をして理解を深めていきたいと考えている。定款に表記しなくても運用でできる部分は運用上の取り扱いで対処する方法も一つの選択肢として良い方法ではないかとの意見があり、結論は出さずに今後柔軟な運用を期待する。

国際理事会方針書に則り、定款変更は年次大会でも議論すべきではという意見については、日本の法律上、社団法以外のことを定款に付加することは難しいと法律顧問より見解が示された。

5. その他

●日本ライオンズへ寄せられたドネーションの運営費への転用に関する質問について、中谷委員長より回答について意見が募られた。

理事会方針書第15章Bの1の規定を遵守することは当然であるが、これまでの慣例的運用の部分で役員必携140ページの記載を参考にされてきた経緯も無視はできないので、規則としては理事会方針書第15章Bの1の規定を遵守することとして、慣例的な取り扱いの役員必携記載の運用は当事者であるクラブ理事会や例会で判断していただくこととする見解と回答する。

問い合わせの運用方法についても見直しを行いたいと委員長より発言があり、一度理事会でも協議する予定。

6 閉会挨拶 会則委員会副委員長 濱田 浩平

次回開催：2024年10月28日(月) 15:00～17:00 (ZOOM開催)

以上

議事録作成人

330複合地区

森川 明治郎

331複合地区

佐々木 忠康

2024~2025 年度 第3回会則委員会(WEB) 議事要録

日時:2024年10月28日(月) 15:00~17:00

場所:WEB

出席者

一般社団法人 日本ライオンズ

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)
委員長・専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
副委員長	濱田 浩平	(長崎南 LC)

各複合地区会則委員:

330 複合地区	森川 明治郎	(西入間 LC)
331 複合地区	佐々木 忠康	(小樽 LC)欠席
332 複合地区	荒川 友成	(郡山西 LC)
333 複合地区	岩沼 忠伺	(千葉ネオ LC)
334 複合地区	山本 基博	(恵那 LC)
335 複合地区	小鍛冶 正明	(奈良西 LC)
336 複合地区	松岡 諒	(福山久松 LC)
337 複合地区	高野 正勝	(佐賀葉がくれ LC)

オブザーバー:

日本ライオンズ法律顧問	池田 和司	(東京桜門 LC)
日本ライオンズ事務局長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
331 複合地区コンプライアンス委員会副委員長	鈴木 善一	(千歳 LC)

- ① 開会宣言 委員長 中谷 豊重
- ② 日本ライオンズ理事長挨拶
松浦淳一理事長が挨拶をした
- ③ 出席者自己紹介・確認
- ④ 議事録作成人指名 334 複合地区 山本 基博
335 複合地区 小鍛冶 正明
- ⑤ 前回議事録確認
前回議事要録(2024年9月10日 WEB 開催)の議事録を承認した

議案

- ① ライオンズ必携および2024~2025年度役員必携について

- (1) 掲載事項について中谷豊重委員長より国際協会からの公式通達により、ライオンズ必携2023~2024年第61版P72(3)(b)及びP63第8条3項第2文を資料に記載の通り改定する。但し、理事会方針書の変更を確認の上、必携等変更のための情報として活用する。
- (2) 発行スケジュールについて2022-23版第60版の工程表を確認すると概ね2~3か月で発行している。ライオンズ役員必携は次期ガバナーが活用することを想定して3月末までに発行したい。ライオンズ必携は役員必携と同時進行で進め、年内に構成案を固めたい。
- (3) ライオンズ必携の目次構成について
MD337(高野委員)…複合地区としてはまだ検討できていない。
MD336(松岡委員)…特に問題は無い。序文は作者の個人的な思想が含まれているので、割愛すべきと考える。必携には地区会則が複合地区会則の中に含まれているので、地区会則を独立して構成してはと考える。
MD335(小鍛冶委員)…特に各地区からは意見が出ていない。できるだけ早い時期の発行が望ましい。
MD334(山本委員)…複合地区内での議論は進んでいない。
MD333(岩沼委員)…特に問題は無い。地区会則を独立させることに賛同。会則の見直しは会則委員会としてではなく、執行役員会の中で検討すべきと考える。
MD332(荒川委員)…特に異論ない。発行時期はできる限り前倒しで願います。
MD330(森川委員)…各複合地区・各準地区はそれぞれの事情に合わせた会則を採用すべき。複合地区としては複合地区会則改定の準備を進めている。各準地区においても独自の会則案を策定し、承認を得る準備をしている。
- (4) ライオンズ必携序文(P17~29)について
中谷委員長…変更案について作成するのでその際に意見をいただく。
委員からは特に異論はなく、削除・変更等委員長の試案で議論する。

② コンプライアンス委員会の設置について

(1) 各複合地区からの報告

MD337(高野委員)…複合地区・準地区での立ち上げを目指している。

MD336(松岡委員)…ガバナー協議会にてコンプライアンス規定が承認された。常設委員会としてではなく、コンプライアンス違反が発覚した時点で委員会を立ち上げて、問題解決をする手順を定めた規定となっている。

MD335(小鍛冶委員)…各地区にてコンプライアンス委員会を立ち上げる方向で進んでいる。複合地区のコンプライアンス規定を作成する準備をしている。

MD334(山本委員)…複合地区会則委員会がコンプライアンスに関する相談窓口の機能を持たせ、各地区・各クラブにコンプライアンス委員会を立ち上げ、その段階での解決が望ましいと考える。複合地区としてのコンプライアンス委員会は必要に応じてその都度立ち上げる方法で検討している。

MD333(岩沼委員)…各地区に於いてはまだ特に動きは無い。複合としては形はできているが、中身の検討には至っていない。

MD332(荒川委員)…コンプライアンス委員会を作る必要はなく、必要に応じて作れば良いと考える。

MD331(鈴木代理)…コンプライアンス委員会の組織はできたが、内容の検討はできていない。

MD330(森川委員)…会員は招請されてライオンズに入会し、理事会で承認された方であり、当然立派な方が入会している。会員を除名する権限はクラブのみが持っていて、問題が発生した場合に誰がどういった権限でジャッジするのか説明ができない。従って 330 複合地区としては不要と考える。

(2) 質疑

森川委員…コンプライアンス委員会の規則はどのレベルで、どの組織の規則として作成するのか?

中谷委員長…何かをジャッジする規定ではなく、紛争等が発生した場合の手続き規定を作成するもので、行為の良し悪しをジャッジすることは無い。

松岡委員…日本ライオンズとして統一した規定を作成するための議論はできない。この委員会は情報共有する場と考える。MD336 のコンプライアンス規定は複合地区組織構成員を対象とした規定であり、他の組織(地区・クラブ)は対象としていない。ガバナー協議会の内規として策定した。

中谷委員長…コンプライアンス規定については理事会でも議論する。

松浦理事長…一部 MD に於いて問題が発生している。その解決はそれぞれのクラブ・地区ですることと考える。日本 LC は事情を踏まえて各クラブ・地区にコンプライアンス違反に対する警鐘を鳴らすことを目的としている。

③ 定款変更について

中谷委員長…定款の変更は委員会で議論するより、日本ライオンズで議論することとする。役員任期に関しては様々な考え方があるので、法律顧問、増澤事

務局長等とも打ち合わせをする。その後たたき台を作成の上、委員会で協議の場を持ちたい。

④ その他

(1) 会則関係問い合わせについて

質問2 ライオンズ必携 P72(3)(b)第2副地区ガバナーの資格は「ゾーン・チェアパーソンまたはリジョン・チェアパーソンあるいはキャビネット幹事またはキャビネット会計として全期または過半の期間務めたものでなければならない」について

中谷委員長…一般社団法人日本ライオンズの社員の任期はガバナーの任期(国際大会閉会時から次の年度の国際大会閉会時まで)に合わせるべきと考える。委員の意見を聞きたい

岩沼委員…7/1 から 6/30 の会計年度に合わせるべき

山本委員…中谷委員長の意見に賛同する。ライオンズのルールに従って運営することが望ましい。そのうえで年度の変わり目で問題のない運営を求める。

森川委員…年度の変わり目でスムーズに引き継がれることは重要なこと。6/1~6/30 は会計年度、ガバナー任期(大会終了時まで)との間にずれがある。ずれの発生に伴い役員任期の過半の日もガバナー任期でスタートするのか会計年度でスタートするのかでずれが発生する。従って会計年度に社員の任期を合わせることが良いと考える。

中谷委員長…顧問と相談する。

中谷委員長…質問事項に関しては基本的に会計年度を基準とする考え方で、回答する。

⑤ その他

(1) 次回委員会日程

2024年12月3日(火) 15:00~17:00 WEB

2025年1月14日(火) 15:00~17:00 対面(日本ライオンズ事務局)

閉会挨拶

濱田浩平会則委員会副委員長が閉会挨拶をした

以上

議事録作成人

3 3 4 複合地区 山本 基博

3 3 5 複合地区 小鍛冶 正明

2024～2025 年度 336 複合地区
青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止・平和ポスター委員会
国際平和ポスター審査会 議事録

日時：2024 年 12 月 2 日（月）13：30～14：30
場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局
形式：ハイブリッド
議事録作成人：委員長 春木 扶左子

出 欠※敬称略

	役 職	氏 名	REAL	WEB
1	議長	藤井 信英	○	
2	副議長（A 地区ガバナー）	石井 淑雄		○
3	副議長（B 地区ガバナー）	上原 正樹		○
4	幹事（D 地区ガバナー）	神田 義満		欠
5	会計（C 地区ガバナー）	鳴戸 大二		○
6	世話人	三口 巖		○
7	委員長	春木 扶佐子		○
8	副委員長	小沢 恭介	○	
9	事務局運営委員会委員長	松岡 哲也	○	

司会進行：

336 複合地区 青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止・平和ポスター委員会
委員長 春木 扶佐子

開会挨拶

336 複合地区ガバナー協議会議長

藤井 信英

審査員の先生 2 名に加わっていただき最終選考を行う。
先生方の意見をぜひ参考にさせていただきたい。

外部審査員紹介

池田美術事務所 代表 池田 靖嗣氏 画家 佐藤 智美氏

審 査

第 37 回国際平和ポスターコンテスト

テーマ：「限らない平和」

「限らない平和」という夢をどのように実現するのか、子どもたちに表現してもらおう。

参加クラブ数・応募総数

※応募総数は地区内全クラブ分

	A 地区	B 地区	C 地区	D 地区	合計
参加クラブ数	77	16	59	39	191
応募総数	3,264	673	7,472	1,349	12,758

審査方法

WEB 参加の皆様へは事前に作品画像を送付、ハイブリッド形式による協議とする。
シカゴ国際本部送付用最優秀賞 1 点を選考。（※3 点は優秀賞として地区へ賞品とともに返送）

賞	氏名	学校名・学年	地区	クラブ
最優秀賞	山本 視栄 (やまもと みさ)	岡山大学教育学部附属中学校 2年	B地区	岡山ハーモニーLC
	人間の精神的な幸福感や現実的な必要が満たされた時に、平和は存在すると私は思います。それをより多くの人々が得るには、自分ひとりの手の中に抱え込まず、互いに分かち合う必要があるのではないのでしょうか。私の絵を通して、「分かち合うやさしさ」の大切さを感じ取って頂けたら幸いです。			
優秀賞	武智 結菜 (たけち ゆな)	松山市立南中学校 2年	A地区	松山湯築 LC
	戦争をせず、世界の人達が協力し合い 1つの地球を守っていききたい。			
優秀賞	棚田 珠来里 (たなだ みくり)	広島女学院中学校 1年	C地区	広島清流 LC
	戦争の悲惨さや怖さを歴史から学び同じ誤ちを起こさないように、今、自分ができることを行なっていきたいです。世界中の人が同じ思いであれば、きっと限りない平和が続くと思います。そんな願いを込めました。			
優秀賞	宮崎 心 (みやざき こころ)	下関市立熊野小学校 6年	D地区	下関北 LC
	私はこれまで行った出来事を忘れてはいけないうし、これからは限りない平和について、私達は心がけていかないといいなと思います。その思いを、この絵の中にこめました。			

総評・コメント

池田先生/佐藤先生

池田先生のコメント

最優秀作品は、「絵画」として発想と表現力が群を抜いておる作品であり魅力的に映った。「ポスター」という言葉だけで作品を捉えると、他の作品を選定したかもしれない。資源としての水を「貴重なものとして分け合う」という発想が非常によい着眼点であり選考した。

佐藤先生のコメント

技術的な部分と、テーマの表現力で最優秀作品を選考した。背景の空の部分は様々な色を塗りこみ、あえて暗い色合いで表現してることも印象的である。

審査員先生2名を含む審査会参加者数10名中8名の挙手があり、B地区山本 視栄さんの作品を最優秀賞として選考した。

※B地区山本 視栄さんの作品を 12/4 に国際本部へ発送

閉会挨拶

336 複合地区 青少年・ライオンズクエスト・

薬物乱用防止・平和ポスター委員会副委員長

小沢 恭介

応募してくれた子供たちの思いが世界中に広がっていけば嬉しく思う。またこの活動が今後も広がっていくことを願っている。



PEACE POSTER

2024-2025 年度

“限らない平和”

審査結果

ライオンズクラブ国際協会 国際平和ポスターコンテスト
336 複合地区最終審査会

最優秀賞

336-B 地区 岡山ハーモニー LC
山本 視栄 (やまもとみさ)



優秀賞

336-C 地区 広島清流 LC
棚田 珠来里 (たなだみくり)



優秀賞

336-A 地区 松山湯築 LC
武智 結菜 (たけちゆな)



優秀賞

336-D 地区 下関北 LC
宮崎 心 (みやざきこころ)



2024～2025 年度

第 2 回青少年・LQ・薬乱防止・平和ポスター委員会 議事録

日時：2024 年 12 月 24 日（火）14：00～15：30 ※接続 13：45～

形式：WEB

出 欠

役 職	氏 名	
ガバナー協議会議長	藤井 信英	○
世話人	三口 巖	○
委員長	春木 扶佐子	○
副委員長	小沢 恭介	○
336-A 地区委員長	曾根 昭一	○
336-B 地区委員長	小川 太郎	○
336-C 地区委員長(沼田聖)代理	井本 廣子	○
336-D 地区委員長	川口 栄実	○
ガバナー協議会事務局運営委員会委員長 ※オブザーバー	松岡 哲也	欠

司会進行：小沢副委員長（議事録作成）

1. 開会挨拶 春木委員長
各準地区委員長より、半期の活動の進捗報告と今後の活動取組み等の発表をお願いします。
2. 議長挨拶 藤井議長
本日の委員会内容を参考に、次年度以降も継続して活発に活動していけるような委員会にしていきたい。
3. 各準地区委員長 進捗活動報告

A 地区 曾根委員長

- ・ライオンズクエストセミナー・ワークショップを4クラブが各15名～50名の参加者で開催しました。校長・教頭先生や教育長など多数の教育関係者に参加いただきました。次年度分交付金申請2/1締切に向けて準備をしています。
- ・薬物乱用防止認定講師養成講座は4R～9Rで開催、1R～3Rで開催予定です。薬物乱用防止教室は、10クラブで開催、3クラブで開催予定です。
- ・平和ポスターは11月20日に選考会を行いました。優秀作品は地区年次大会で展示表彰する予定です。
青少年健全育成活動として、各クラブでスポーツ大会等開催しています。

B 地区 小川委員長

- ・YCEの委員会と合同のため、LQ関係では次期LQ委員長予定者に積極的に動いていただいています。次年度開催に向けて学校関係にニーズ調査を行っています。説明員の育成を目指して調整中です。
- ・平和ポスターは11月22日に選考会を行いました。

C 地区 井本副委員長

- ・ライオンズクエストワークショップを東部・西部それぞれの学校で開催しました。また、会員向けのワークショップも東部23名・西部21名で開催しました。次年度に向けて、現在開催実績のある私立だけでなく、公立中学校にも開催に向けてアプローチをしています。
本年度満了となるLCIF交付金の最終報告書を提出し、新たに交付金を申請予定です。
- ・薬物乱用防止教室認定講師養成講座を開催し東部52名・西部53名の参加がありました。

D地区 川口委員長

- ・薬物乱用防止教室を島根県で、小中学校にて、1校開催・10校開催予定です。
山口県で、小中高校にて18校開催・13校開催予定です。
両県ともにメンバーを講師とした教室です。
薬物乱用防止教室認定講師養成講座開催し、島根県27名・山口県28名の参加でした。
- ・平和ポスターの最優秀賞等の選出を行いました。
- ・ライオンズクエストについては、来年4月26日に島根県4月27日に山口県で、クラブメンバー向けのワークショップを開催予定です。

4. ライオンズクエスト普及活動について 三口世話人

本日の委員会開催の目的は、2/1の交付金申請の締切に向けての進捗確認が行いたかったからです。

今年度より、報告義務等の運用変更があり、交付金基準が厳しくなっております。

(三口世話人より、申請に関する制度の現状や、注意事項の説明をいただき、各準区委員長にヒアリング・アドバイスをいただきました)

ライオンズクエストプログラムが普及すれば薬物乱用防止教室は必要ないぐらい、このプログラムは重要である。LCIF交付金を活用し活動を推進してほしい。

5. ライオンズクエスト交付金について 春木委員長

- ・国際平和ポスター審査結果の報告。
- ・「ライオンズクエストプログラム交付金事業」の目的・仕組み・運用や変更点等を資料とともに説明。

三口世話人より

本日の春木委員長による この説明・資料は、非常にわかりやすく、ライオンズクエストプログラムそのものである。

ぜひビデオ化し、今後の委員長や各地区・クラブで共有・活用してほしい。

→ビデオ化へ

6. 閉会挨拶 三口世話人

ライオンズクエスト開催形式も国際的に変化してきている。

日本においても進化していくと思われる。

各地区においても先ほどの資料等を活用し、クエストに対する理解を深め、少しずつでも活動を前進させていってほしい。

各準地区引き継ぎも確実にお願いしたい。

半期経過したが、最後までみんなで全力で取り組んでいきたい。

議事録作成人

2024年12月26日

青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止・平和ポスター委員会

副委員長 小沢 恭介

議事録署名人

2024年12月27日

青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止・平和ポスター委員会

委員長 春木扶佐子

2024～2025 年度
336 複合地区第 3 回未来ビジョン委員会 次第

日時：2025 年 1 月 17 日（金）14：15～16：45
場所：セントラルフォレスト 8F『アース』
岡山市北区本町 6-30 第一セントラルビル 2 号館 8F
TEL：086-231-7724
形式：REAL

役 職	氏 名	出欠	懇親会
ガバナー協議会議長	藤井 信英	○	○
担当ガバナー	石井 淑雄	○	欠
担当ガバナー	上原 正樹	○	○
担当ガバナー	鳴戸 大二	○	○
担当ガバナー	神田 義満	○	○
MD 委員長	池原 堅	○	○
MD 副委員長	向 和人	○	○
MD 副委員長	榎本 明	○	○
MD 副委員長	西本 義弘	○	○
MD 副委員長	日下 眞二	○	○
A 地区委員長	篠原 孝尚		欠
B 地区委員長	難波 進	○	○
C 地区委員長	平 謙介		欠
D 地区委員長	岡田 和好	○	○
ガバナー協議会事務局運営委員会委員長 ※オブザーバー	松岡 哲也	○	○

336 複合地区未来ビジョン委員会若手会員選出リスト 【25 名】

	氏名	クラブ	役職（主な役職名）	出欠	懇親会
A 地区	森岡 淳	松山金亀	LC 会長	○	欠
	伊藤 龍一	新居浜	LC クラブ会長/2R 1Z-ZC		欠
	伊藤 篤司	八幡浜	LC 会長	○	欠
	南 臣憲	高松葵	LC クラブ会長	○	欠
	西岡 勇亮	坂出白峰	LC 地区キャビネット副幹事	○	○
	甲藤 雄司	南国	LC 7R 環境保全・保健福祉委員		欠
	公文 菜穂	高知鏡川	LC クラブ会長		欠
	堀江 和規	徳島すだち	LC クラブ会長 /A 地区アラート委員会委員	○	○
	林 正二	鳴門	LC 9R 青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員	○	○
B 地区	石井 浩二	岡山西	LC 地区アラート委員長	○	○
	川嶋 洋平	岡山西	LC クラブ理事/テールツイスター	○	○
	吉原 徹	岡山操山	LC 地区 GMT コーディネーター	○	○
	川原 賢	岡山せとうち	LC キャビネット副幹事	○	○
	高尾 佳孝	境港	LC 地区 GLT コーディネーター	○	○
	松本 善文	境港	LC 地区 IT・M・ライオンズ情報委員長	欠	欠
C 地区	前原 隆志	福山久松	LC 地区未来ビジョン特別委員会委員	○	○
	桑木 達也	福山新市	LC クラブ幹事		欠
	長尾 光徳	尾道瑠璃	LC 地区 GLT 委員会委員		欠
	上田 健一郎	呉ブルー	LC クラブ会計		欠
	斉藤 守	宮島口	LC	○	○
	栗川 康芳	広島鯉城	LC 地区キャビネット副幹事事務局次長	○	○
D 地区	金子 勝	徳山中央	LC 336-D 地区 FWT 副コーディネーター	○	欠
	山田 泰三	防府	LC	○	○
	馬庭 吾以千	出雲中央	LC 336-D 地区 M 副委員長	○	○
	植田 節雄	浜田	LC 一社)日本ライオンズ アラート委員会 MD336 副班長 MD 環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会副委員長	○	○

司会進行：池原委員長

- 1 開会のあいさつ 未来ビジョン委員会 委員長 池原 堅
- 2 出席者紹介 西本 義弘 C 地区第一副地区ガバナー
- 3 議長挨拶 ガバナー協議会議長 藤井 信英
- 4 議事録作成人 A 地区向第一副地区ガバナー・B 地区榎本第一地区ガバナー
- 5 議 題：
 - ① 前回までの委員会内容について ※若手会員には趣旨資料事前配布
 - ② 今年度取組事項について ※別紙資料参照
 - ③ 若手会員との意見交換
 - ④ その他事項
- 6 質疑応答
- 7 閉会の辞 C 地区 鳴戸 大二ガバナー

第2回 YCE 委員会議事録

開催日：2024年10月10日（木） 15:00～17:00

場所：日本ライオンズ事務所（東京・八重洲）

出席者リスト：

一般社団法人日本ライオンズ：

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC) 【WEB】
専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC) 【WEB】
委員長	田中 雄一	(狭山 LC)
副委員長	廣田 晃一	(姫路中央 LC) 【欠席】

各複合地区会則委員：

330 複合地区	三宅 泰雄	(東京高輪 LC)
331 複合地区	繁富 敬史	(札幌中央 LC)
332 複合地区	洞口 勝則	(名取 LC)
333 複合地区	藤川 清幸	(前橋中央 LC)
334 複合地区	中田 勇一	(下諏訪 LC)
335 複合地区	団 英男	(神戸みなと LC)
336 複合地区	小銭 和明	(倉敷東 LC)
337 複合地区	松枝 伸行	(宇土 LC)
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)

1. 開会宣言 田中 YCE 委員長

・日本ライオンズ YCE 委員会は社団として率先して動くものではなく、あくまでも主体は8複合であり、その情報交換の場であることを改めて呼びかけた。

2. 出席者の自己紹介

・初めての対面会議であるため、各自自己紹介を行った。

3. 議事録作成人指名 MD330 三宅泰雄委員を指名。

4. 春期・夏期交換の報告事項について

① 春期・夏期派遣・来日最終人数の確認

・資料に基づき最終結果の報告。

② その他報告・共有事項・今期予定について

MD330：前期MD4派遣では、MD4側の手続き方法が煩雑化。ホストファミリーが直前まで決まらないなど混乱があった。

MD331：アプリケーションフォームへの記載事項の見落としにより、前期来日生で途中帰国した事例が有り反省点である。北海道は広い為札幌から各地への送迎が課題。

MD332：派遣国のキャンプ開催日程が7月前半など早すぎて、中々参加出来ない。アジア地域の学校の事情など周知が必要では。来日生は皆東京に行きたがる。

MD333：前期冬期5名受け入れ、40名のライオンズメンバーで歓迎した。夏期は9名受け入れ、新潟でキャンプ開催。日本に長期滞在中にYCE事業へ参加した来日生があり、その送迎は止むを得ず、「駅」で行った。このような場合も含め、来日生の送迎を空港までとするべきかどうか、協議したい。

MD334：キャンプ費用の高騰が課題。参加者のコロナ前との意識の差を感じる場面が多々あった。保護者と子供との連絡が密となり、GPSの確認や現地との文化の差（食事の時間など）で保護者からクレームが発生、ホームシックになり易いなどの事例があった。
派遣選考会でも説明はしているが、注意していきたい。

MD335：夏期24名の来日生があり、8日間キャンプ行ったが、内2名がコロナに罹った。キャンプではレオクラブのメンバーに運営に関わってもらい、よい結果となった。

MD336：過去2年間、YCE活動を行っていなかったが今期より復活させ、まずは冬期に台湾より8名受け入れ予定。今までは複合内の4地区が別々にキャンプを開催していたが、今後は4地区合同で夏・冬合同で行う予定。キャンプでは来日生と年の近いレオクラブの会員に関わってもらっている。

MD337：シンガポール一本に絞り、YCE体制の再構築を目指す。夏はMD335を通じて3名をマレーシアへ派遣。

○ その他報告・各MDからの相談事項

- ・昨年度窓口の見直しを行い、窓口フリー国を設けている。すでに連絡が来ている地区もあるが、直接やりとりを行うことになるので、改めてご理解をお願いする。
- ・各MDでの取り組みの共有について
キャンプを中心となって行う地区の選定基準や、各MDでどのようなシステムで行われているかについてや、YCE委員長の選任基準について報告。

・その他

来日生が互いに連絡を取り合い、それにより不平不満などが発生するなど問題がある。
また、子供たちを期間中は1人にしないことなどを確認した。

・送迎について

MD333 より相談のあった来日生の送迎について、海外ではわりとざっくりと行われているようだが、日本においては保険の範囲や親との契約、有事の場合の責任の所在などを考慮すべき点がある。

YCE 委員会統一見解としてどうするか、まずは各MDで意見をまとめていただき、次回委員会にて協議する。

5. 今年度冬期派遣予定について

資料を元に、現時点での予定人数の確認。

MD335 から報告されたマレーシア派遣の人数はMDへ案内を出し報告いただいた数である。2回目以降は各MDよりマレーシアへ直接連絡をする。

6. その他

・ホストファミリー手引きについて

現在、社団として作成しているマニュアルの中にホストファミリー向けの手引きがないため、日本ライオンズとして、できれば今期中に来期の運用へ向けて作成したい。
今回配布した資料を元に、次回委員会にて皆さんの意見をお伺いする。

・YCE 幹事旅行会社について

MD335 よりマレーシアに派遣する YCE 生については、空港へ集合し、全員同じ便へ搭乗予定である。まずはマレーシアへの派遣で様子を見ていただき、チケットの手配は、どこが責任をもって行うかなど、今後統一見解を持っていきたい。

個人の場合、安くは手配できるが安全面での懸念が大きく、大手の場合サービスと安全性は問題が少人数だと利用しにくいなどの欠点がある。委員長より今期は子供たちの安全を第一に考え、個人旅行ではなく、ツアー会社を通じての手配をお願いしたいと呼びかけあり。各MDより幹事旅行会社名を社団へ提出いただく。

・キャンプについて

・キャンプ情報は基本的にディレクトリに載せていただくよう、日本ライオンズ YCE 委員長としてはお願いしたい。但し、最終判断は各地区に任せる。

・キャンプは、基本複合地区が主催、準地区が準備実行と言う地区が多い。

・MD333より、キャンプ日程は、(途中で何処かへ行ってしまいうケースもあるので)来日日程の最後にした。

MD Y C E 委員会の中で委員長補佐として、特別委員が事務を担当している。

・キャンプ参加生のMD間での交換について提案があり、今後詰めていきたい。

・ **ヨーロッパフォーラム参加について**

MD330 前委員長へ現地より、今年度ヨーロッパフォーラムへの日本からのY C E関係者の参加についての問い合わせあり。今まではMD334がヨーロッパの国をすべて担当していたため、MD334 Y C E 委員長がヨーロッパフォーラムへ参加し人数など各種交渉を行っていたが窓口の変更などを考慮し、今年度は参加を見送ることで決定。

・ **その他**

担当窓口制度が変更となり、フリー国枠が半数以上となったことで、ディレクトリに情報に乗せた場合、東京への来日希望が集中するのではないかとの懸念がある。

ディレクトリを通じての正式な申込については、できる限りは受け入れてほしいが、断ることも大切であると意見あり。

その他、担当窓口への人数調整や窓口国への連絡依頼のほか、MD単位で解決が難しい問題は、委員会の場で共有の上解決を図るなど、8 MDで情報共有を行いながら進めていくことを確認した。

7. **次回開催日程**：2024年12月2日(月) 10:00～ ZOOM 開催

8. **松浦理事長ご挨拶 (zoom)**：

コロナ後再開で新たな局面を迎えた。YCE 事業はライオンズの根幹にて、8 MD が力を合わせて1年間頑張りましょう。

9. **閉会の辞**： 増澤事務長

以上

議事録作成人：

330 複合地区委員 三宅 泰雄

第4回 336 複合地区 YCE 委員会 次第

日 時：2024 年 12 月 13 日（金） 15：00～16：30
※接続開始 14：45～

形 式：WEB

出 欠※敬称略

役職	氏名	出欠
協議会議長	藤井 信英	○
MD 世話人	三島 英揮	○
MD 委員長	小銭 和明	○
MD 副委員長	斎藤 明子	○
A 地区委員長	泉川 道広	○
B 地区委員長	小川 太郎	○
C 地区委員長	松坂 伊佐夫	○
D 地区委員長	津森 一正	○
近畿日本ツーリスト株式会社 岡山支店 次長	小野 征祥様	○
協議会事務局運営委員長	松岡 哲也	○

司会進行：336 複合地区 YCE 委員会委員長 小銭 和明

1 開会挨拶：協議会議長 藤井 信英

2 議 題：

冬期台湾生受入

- ・関空⇄各地区ホストファミリー最寄り駅（新幹線）送迎について
- ・キャンパススケジュール 1/15（水）～1/17（金）について
- ・キャンプ移動費、現地活動費について

夏期交換

- ・台湾との交換について
- ・モルドバ生女子2名、イスラエル生の受入について

3 質 疑・その他

4 閉会挨拶：336 複合地区 YCE 委員会世話人 三島 英揮

2024～2025 年度
第 2 回 MD336 環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会 次第

日 時：2024 年 12 月 19 日（木）15：00～15：30

場 所：第一セントラルビル 2 号館 8F「グローブ」
岡山市北区本町 6-30

形 式：ハイブリッド

出 欠

役 職	氏 名	REAL	WEB
ガバナー協議会議長	藤井 信英	○	
世話人 B 地区ガバナー	上原 正樹	○	
A 地区ガバナー	石井淑雄	○	
C 地区ガバナー	鳴戸 大二		○
D 地区ガバナー	神田 義満	○	
委員長	占部 智之		○
副委員長	植田 節雄		○
336-A 地区委員長	東條 仁		欠
336-B 地区委員長	山田 隆嗣		○
336-C 地区委員長	濱本 義樹		○
336-D 地区委員長	瀬来 清美		○
事務局運営委員長 ※オブザーバー	松岡 哲也	○	

司会進行：占部委員長

1 開会挨拶 藤井議長

2 議題

○ 型献血への要請について

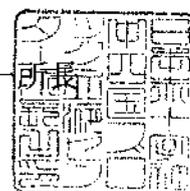
その他

3 閉会挨拶 上原世話人

血中献第 191 号
令和 6 年 12 月 10 日

ライオンズクラブ国際協会
336 複合地区ガバナー協議会
議長 藤井 信英 様

日本赤十字社
中四国ブロック赤十字血液センター



〇型献血への要請について(お願い)

拝啓 寒冷の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素から、献血の推進につきまして格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、中四国ブロック管内血液センターでは、現在〇型の輸血用血液の使用が続き、在庫保有数は危機的状況に直面しています。

通常は、全国的な輸血用血液の相互融通により、支援を受けるところですが、全国的にも同様の状況にあり支援は困難な状況です。

平常時であれば、固定施設に来所される成分献血者に 400mL 献血にご協力いただき回復を図るところですが、年末年始は、治療を予定されている患者さん用に確実に血小板製剤を確保するため、成分献血に来所くださる方は献血種類切り替えが困難なため、新規または久しぶりに協力いただける方々に早急にご協力いただきたく、この度、急遽 ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区各ガバナーにご支援をいただきたくお願いさせていただくこととしました。

つきましては、ライオンズクラブのご関係の皆様や、お勤め先及び関係企業に 〇型献血に要請をいただきますよう ご支援をお願い申し上げます。

なお、早急に在庫の回復を図る必要があるため、可能な限り 令和 7 年 1 月 10 日までの期間に、最寄りの献血会場にてご協力をいただけるよう周知いただきますよう、重ねてお願いいたします。

敬具

<参考>

※ワクチン接種にかかる献血基準

- ・コロナワクチン(不活化ワクチン・組み換えタンパク質ワクチン) 接種後 24 時間経過していること
- ・コロナワクチン(RNA ワクチン) 接種後 48 時間経過していること
- ・インフルエンザ ワクチン 接種後 24 時間経過していること

2024-2025_ライオンズクラブ様 献血推進・協力状況

対象期間：2024年7月～10月

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
受付者数	281人	2,145人	2,614人	2,010人	1,872人	1,219人	2,920人	3,491人	2,490人	19,042人
献血者数 -①	242人	1,868人	2,093人	1,636人	1,643人	1,026人	2,530人	3,208人	2,317人	16,563人
協力日数(稼働数)-②※	4.4	67.7	45.8	22.0	27.1	20.5	42.0	55.0	61.0	345.5
1稼働当たりの献血者数 (①/②)	55.人	27.6人	45.7人	74.4人	60.6人	50.0人	60.2人	58.3人	38.0人	47.9人
参加協力クラブ数(実数)	8団体	30団体	30団体	17団体	30団体	13団体	28団体	34団体	27団体	217団体

※協力日数(稼働数)について：終日の会場は1稼働、半日の会場は0.5稼働など、献血時間に応じて稼働数が変わります。

対象期間における 各県総献血者数	7,636人	6,754人	25,094人	38,482人	15,544人	8,647人	11,672人	17,233人	9,112人	140,174人
中四国内総献血者数に占める ライオンズクラブ献血者数の割合	3.2%	27.7%	8.3%	4.3%	10.6%	11.9%	21.7%	18.6%	25.4%	11.8%

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第4回会議 議事録

日時	2024年11月6日(水)14:00~16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室 (Zoom)
出席者	<p>国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻 LC) 国際理事 城阪 勝喜 (大阪港 LC)</p> <p>【一般社団法人日本ライオンズ】</p> <p>理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなす LC) *欠席 専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田 LC)</p> <p>PRマーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田 LC) PRマーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海 LC)</p> <p>ライオン誌日本語版委員</p> <p>編集長/337 複合地区委員 瀧野二世 (大分 LC) 330 複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光 LC) *欠席 331 複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東 LC) 332 複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲 LC) 333 複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西 LC) *欠席 334 複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島 LC) 335 複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡 LC) 336 複合地区委員 佐々木孝之 (岡山 LC)</p> <p>日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖 LC)</p>

星野委員長の開会あいさつに続き、濱野国際理事、城阪国際理事からブラジルでの国際理事会に関する報告を兼ねたあいさつと、中谷専務理事のあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案 1	ライオン誌日本語版の運営
内容	<p>① 2024年7~9月ライオン誌関係会計報告</p> <p>9月末までの会計報告を確認した。収入とライオン誌直接出版費は前月からほぼ動きなし。デジタル版関連費では8月に完了したウェブマガジンの改修費が支出されたとの報告を受けた。</p>
決定事項	①報告内容を了承した。

<p>議案 2</p>	<p>ウェブマガジン編集関係</p>
<p>内容</p>	<p>① 2024年11月号(11月1日公開)出来 11月号の出来に関して委員からの指摘や意見はなし。</p> <p>② 2024年12月号～2025年3月号更新予定(案) 各号で予定している記事を確認。12月号「取材レポート」では既に取材済みの活動に加え、能登豪雨発生後の334-D地区の支援活動に関するレポートをまとめる。パタヤ・フォーラムの記事は参加予定の前田委員が写真を提供。国際会長公式訪問は参加予定の淵野編集長と北岸委員が取材を担当する。 2月号に関しては、淵野編集長へ取材依頼があった12月中旬実施予定の事業の内容について協議し、取材対象として取り上げるか協議した。また、3月号の取材レポート対象候補の中から2件の奉仕活動を選んだ。 取材レポートで取り上げるクラブが特定の複合地区に集中する傾向があることについて、八つの複合地区を偏りなく掲載出来るよう、過去の掲載データを元に方策を検討してはどうかとの提案が馬場委員からあった。</p> <p>③ ウェブマガジン・アクセス状況 Googleが提供するアクセス解析ツール Google Analytics による10月のアクセス状況レポートを確認。月初のメールニュースやLINEメッセージの配信時にアクセスが増加していることなどを把握した。</p> <p>④ ライオン誌委員による取材 前回委員会での協議を踏まえ、取材時の旅費補助に関して修正を加えたライオン誌日本語版委員会取材マニュアル(案)を確認した。</p> <p>⑤ SNSによる写真投稿募集 前回委員会でFacebookのグループ機能を利用し奉仕活動写真を募集することを決定したが、グループを公開・プライベートのどちらにするか検討した。</p>
<p>決定事項</p>	<p>②2月号取材レポートでは334-D地区に協力を依頼し能登豪雨被災地支援を取り上げる。 ④ライオン誌日本語版委員会取材マニュアルを採用することを決定した。 ⑤奉仕活動写真の募集を公開グループで行うことを決定した。</p>

<p>議案 3</p>	<p>印刷版編集関係</p>
<p>内容</p>	<p>① 2024年秋号(10月25日発行/79,800部発行)出来 秋号の出来を確認。星野委員長から誤植1箇所の指摘があった。</p> <p>② 2025年冬号(1月25日発行予定)台割(案) 前回委員会の決定に基づき、4ページ増の40ページで作成した台割案を確認。国</p>

	<p>際会長公式訪問の記事のため、渕野編集長によるインタビューの準備を進めていることが報告された。</p> <p>③ 2025年冬号企画案</p> <p>表紙シリーズ「日本の世界遺産」と特集「少人数クラブ(仮題)」の企画案を検討。表紙の候補として世界遺産3カ所の写真について意見を出し合った。</p> <p>特集では会員純増に成功したクラブと、地域に大きく貢献する奉仕活動を実施するクラブを取り上げること、取り上げる少人数クラブの選考方法について協議した。</p>
決定事項	<p>③表紙は北海道・北東北の縄文遺跡群の写真を候補とし、地元クラブに協力を依頼する。特集企画では、少人数クラブの目安を会員数15人以下とすること、取り上げるクラブは会員純増のデータと、委員から推薦を元に選考する。また、対象クラブへの質問事項についても各委員がアイデアを出し合う。</p>

議案4	その他
内容	<p>① 『ライオンズ・スクール』改訂</p> <p>事前に配布された修正済み改訂版を確認した。</p> <p>② ウェブマガジン普及策</p> <p>濱野国際理事から、ウェブマガジン普及のためにLionPortalに登録された会員のEメールアドレスに案内メールを送信することについて、国際本部のマーケティング部及びテクノロジー部に確認し、ライオン誌からのメール送信に問題はなく、ライオン誌編集長にはLionPortalからダウンロードする権限があるとの回答と、大量のメール送信を安全に行える環境整備が必要との指摘があったことが報告された。これに関し、3社のメール配信システムの料金を比較検討した。</p> <p>③ ライオン誌公式 SNS</p> <p>SNS 公式アカウントの登録者数の推移を確認した。</p>
決定事項	<p>①改訂作業を完了し、ウェブマガジンからのダウンロードを開始する。</p> <p>②比較した3社のうち、最も安価な「オートビズ」のメール配信システムを利用することを決定。メール送信開始に向けて準備を進める。</p>

次回開催予定	<p>第5回：12月6日(金) 14:00～16:30 日本ライオンズ事務所</p> <p>第6回：1月7日(火) 14:00～16:00 Zoom</p>
--------	--

議事録作成:藤谷文雄(332複合地区委員)

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第5回会議 議事録

日時	2024年12月6日(金)14:00~16:30
場所	一般社団法人日本ライオンズ 会議室(対面・Zoom 併用)
出席者	<p>国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻 LC)</p> <p>国際理事 城阪 勝喜 (大阪港 LC) *欠席</p> <p>【一般社団法人日本ライオンズ】</p> <p>理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなす LC)</p> <p>専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田 LC)</p> <p>PR マーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田 LC)</p> <p>PR マーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海 LC)</p> <p>ライオン誌日本語版委員</p> <p>編集長/337 複合地区委員 瀧野二三世 (大分 LC)</p> <p>330 複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光 LC)</p> <p>331 複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東 LC) *Zoom</p> <p>332 複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲 LC)</p> <p>333 複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西 LC) *Zoom</p> <p>334 複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島 LC)</p> <p>335 複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡 LC)</p> <p>336 複合地区委員 佐々木孝之 (岡山 LC) *Zoom</p> <p>日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖 LC) *欠席</p>

星野委員長の開会あいさつに続き、濱野国際理事、松浦理事長からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案 1	ライオン誌日本語版の運営
内容	<p>① 2024年7~10月ライオン誌関係会計報告</p> <p>社団の正味財産増減計算書 2024年7月1日~2024年10月31日を資料とし、予算通りに運営されていることを確認した。予算執行率はおおむね50%弱で、デジタル版関連費について、外注費の削減により余裕が出ている。</p>

<p>議案 2</p>	<p>ウェブマガジン編集関係</p>
<p>内容</p>	<p>① 2024年12月号(12月1日公開)出来特に問題なし。</p> <p>② 2025年1~4月号更新予定(案) 各号の予定記事を確認した。1、2月号「取材レポート」は予定通りに進行。2月号では前回委員会で取材を検討した活動の取り扱いと、未定だった「編集室」(ウェブのみ掲載)担当者を検討。3月号「取材レポート」は対象の養護施設の取材許諾を確認中。</p> <p>③ 取材対象クラブ 前回委員会で「取材レポート」の対象が一部の地区に偏る傾向があるため、各地区均等に掲載すべきとの指摘があったのを受け、2018年以降の地区別掲載回数の資料を確認し、対策を検討した。クラブ数比の掲載率は全国平均7%だが、掲載率が低い地区や、まだ掲載のない県がある。委員からは「ライオン誌掲載はハードルが高いと思われる」「地区ごとに年間の記事本数を決める」「地区に協力を依頼する」などの意見が出された。</p> <p>④ SNSによる写真投稿募集 Facebookによる写真募集のグループ開設の進捗状況を確認。前回委員会までの決定に沿って準備を進め、1月半ばの開始を予定しているとの報告を受けた。</p>
<p>決定事項</p>	<p>②2月号用に前回委員会で検討した活動の取材は行わない。「編集室」は委員長か編集長のどちらかが執筆を担当する。3月号「取材レポート」で養護施設の許諾が得られなかった場合は取材対象を差し替える。3、4月号「取材レポート」の内容と取材経費概算を承認。</p> <p>③バランス良く掲載出来るよう、掲載の少ない地区の奉仕活動を積極的に取り上げていく。</p>

<p>議案 3</p>	<p>印刷版編集関係</p>
<p>内容</p>	<p>① 2025年冬号(1月25日発行予定)台割(案) 台割案を確認。「日本ライオンズ情報」は現時点ではトピックがないとのことで休載し、次号春号に掲載する。空きの出た1ページは特集に回す。国際会長公式訪問時に行ったインタビュー取材について、担当した淵野編集長から報告があった。</p> <p>② 2025年冬号企画案 「少人数クラブ」企画案を検討。「奉仕活動に熱心な少人数クラブ」「会員増強に成果を挙げて少人数クラブから脱却したクラブ」として委員から推薦のあったクラブと、</p>

	統計データからピックアップした候補クラブについて協議した。また、春号の特集テーマについて、以前提案のあった「リーダーシップ」とする案を検討した。
決定事項	②冬号特集「少人数クラブ」の対象8クラブに協力を依頼し、情報を基に記事をまとめる。春号特集は「リーダーシップ」とする。

議案 4	その他
内容	<p>① ウェブマガジン普及策 11月アクセス状況を確認。メールニュースやLINEでアクションを起こした時にアクセス数が増えていることを把握した。</p> <p>ライオンポータル登録のメールアドレスへのライオン誌からのメール配信について、編集長権限ではダウンロードが出来なかったため、オセアル調整事務局に問い合わせる。</p> <p>星野委員長提出の普及策について説明を受けた後、意見を交換。「QRコードの使い方から教える必要がある」「ウェブマガジンを閲覧する例会(ライオン誌例会)を開いてもらう」「地区マーケティング委員長に情報を流してもらう」「三役セミナーなどでPRする」「地区・クラブ経由のメール到達状況を確認する」などの意見が出た。</p> <p>② 印刷版発送方法 前回委員会の議案審議後に出された印刷版による配布が不要な会員への発送を年2回のみとする提案について意見を交換した。「情報把握や事務作業に費用と手間がかかるため現状のままでよい」との意見が大勢を占めたが、「デジタルのみでもよい」との意見もあった。</p> <p>③ ライオン誌公式 SNS 登録者数推移の資料を確認。確実に増えているが、まだ少ない。特に新会員への登録を進めるなど、LINE登録者1万人を目標に取り組んでいく。</p>
決定事項	<p>①メンバーへのメール配信方法は、ライオンポータルに関する情報を確認した上で検討。ウェブマガジン普及策については各委員が意見を持ち寄って引き続き検討する。</p> <p>②次回委員会で印刷版発送に関する詳しい情報を確認し検討する。</p>

次回開催 予定	<p>第6回： 1月8日(水) 14:00～16:00 Zoom</p> <p>第7回： 2月3日(月) 14:00～16:00 Zoom</p>
--------------------	---

議事録作成:三枝久夫(333複合地区委員)

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第6回会議 議事録【案】

日時	2025年1月8日(水)14:00～16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室(Zoom)
出席者	<p>国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻 LC)</p> <p>国際理事 城阪 勝喜 (大阪港 LC) *欠席</p> <p>【一般社団法人日本ライオンズ】</p> <p>理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなす LC)</p> <p>専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田 LC)</p> <p>PRマーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田 LC)</p> <p>PRマーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海 LC) *欠席</p> <p>ライオン誌日本語版委員</p> <p>編集長/337 複合地区委員 瀧野二世 (大分 LC)</p> <p>330 複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光 LC)</p> <p>331 複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東 LC)</p> <p>332 複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲 LC)</p> <p>333 複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西 LC) *欠席</p> <p>334 複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島 LC)</p> <p>335 複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡 LC) *欠席</p> <p>336 複合地区委員 佐々木孝之 (岡山 LC) *欠席</p> <p>日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖 LC)</p>

星野委員長の開会あいさつに続き、濱野国際理事、松浦理事長からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案 1	ライオン誌日本語版の運営
内容	<p>① 2024年7～11月ライオン誌関係会計報告</p> <p>社団の正味財産増減計算書(2024年7月1日～11月30日)を資料として確認。印刷版・デジタル版共に予定通り発行され入出金についても予算通り執行されている。デジタル版関連費の原稿・編集は外注費が抑えられ予算に余裕がある。</p> <p>② 2024-25年度年間計画</p> <p>予定通り順調に取り組まれている。</p>

決定事項	②2025年夏号について国際大会の日程の関係上、7月25日の発行は厳しく、8月に入ってから発行とする。
------	---

議案 2	ウェブマガジン編集関係
内容	<p>① 2025年1月号(1月1日公開)出来 公開済みで特に問題なし。</p> <p>② 2025年2~4月号更新予定(案)</p> <p>2月号は予定通り進行し、編集室は渕野編集長が担当。</p> <p>3月号で未確定だった「取材レポート」は、対象の児童養護施設で原則子どもの顔を避けて撮影することで許諾が得られ、予定通り進める。写真については必要な場合はボカシ処理を行う。</p> <p>4月号予定通り進行。</p> <p>5月号「取材レポート」はまだ取材対象候補が少なく、また未定の企画もあるので次回委員会で絞り込む。</p>

議案 3	印刷版編集関係
内容	<p>① 2025年冬号(1月25日発行予定)台割 台割(40ページ)に基づいて編集した記事を確認。表2(表紙裏)に投稿募集(記事・写真撮影方法)、特集「小人数クラブ」で各複数地区から1クラブを取り上げた。秋号のグラフ訂正記事を入れた他、「国際理事会決議要約」ページに空きが生じたため、クラブ用品(オセアル調整事務局)広告を無償で掲載する。また、表4(裏表紙)のウェブマガジンPRについて検討した。</p> <p>② 2025年春号(4月25日発行予定)台割 36ページ台割案を確認。札幌フォーラム関連記事を4ページ設け、行ってみたいくなる、参加したくなるような記事とする。文字ばかりでなく開催地の魅力を伝える写真や企画、また過去のフォーラム写真なども掲載する。この号の原稿締切は3月19日だが、国際理事会の会議予定などを勘案し「国際理事だより」の締切は3月末までとする。</p> <p>③ 2025年春号企画案 表紙「表紙・日本の世界遺産」の写真を選考した。 特集テーマ「リーダーシップ」の内容について検討。各地区で新会員や各役職者向けなどにさまざまな研修会が行われているが、国際協会の提供するリソースやライオンポータルのオンライン研修があまり利用されていない。ライオンポータルや各種研修に関する情報の他、ライオンズ活動はもとより仕</p>

次回開催	事にも役立つような内容も取り入れ、会員の関心が高まって、主体的に参加してもらえるような企画とする。また研修を受けた若手会員の体験談や委員による受講リポートを含めることなどを協議した。次回委員会で具体案をまとめる。
決定事項	<p>①裏表紙の LINE 友達がマンネリ化しているため、ウェブマガジン自体を PR するものに差し替える。</p> <p>②札幌フォーラム関連記事はフォーラム組織委員会に協力を依頼。表 4(裏表紙)に札幌フォーラムの PR を掲載する。</p> <p>③春号の表紙は「紀伊山地の霊場と参詣道」の獅子岩(三重県熊野市)とする。</p>

議案 4	その他
内容	<p>① ウェブマガジン普及策 12月のアクセス解析データを確認。年末のためか前月よりやや減少した。普及策としてLINEでは広がりがないので、ライオンポータルに登録されたメールアドレスへの配信を行うため、オセアル調整事務局と打ち合わせを進めている。前回委員会で決定したメール配信サービスを利用し、準備が整い次第、配信を開始する。 ウェブマガジンの認知を広めるため、クラブ例会やキャビネット会議などでライオン誌を取り上げる機会を作ってもらえるような方策を取りたい。マーケティング委員会との協力体制などを含め、次回の委員会で更に検討する。</p> <p>② 印刷版発送方法 印刷版発送に関して協議するに当たり、発送形態や発送先の情報把握、送料など、現在の発送業務の内容を確認した。</p> <p>③ 印刷版個人発送の送料改定 個人発送を委託している(株)宛名商会から、ゆうメール料金改定の依頼が提出された。春号から、現行の67円を75円とする値上げ。送料はクラブへ実費を請求しているが、期途中のため、春号の値上げ分については一般社団法人日本ライオンズが負担することとなる。提示された新料金は、他社のゆうメール料金と比較して安価であることを確認した。</p> <p>④ ライオン誌公式 SNS SNS登録者数を確認。LINE登録者は若干伸びてはいるが期待通りとまではいかず、今後も普及に取り組んでいく。</p>
決定事項	③個人発送送料を春号からの値上げを了承。春号分の値上げ分は一般社団法人日本ライオンズの負担とする。

次回開催予定 第7回： 2月3日(月) 14:00～16:00 Zoom

第8回： 3月4日(火) 14:00～16:00 Zoom 議事録作成:前田磨(334複合地区委員)



2024年12月23日

理事会構成員各位
社員各位

一般社団法人日本ライオンズ
理事長 松浦 淳一
国際理事候補者資格審査委員会
委員長 澤 辰水

至急のお知らせ:

2025-27 国際理事候補者 L 田名部智之について

前略 去る 12 日に開催されました第 2 回社員総会において当法人名誉理事長でもある山田實紘元国際会長から突然の発表となりましたが、MD332 前協議会議長であり前理事長でもある L 田名部智之がオセアル会則地域からの空席となっていた 2025-27 国際理事候補者として OEC からの推薦を得たとの報告がございました。すでに L 田名部は今年度 8 月に開催された第 1 回国際理事候補者資格審査委員会において、その立候補年度は未定でしたが資格を有していることが確認されておりました。

理事会としては改めて本情報を皆様と共有の上、第 2 回総会に欠席された社員の皆さまにも周知致したいと存じます。

去る 11 月に開催された第 61 回 OSEAL フォーラム(パナ)閉会式で発表された決議では、2025-27 年度の OSEAL 地域からの国際理事候補者 4 名のうち、3 名の国際理事候補者についての推薦決議がなされており、チョイ元国際会長からの発言として、残る空席 1 名の枠については調整中という説明がなされておりました。

2025-27 年度国際理事候補者として、日本からは MD334 元協議会議 L 仁科良三がすでに推薦を得ており、更にもう 1 名日本からの国際理事候補者が推薦されたことは、日本にとって大変喜ばしいこととなります。

皆さまにおかれましては、ぜひ 2 名の 2025-27 国際理事候補者を心から応援してくださいませようお願い申し上げます。 早々

添付：第 1 回国際理事候補者資格審査委員会議事要録

第 61 回東洋東南アジア・ライオンズフォーラム報告

(2024 年 11 月 14 日－17 日タイ・パタヤ)

一般社団法人日本ライオンズ

2024 年 11 月 20 日

1. フォーラム登録数 [11 月 16 日 17 時時点]

Dist.204	(グアム、北マリワナ諸島など)	46
MD300	(台湾)	1063
MD301	(フィリピン)	525
Dist.303	(中国・香港、マカオ)	218
MD308・309	(シンガポール、マレーシア、ブルネイ)	208
MD310	(タイ)	1532
MD330-337	(日本) * MD 別内訳不明	1727
MD354-356	(韓国)	1806
MD380- 383MD385- 389	(中国・深圳、広東、大連、青島、北京、浙江、瀋陽、陝西)	892
その他	(米国、カナダ、オーストラリア、バングラデシュ、インド、スイス、 イタリア、ブータン、レバノン・レオライオン・LCI ほか)	76
		8101

(名)

2. フォーラム決議

11/16 第 3 回議長と DG の会議で発表された決議案です。正式な決議については後日フォーラム委員会より発表予定です。

第 62 回東洋東南アジア・ライオンズフォーラム決議

(2024 年 11 月 14 日－17 日 タイ・パタヤ)

・感謝決議 (プロトコル別に参加に対するお礼、省略)

・事務的決議 (第 3 回議長とガバナーの会議で発表)

1. 日本の仁科良三元協議会議長(334-E 地区・長野みすずライオンズクラブ所属)を 2025-27 年度国際理事候補者として承認

2. 台湾の徐國勇(Kuo-Yung Hsu)元地区ガバナー(300-A2 地区・TAIPEI CHIH-CHENG ライオンズクラブ所属)を 2025-27 年度国際理事候補者として承認

3. 韓国の SOON-TAK CHOI 元協議会議長(335-E 地区・Geochang Dongbu ライオ

ンズクラブ所属)を25-27年度国際理事候補者として承認

4. オーストラリアの ANTHONY“TONY”BENBOW 元国際理事を第3国際副会長候補者として承認

6.第64回 OSEAL フォーラム(2027年)を中国・香港で開催することを承認

5.フォーラム規約の改正案についての承認

◎各種会議等報告

11月14日(木)

20:00-21:00 コーカスマーケティング(非公式会議)

ファブリシオ国際会長はあいにく体調不良のため欠席となり、パティ・ヒル直前国際会長(LCIF理事長)とAPシン第一副会長が出席されました。

まずは OSEAL 会則地域からの 2025-27 年度*の国際役員候補者のエンドースメントが行われました。*国際会則第5条4項により4名

日本の仁科良三元協議会議長、台湾の徐國勇(Kuo-Yung Hsu)元地区ガバナー、韓国の Soon Tak Choi 元協議会議長の3名がエンドースされました。国際理事候補者の残り1名については、ジョンユル・チョイ元国際会長より香港から輩出する予定であると発言がありました。

続いて、2025-26 第三国際副会長候補者として、オーストラリアの Anthony “TONY” Benbow 元国際理事をオセアル会則地域としてエンドースすることが決定された後、各候補者が30秒の挨拶を行いました。

また最後に、第63回 OSEAL フォーラムの開催地を香港からマレーシア・ペナンへ変更することについてカジット・ハバナナダ元国際会長が説明されました。

11月15日(金)

8:30-9:30 第1回 協議会議長および地区ガバナーの会議

日本からは議長8名・ガバナー35名うちの41名が参加しました(うち1名は事前にフォーラム欠席連絡あり)。ファブリシオ国際会長は体調不良により欠席となりました。

まずは FOC 委員長である Dr.Veera 氏から歓迎のあいさつと開会宣言が行われ、各地区からの参加者と次期札幌フォーラム委員長である鶴嶋 LCIF 理事をはじめ参加者が紹介と挨拶が行われました。

前日に行われたウミガメ放流会や LCIF ゴルフなどの報告の他、フォーラムプログラム内容の確認とフォーラムでのアクティビティ、フォーラム規則改正、第三国際副会長と国際理事候補者のエンドース決議、第63回 OSEAL フォーラムの開催地変更について、それぞれ採決の後可決されました。またカジット元国際会長より議案にはない重要事項として、フォーラム規則 6.08 『「協議会議長と地区ガバナーの合同グループ」の会議は、その特定の任務を果たすために必要とみなされる場合にはいつでも、決議委員会を含む一つ以上の小委員会を招集することができる。』とになっているが30年以上守られていないことから、今この場で小委員会を招集し参加者を選

ぶべきだと発言がありました。日本からは田名部智之元協議会議長が立候補を行い、韓国・中国・日本・フィリピン・台湾から代表が立候補または推薦により選出されました。各国からの国際理事候補者の挨拶の後、開会式へ時間厳守での集合の呼びかけと無料でランチの提供がされる案内、今夜開催されるロイクラトンではディナーが無料で提供されるため、ぜひ参加してほしいと呼びかけが行われました。

9:30-10:30 国際会長と地区ガバナーの会議

地区ガバナー以外の参加者もあり会場は満員となりました。ファブリシオ国際会長に代わり、パティ・ヒル直前国際会長(LCIF理事長)とAP シン第一副会長が会議を進行されました。ファブリシオ国際会長のテーマについてパネルや映像を元にお話しされたあと、国際会長テーマである「MAKE A MARK(足跡をしるす)」を引用しつつミッション 1.5・LCIF への支援についてお話しされ、OSEAL 地域からの多大な LCIF への支援についてお二人より感謝してもきれないとお礼の言葉が伝えられ、額の問題ではなく全員がLCIFへの支援に関わってほしいと呼びかけがされました。OSEAL 地域のミッション 1.5 データが公開され、OSEAL 地域では報告レポートの提出率が低いため、しっかりと報告を行うよう呼びかけがありました。またミッション 1.5 での会員増強は数の問題だけではなくライオンズクラブのレガシーを受け継ぎ、さらに多様な奉仕を行っていくことや、一人一人が自分の問題と考え取り組んでいくこと、次世代のリーダーの育成重要性についても触れられました。

13:00-15:30 開会式

約1時間遅れでの開始となりました。

Dr.Veera 委員長を先頭とし、各MD別に議長とガバナー及び配偶者が入場し登壇しました。続いて各国の代表者やOEC役員、LCI執行部が入場しました。

体調が回復されたファブリシオ・オリベイラ国際会長のご挨拶に続き、自身のテーマである「MAKE A MARK」について、世界中のライオンが一緒になれば奉仕を受ける人たちの心に思いやりや、やさしさの足跡を残すことができると話されました。

ミッション 1.5 とLCIFへの支援についてもご自身のビジネスマンとしての経験を引用され、目標達成のためのデータ・マーケティングの活用やレポート・研修の重要性について協調されました。タイの海やフォーラムテーマである「リバイバル」、夜に開催されるタイの満月祭りであるロイクラトンをイメージした、プロジェクションマッピングを用いたきらびやかなステージパフォーマンスが行われました。

11月16日(土)

8:30-10:00 第2回 協議会議長および地区ガバナーの会議

日本からは議長 8 名・ガバナー 35 名うちの計 37 名が参加しました(うち1名は事前にフォーラム欠席連絡あり)

ファブリシオ国際会長より体調回復の報告とご挨拶があり、その後OSEAL地域の国際理事・LCIF 理事のご挨拶がありました。

その後タイの協議会議長より、タイでのOSEALフォーラム開催の歴史についてお話しされました。

APシン副会長より、ミッション 1.5 についてのスペシャルディスカッションとして、ライオンズの最重要な10つのアジェンダがすべてミッション 1.5 である、などユーモアを交えつつ、会則に記載されている地区ガバナーの役目の通り、一人一人が会員増強へ取り組んでいくこと、協会のレガシーを守りつつ人々のライフスタイルにより変わり続けるニーズにこれからも応えていくため、ミッション 1.5 は数の問題だけでなく未来への保険であるとお話があり、ファブリシオ会長とパティ・ヒル直前国際会長 (LCIF 理事長) からも特に功績のあったガバナーの紹介や、全員での取り組みが呼びかけられ、ガバナーへ再度の目標達成への誓いが呼びかけられました。

山田元国際会長より、議長とガバナーの会議はフォーラムで最も重要な会議であり、全ガバナーは責任をもって参加するべきであり、欠席の場合はペナルティも考えるべきではとのご発言があり、パティ・ヒル直前国際会長 (LCIF 理事長) とカジット元国際会長も欠席者について残念であると同意されました。

また、カジット元国際会長からは欠席者への呼びかけとして、リーダーへの自覚をもってほしいとご発言がありました。

10:00-11:00 第1副国際会長と第1副地区ガバナーの会議

APシン第1副国際会長と、サンギータ元国際理事が登壇され進行されました。

次年度地区ガバナーとしてリーダーになる準備についてと、第1副地区ガバナーの役割の確認やミッション 1.5 について参加者へ意見や質問を求めつつ進行されました。

特にミッション 1.5 においてはライオンズ国際協会の通貨は会員であるとされ、長い歴史と遺産を守るためにも会員減少の危機において自分の会社のこととして考えてみることで、データやテクノロジーの活用についてお話しされました。ファブリシオ会長からは数の問題だけでなく世界でより増え続けるニーズにより効果的に応えライオンズの影響力を高めるためにも必要だとお話しされました。

また前年度の報告や今年度の目標の再確認などが行われ、OSEAL内各国を担当されている元国際会長より、各国の現状報告や会場に参加しているグループリーダーの紹介がされ、日本からは濱島清美グループリーダー (334-A 地区) が紹介されました。

14:00-15:30 リバイバル(フォーラムテーマ)と地球温暖化セミナー

タイ国内より3名の専門家を招き、カジット元国際会長が司会を担当し、対談形式で進行されました。フォーラムのテーマである「リバイバル」を産まれた海に還ってくるウミガメにたとえ、人間を含むすべての生き物の故郷である海の汚染をはじめ、地球環境の保全を「リバイバル」するために必ずできることがあると呼びかけられ、専門家からは詳細なデータや映像、画像を交え、地球でいま起こっている汚染や環境破壊、生態系の破壊についてわかりやすくお話しされました。

16:30-17:30 各国レセプション

日本の仁科良三元協議会議長、台湾の徐國勇 (Kuo-Yung Hsu) 元地区ガバナーの2名の国際理事候補者のレセプションが行われました。

19:00-22:30 国際会長晩餐会

PEACHコンベンションセンターにて開催されました。

食事の他、ステージパフォーマンスや写真撮影、表彰が行われました。

11月17日(日)

8:30-10:00 第3回 協議会議長および地区ガバナーの会議

日本からは議長8名・ガバナー35名うちの計40名が参加しました(うち1名は事前にフォーラム欠席連絡あり)。

国別登録者数の発表の後、カジット元国際会長より、昨日のLCIFセミナーと、リバイバル(フォーラムテーマ)と地球温暖化セミナーについて報告があり、パティ・ヒル直前国際会長(LCIF理事長)からはLCIFへの支援について感謝の言葉がありました。セミナーには多くの参加者があったことと、今後の活動へつなげていただきたいとお話がありました。

その後第63回(ペナン)フォーラムの準備が順調であると現地委員長より発表がなされ、決議委員会の報告が行われました。

昨日行われた決議委員会に日本代表として参加した田名部智之前理事長より、同委員会において毎朝開催される協議会議長および地区ガバナーの会議の出欠を取り、議事録へ掲載するよう提案を行ったと報告がありました。

また、決議委員の選出についても、次年度より議会議長および地区ガバナーの会議の場での選出になると伝えられました。

正式な決議文については、後日フォーラム委員会より送られる予定です。

10:00-11:30 閉会式

会場が変更になり、ロイヤルクリフグランドホテル・ロイヤルサミットチャンバーにて開催されました。

セレモニーの他、決議事項の発表、議長が登壇しての記念撮影が行われ、最後に次回開催地である札幌のPRビデオ上映の後、Dr.Veera 委員長から札幌フォーラム委員長である鶴嶋LCIF理事へフォーラム旗が引き継がれ、カジット元国際会長が参加の感謝と札幌での再開を呼びかけられ、パタヤでのフォーラムは幕を閉じました。

以上

第3回国際大会委員会 (WEB) 議事録

2024年9月30日 (月) 10:00 - 12:00

ZOOM システム

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 松浦 淳一 (岩見沢はまなす LC)
専務理事 中谷 豊重 (岸和田 LC)

日本ライオンズ国際大会委員会

委員長 戸祭 宏樹 (鯖江山王 LC)
副委員長 伊賀 保夫 (東京ピース LC)
副委員長/副理事長 喜多 友一 (上田城南 LC) 【欠席】

各複合地区国際大会委員会

330 複合地区 中嶋 文夫 (東京文化 LC)
331 複合地区 須藤 敏幸 (伊達 LC)
332 複合地区 高橋 寛 (和賀 LC)
333 複合地区 岡野 良男 (土浦環 LC)
334 複合地区 大山 恭範 (一宮 LC)
335 複合地区 江草 長史 (和田山 LC)
336 複合地区 市村 通夫 (鴨島 LC)
337 複合地区 高橋 杼見 (諫早中央 LC) 【欠席】

オブザーバー

331 複合地区国際大会委員会副委員長 穂積 尚弥 (札幌パイオニア LC)
一般社団法人日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

各複合公認 TC

MD330 公認 TC ウィントラベル東京営業支店 加藤 勉
MD332 公認 TC 名鉄観光サービス東北営業本部 川村 勲
MD333 公認 TC ウィントラベル本社 加藤 勉
MD334 公認 TC JTB 名古屋事業部 丹羽 祐太
MD335 公認 TC JTB 大阪第二事業部 沼間 章作
MD336 公認 TC 近畿日本ツーリスト広島支店 金子 愛梨佳
MD337 公認 TC JTB 福岡支店 藺田 花奈

◎一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶 松浦 淳一
・松浦理事長よりご挨拶。

◎国際大会委員会 委員長のご挨拶 MD334 前議長 戸祭 宏樹

1. 本日の出席者確認及び進行について

2. 議事録作成人の指名

・MD332 高橋委員を指名。

3. 議案及び確認事項

■第 61 回 OSEAL フォーラム (2024 年 11 月 14 日 - 17 日 タイ・パタヤ)

【最新情報の確認】

(登録関係)

① グループ登録用送金先について (修正あり)

・パタヤフォーラムHPで公開されているグループ登録用フォーマットに記載されていた登録料振り込み用口座名の訂正 (スペル間違い) の説明。正しいものをすでに全国へ日本ライオンズよりお知らせ済。

② 各 MD 早期登録状況

・会議に出席者している各 MD 委員長より報告。

(行事関係)

③ 各種行事別参加対象者について

・開会式は、アロハ、ムームーなどのハワイアンスタイルがドレスコードとなっている。男性の場合、下は白またはベージュ系の長ズボン、かかとの隠れるシューズとし、半ズボンやサンダルはご遠慮いただく。議長・ガバナーの配偶者については、壇上に登壇は現時点では不明。

・MD334 より、E 地区から国際理事候補者が出るので、コーカス会議や開会式などで横断幕やのぼりを掲げたいが可能かどうかの質問あり。

・JTB より：開会式、開会式の場所取りは、旅行会社が行います。例年プラカード、横断幕は、開会式では持ち込み可能です。

④ 申込行事参加人数 (ウミガメ放流・ゴルフ) 確認

・参加者数の確認。ウミガメ放流参加者は、フォーラム委員会より連絡があった通り、パスポートの写しを日本ライオンズに送る。

⑤ IPBQ（国際会長歓迎晩餐会）申込状況

- ・べ切終了で 296 名参加

⑥ ジャパンアロハシャツ申込状況

- ・980 枚の申込。1,000 枚に足りない部分は MD334 で調整。

【ジャパナイト 11 月 16 日 16:30 - について】

① 設置準備詳細（招待状ほか）

- ・受付は、16 時から設置します。（各 MD で 1 名出す）
- ・ドレスコードは、アロハシャツとしたい。
- ・当日の国際会長晩餐会まで 1 時間半ありますので、ホテルに戻りフォーマルドレスに着替える時間は確保できると思われる。

② 次第（案）について

- ・資料の確認。松浦理事長が欠席の可能性があり、戸祭委員長からは閉会あいさつを澤副理事長へ依頼する提案。

【各行事ドレスコードについて】

- ・朝の議長・ガバナー会議（3 回）、国際会長および第 1 副国際会長との会議
 - ・冷房対策のためジャケットが必要
- ・開会式 ・アロハシャツ
- ・閉会式 ・アロハもしくは自由（帰国のため）

■第 107 回メキシコ大会（2025 年 7 月 4 日 - 8 日メキシコシティ）最新情報の確認

- ・最新情報については現時点ではないため、確認中。

註：10/4 に国際協会より全会員へ向け、2025 年の大会開催地をメキシコシティから、アメリカ・フロリダ州オーランドへ変更することが配信されました。

4.その他（次回委員会開催予定など）

- ・次回会議については、新情報が入り次第開催したい。平日の 10 時ごろからを予定。
- ・松浦理事長より、地区の予定などが無い方はなるべくロイクラトンに参加してほしい。

◎閉会のご挨拶 国際大会委員会副委員長 MD330 議長 伊賀 保夫

- ・伊賀副委員長よりご挨拶。

以上

議事録作成人：MD332 委員 高橋 寛

(2024-25年度)

第4回 国際大会委員会 (Web) 議事録

◎日時： 2024年11月7日 (木) 14:00-14:45

◎場所: ZOOM

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	松浦 淳一 (岩見沢はまなすLC)
専務理事	中谷 豊重 (岸和田LC)
国際大会委員会委員長	戸祭 宏樹 (鯖江山王LC)
副委員長	伊賀 保夫 (東京ピースLC) 【欠席】
副委員長/副理事長	喜多 友一 (上田城南LC))

各複合地区国際大会委員

3 3 0 複合地区	中嶋 文夫 (東京文化LC)
3 3 1 複合地区	須藤 敏幸 (伊達LC)
3 3 2 複合地区	高橋 寛 (和賀LC)
3 3 3 複合地区	岡野 良男 (土浦環LC)
3 3 4 複合地区	大山 恭範 (一宮LC)
3 3 5 複合地区	江草 長史 (和田山LC)
3 3 6 複合地区	市村 通夫 (鴨島LC) 【欠席】
3 3 7 複合地区	高橋 杼見 (諫早中央LC) 【欠席】

オブザーバー

333-C地区国際大会委員会委員長	杉本 潤哉 (八千代中央LC)
一般社団法人日本ライオンズ事務長	増澤 義治 (諏訪湖LC)

以上

◎一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶 松浦 淳一

・松浦理事長が移動中の為、中谷専務理事よりご挨拶

◎国際大会委員会 委員長のご挨拶 MD334前議長 戸祭 宏樹

1. 本日の出席者確認及び進行について

2. 議事録作成人の指名

・MD333 岡野委員を指名。

3. 議案および確認事項

■第61回OSEALフォーラム（2024年11月14-17日 タイ・パタヤ）

【直前情報の確認】

①各MDよりフォーラム登録人数

・MD332(64名)・MD330(237名)・MD335(349名)より修正が有り、日本からの参加者は1,640名となる。

(MD331(220名)、MD333(160名)、MD334(306名)、MD336(161名)、MD337(143名))

②日程の確認（各行事と参加対象者・ドレスコードについて）

③JPナイト設営（次第および進行案の確認）【11月16日（土）16：30-17：30】

・ドレスコードは複合地区議長並びに地区ガバナーは白タキシード、他のメンバーはビジネススーツ（ネクタイ着用）

・各複合地区の受付者の確認がある

④国際会長歓迎晩餐会

・概要の確認

・受付担当者集合時間等の確認

受付担当者の確認、受付者の集合時間は18：00

チケットは当日配布、受付名簿も日本ライオンズが作成し当日用意する。

⑤その他

・開会式では各地区ガバナーと令夫人も登壇するとの事なので各地区ガバナーに連絡をして頂きたい。令夫人のドレスコードもガバナーと同一。

・開会式の席の確保も宜しくお願い致したい。

→ウイントラベル加藤社長より：開会式の席割は各国毎に割り振りはされているとの情報は有る。

・チップ、コンセント、両替については各TCに確認願う。

→ウイントラベル加藤社長より：宿泊ホテルについては宿泊階への移動しか出来ない

(他の宿泊者の階に行けない)場合があるので各旅行会社に確認して下さい。

■第107回国際大会 (2024年7月13日(日)–17日(木)フロリダ州オーランド)

①最新情報の共有

日本ライオンズ事務局より、10/31付けでオセアル調整事務局よりメキシコシティからオーランドに変更になった案内の説明がある。

大会に向けての宿泊手配は、国際協会を通じて行い、旅行会社や会員が直接行わないようにご協力をお願い致します。

メルボルン国際大会時に現金で登録した方で登録継続したい方は、届くメールにその旨、回答する(11/15まで)。未回答の場合にはキャンセル扱いとなり登録料も返金される。またクレジットカードで登録した方は自動的にキャンセル扱いとなり登録料は返金され、再登録の手続きが必要となる(各自に届くメールに案内がある)。

オーランド大会の登録については次回の委員会終了後に各地区に連絡する。

4. その他(次回委員会開催予定など)

2024年12月4日(水) 14:00-16:30(対面)開催

◎閉会のご挨拶 国際大会副委員長 喜多 友一

以上

2024年11月7日

議事録作成人

333複合地区国際大会委員 岡野良男

333-C地区国際大会委員会委員長 杉本潤哉

第6回国際大会委員会 議事内容まとめ

1.9 第5回執行理事会用 資料

【第I部】 オランダ国際大会パレード頒布品「コンペ」実施

○コンペのルール確認

・理事長・専務理事・委員長・副委員長2名の計5名、2部より参加する1名を除いた大会委員長7名の、計12名での投票とすることを確認。

○提案された頒布品の確認および審査

1. 小物（帽子もしくはサンバイザーなど） 挙手による投票の結果、A社デザイン（キャップ）とする。
2. 交換ピン 大きさやデザインについて各MD委員より意見。例年は日本と開催地をイメージしたデザインの2個1セットであるが、交換ピンで海外の方へ渡すことを考えると日本イメージのデザインだけでよいのではないかと意見が出、委員長が各委員に確認したところ、特に反対意見はなし。
慎重審議の結果、先述の理由により日本をイメージしたデザインのみ採用することとした。挙手による投票の結果、B社デザインを採用。
同一デザインでサイズ違いの2個セットと、セットを購入しそれ以上希望の場合は、単品での頒布も考えたい。会議開催中に業者へ問い合わせた回答では単品での販売は可能であるが工賃の関係上2個セットより割高になることと、サイズ変更は可能であると回答を得る。
3. 缶バッジ交換ピンと同一の理由により、日本をイメージしたデザインのみ採用することとした。挙手による投票の結果、C社デザインを採用。同一デザイン2個セットでの頒布を希望。

○交換ピン・缶バッジについては決定事項に基づき公認業者へ希望を伝えた上、再度見積もりを依頼する。

4. その他頒布品について パレード詳細がもう少し決まってから検討する。

1.オランダ国際大会の件【2025年7月13日（日）-2025年7月17日（木）】

○株式会社JTB 名古屋支店（幹事エージェント）ご報告

ホテルは日本として一つを確保する方針は変わらず進めている。ダブルツリーバイヒルトンに385室を希望する予定。空港からホテルまではMD混乗送迎バスを手配予定。

8MD共通のオプションツアーを予定している。

アメリカの法律により、週末にアメリカへ滞在する日程でツアーを組むと航空券が少し安くはなるが込み具合によって値段は変わってくるためご理解を頂きたい。

○パレード参加の確認

・MD334大山大会委員長より、太鼓やマーチングバンドなど音の出るユニットの現地

採用について諮られ、全員一致で賛成を得る。MD334よりLCI大会部へ問い合わせる予定。

12月の第2回社員総会でMD332田名部元議長が国際理事候補者となったことを受け、MD332高橋大会委員長と話し合いながらパレード詳細を決めていきたいと要望。

・MD335江草大会委員長より去年パレード委員長を務めた立場より報告。昨年度は国際理事候補者がいなかった都合で日本ライオンズがパレード道具レンタル費用・太鼓とダンスユニットへの謝礼などを負担したが今回は2名の候補者が立っているため、費用負担についてはMD332・334の2MD間でよく話し合ってもらいたい。

○日本代議員会開催の件

・第5回国際大会委員会での決定通り、開会式が行われる7月15日に朝食会として開催。幹事公認TCより、日本としてホテルが確保できれば、そこで朝食会会場を用意する予定であると報告。

○日本ライオンズ事務長および職員派遣の件

・増澤事務長と、職員2名の大会派遣について日程案と見積もりの提出。承認。

2.第62回OSEALフォーラム札幌の件【2025年10月23日（木）-2025年10月26日（日）】

○松浦理事長より説明。

・日本国内のみ早期登録締め切りを3月末とするフォーラム委員会作成のご案内を、社団を通じてすでに配信している。スマホ・PCから第62回OSEALフォーラムHPを通じての登録方法のご案内を作成したので後日配信予定。要望を受け、グループ登録をHPから行えるよう改装中である。

・フォーラム登録目標1万人（うち3000人がMD331）については執行理事会で各MDの目標数を決めてもいいか諮られ、全員の賛成を得る。

・次回開催 2月3日 10時より ZOOM開催。

以上

2025年1月8日

一般社団法人日本ライオンズ
理事長 松浦 淳一 様

国際大会委員会
委員長 戸祭 宏樹

日本ライオンズ職員出張要請の件案

冠省

国際大会委員会は、日本ライオンズ事務所事務長および国際大会担当職員2名の下記の通りの出張を要請します。何卒、ご賢察の上、本要請を受け入れていただきますようお願い申し上げます。

草々

記

- ◎出張先： 第107回国際大会（アメリカ・オーランド）
- ◎出張期間： 2025年7月11日（出発）～7月19日（日本着）9日間
- ◎日程概要：
- 7/11 夕方日本発 深夜現地着
 - 7/12 パレード情報収集・会場下見
 - 7/13 会場下見・パレード前日打ち合わせ参加
 - 7/14 インターナショナルパレード隊列整理・救護活動
ビジネスセッション
 - 7/15 日本代議員会（予定）設営・受付手伝い・開会式・各セミナー
 - 7/16 二日目総会・各セミナー
 - 7/17 閉会式
 - 7/18 早朝現地発・翌日午後日本着
- ◎出張者： 増澤義治（事務長）・石川唯・松本亜優
- ◎費用：
- ・往復航空運賃（承認後に予約・購入可能な便利用 3名 約23万×3）
 - ・宿泊費（コンベンションセンター周辺、ツイン2室7泊 約27万）
 - ・大会登録料（早期登録 US\$190×3=US\$570 約9万）
 - ・その他雑費（日当・国内交通費・旅行保険・ESTA等 約30万円）
- 合計概算 約135万円（3名分・航空券とのセット割利用）

以上

<日程案>

7月11日（金）	・夕方 成田出発 モントリオール乗り継ぎオーランド着	機内泊 時差により深夜 現地着
7月12日（土）	・パレードオフィス開局	パレード情報収集 会場下見
7月13日（日）	・パレード前日打ち合わせ	パレード打ち合わせ参加 会場下見
7月14日（月）早朝～	・インターナショナルパレード ・ビジネスセッション	パレードルート確認 ビジネスセッション内容 記録 隊列整理・救護
7月15日（火）早朝～	・日本代議員会（予定） ・開会式 ・各種セミナー	代議員会受付手伝い 開会式・各種セミナー内容 記録 参加対象者の出席確認
7月16日（水）早朝～	・2日目総会 ・各種セミナー	2日目総会・各種セミナー 内容記録 参加対象者の出席確認
7月17日（木）早朝～	・閉会式	閉会式内容記録 参加対象者の出席確認
7月18日（金）早朝～	・早朝現地発 モントリオール経由	
7月19日（土）	午後： 成田帰着	

※帰国後、速やかに大会報告書を作成し理事会へ提出いたします。